

# ふるさと加東の推し景観

—桜景色を中心に—

## コロナ、ウクライナの危機の中で

—議長から議運委員長へ—

◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

◆議員活動ブログ「百聞百見」より



▲やしろの桃園



▲千鳥川桜堤公園の  
枝垂れ桜



▲東条川の桜と日本列島



▲平池公園の大賀ハス



▲黄金色に実った山田錦

I	ふるさと加東の推し景観 ……………1
	—桜景色を中心に—
	◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
II	令和4年4月～5年4月の議員活動記録 ……………41
	コロナ、ウクライナの危機の中で
	—議長、議運委員長として—
	◆議員活動ブログ「百聞百見」より
III	令和4年4月～5年4月の活動記録 ……………191

## まえがき

---

この「県政資料」は、私の議員活動ブログ「百聞百見」、歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」に投稿してきた記事の中から、テーマに沿って、選び、まとめたものです。

第X集は、ふるさと加東の「推し景観―桜景色を中心に―」をまとめてみました。私たち加東市の住民は、身近に山があり、川が流れ、湖や池が水を湛え、四季を彩る野山と田圃の景色を楽しむことができます。これは当たり前のように、実は、なかなか「有り難い」ことなのだと思うのです。

特に「桜」は加東市の木に指定され、市内各所に名所とよばれる、千鳥川や東条川の堤、県立播磨中央公園の桜の園はじめ、県立施設や寺社の境内、学校の校庭などがあり、見事な桜を見ることができます。

ふるさとの古い歴史や文化とともに、ふるさとの自然景観は私たちの感性を育んでくれる大切な要素であります。ふだん、何気なく見ている山並みや川の流れ、ため池や水路、そして広々と続く田圃や農道。地平線にゆっくりと沈んでいく夕日。そうした景色に溶け込むように点在する集落やお堂、神社、鎮守の杜の景色こそ、わがふるさと加東の景色であり、心のふるさととして心の裏に焼き付いている景色なのです。この風景の中で私たちの感性が生まれ、人間観や世界観の原型、すなわち心の源泉となって形成されるのです。第X集は、そうしたふるさとの「推し景観」を桜を中心にまとめてみました。

令和4年6月9日、第358回定例県議会の最終日に、私は議長を退任しました。そして、同日、議会運営委員長に選任されました。議長としての1年間の活動は前号に令和4年3月末までの分の記録を、そして、残りの2ヶ月余りの記録と、議運委員長としての1年間の記録をこの第X集に掲載しました。

コロナ克服への闘い、歴史的転換期の兵庫県政の動きを書き留めたこの県政資料を発刊することができたことに感謝しつつ皆様にお届けいたします。

令和5年7月吉日

兵庫県議会議員

藤本百男



# ふるさと加東の推し景観 —桜景色を中心に—

郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

## 1. 山国王子ヶ池の初日の出



令和5年元旦の朝、テレビで富士山上空からの初日の出を見ました。ダイヤモンド富士も見事に映し出されていました。美しいのは勿論ですが、荘厳、崇高さを感じます。

日本人は富士山に特別な思い、信仰のようなものがあることをあらためて感じさせられました。

ところで、私の初日の出は、加東市山国の王子ヶ池の堤で、南東の林の切れ目から昇る初日を拝むことです。

もう十数年になりますが、年々人が増えるような気がします。王子ヶ池の水面に初日に染まる朝雲が映し出され、実に荘厳な感じに包まれます。

午前7時20分頃、まばゆい光が地平線の林の谷間に頭を出しました。隣の方は静かに手を合わせて拝んでおられます。私はカメラを向けてシャッターを押しました。一息ついて、私も合掌し、

初日を拜んで、一年が平和と繁栄、安全が実現するようにと祈りを捧げました。

朝日に手を合わせて拜む、という日本人の姿で一番心に残っているのは、祖父の姿です。私が小学校5年生の時に亡くなりましたが、朝日に向かって手を合わせて拜んでいる背中姿が目に残っています。大学生の時にモラエスの本を読んだとき、日本人が朝日を拜む行為を美德として紹介していた一節があり、小さい頃の祖父の思い出が蘇ってきたことを覚えています。

社の市街には、街灯に日の丸の小旗が掲げられていました。わが家の玄関にも旗を掲げています。日の丸はまさに太陽そのものです。

## 2. 正月3日の雪景色—忠魂碑・明治館

2015年01月04日



3日（土）の朝、昨夜の大雪（といたら雪国の人から笑われるかもしれませんが、当地では滅多にないことなので）で、一面真っ白になりました。

忠魂碑のある明治館の広場まで来ると、東の空の一角が朱色に輝き始めました。忠魂碑はいつもの朝にもまして荘厳な姿を見せ

ていました。写真は雪の忠魂碑と明治館です。

### 3. 夕日ととんどの火ー松尾の八幡さん

2021年01月15日



14日(木)の夕方、車で市内を走っていると、夕日がきれいだったので、国道372号沿いの加東市山国の熊野神社へとハンドルを切りました。

加古川の河岸段丘の高位段丘面の西端にあたり、標高は約70メートル。眼下には西の方角に低位面の平地が広がり、さらにその向こうには加古川右岸の青野原台地の地平線が望める絶好

のビューポイントです。

黄砂のせいか、夕日が黄色く、しかし、はっきりと丸い形が見えます。雄大な光景を眺めていると、眼下の松尾辺りから煙が上がり、やがて炎が見えました。そして、ぽん、ぽんと竹が燃えてはじける音が響きました。そう、とんどでした。松尾地区の八幡神社の境内に組まれたとんどに火が着けられたのです。午後5時でした。沈む夕日、そして上るとんどの炎。このような景色を遠望したのは初めてでした。しばらくの間、その光景を眺めました。

### 4. とんどの準備ー加東市藤田地区

2015年01月14日

12日(月)、加東市内を車で走っていると、藤田地区の田圃の中に組まれた巨大なとんどの目が飛び込んできました。そう



例えば、10日（土）や11日（日）も市内を車で走っていると、竹を積んだ軽トラが目立っていましたが、各地区でとんどの準備をしておられました。

14日（水）には多くの地区で「とんど」が行われます。この写真にある藤田地区でも巨大なとんどが行われ、地区の老若男女が集まり、書き初めを炎にかざしたり、家から持ってきたお餅を焼いたり、灰を持ち帰ったりしながら、家族の健康や子供達の健やかな成長を祈ります。

巨大なとんどの前に看板が立てられています。「14日午後6時」から開始です。

## 5. 加東の雪景色—東条湖、三草山

2019年01月28日

27日（日）、加東市内を車で走っていると、昨夜の雪が残って、この辺りでは珍しい雪景色が楽しめました。

嬉野台地から三草山を、東条湖畔のアクア東条から東条湖、ダム堰堤方面を望みました。源平の古戦場の三草山、湖底に沈んだ土井の歴史を思ってしまう景色でした。



## 6. 加東アート館 「落ちない橋」を渡って合格へ!

2023年02月16日



加東市下滝野の加東アート館で、新しいトリックアートの制作が行われていました。玄関前の広場に3つのアートが描かれていました。

一つは、広場に空いた大きな穴に架かった橋から少女が落ちている場面。私はその吊り橋を落ちないで渡ろうとしています。これは、「絶対に落ちない橋」として、受験生や選挙に出る人

が渡るお守りのようなものになる、と思いました。

もう一つは水中から大口を開けて飲み込もうとするサメかな、巨大な魚の前の杭を渡る場面。これも「飲み込まれない」お守りとして、受験生や大事な本番に臨もうとする人にとって、いいお

守りになるでしょう。

そして、広場に階段に描かれた一枚。その階段を上る途中に立って撮影すれば、「上りつめる」で、いい写真が撮れるでしょう。

楽しいアートになりそうです。一足先に楽しませてもらいました。

## 7. 朝光寺のつくばねの滝 白い水しぶきあげて

2023年04月09日



8日(土)、選挙戦最終日は、昨日の悪天候とは打って変わって空は晴れ、春の光に加東の野山は新緑がまぶしく光っていました。

選挙カーで米田地域を回り、朝光

寺駐車場で休憩をとりました。下を流れる鹿野川の水量が多かったことで、つくばねの滝を見に行きたくなりました。

予想通りに滝を落ちる水は水量が多く、白い水しぶきをあげて幾筋にもなって落ちていました。昨日の雨のせいです。こんなに水量が多いつくばねの滝を見ることは滅多にないでしょう。滝壺あたりに光が射し込み、空の青、滝を流れ落ちる白い水しぶき、そして、木々の新緑が映えて見事な光景でした。

## 8. やしろの桃園—まほろば加東の桃源郷

2014年04月16日



「やしろの桃」で知られる加東市上久米の桃園。14日(月)、晴れ渡った空の青と緑の山々に映えて、ゆるやかな傾斜地一面に桃色の絨毯を敷きつめたように桃園が広がっていました。



今が花のピーク。早生や晩生の桃の木に花が咲き誇っています。去年は遅霜で大きな打撃を受けましたが、今は摘花作業が行われ、今年は順調だということです。

やしろの桃園は、昭和50年代半ばに山を切り拓いて栽培が始められ、今では6ヘクタールの広い山の斜面に約2400本の桃の木が植わっているそうです。県内では、これだけの規模で桃栽培が行われているところはないようで、桃は「やしろの桃」として兵庫県を代表するブランドで、県道沿いで直売されたり、注文に応じ宅配便で発送されています。

近年、イノシシ、シカ、アライグマなどの野生害獣の被害や蛾の被害もあるということで、サルまで出没しており、地元の栽培農家は対策に頭を悩ませているということでした。

## 9. 水煙の向こうに三草山—歴史の里で

2012年04月06日



4月1日、恒例の加東市消防出初式が行われました。会場は加東市上三草のやしろ国際学習塾。旧三草藩の藩庁があったところで、明治以降は三草小学校となっていました。その後、LOCホールや図書室、

展示場、茶室、会議室などを備えたやしろ国際学習塾（名前は学習塾ですが、文化会館です）となり今にいたっています。

周辺には旧京街道、松並木、武家屋敷などが残っており、歴史の古さを感じます。旧街道は三草川にそって続いており、その上流には源平の古戦場で知られる三草山が遠望できます。

出初式では三草川をまたいで消防の一斉放水が行われるのですが、三草山を遠望し、手前に三草川の清流、そして緑の松並木に桜が咲いて最高の景色なのですが、今年は残念ながら桜の蕾はまだ固く、水煙も冷えたく感じました。来年に期待です。

## 10. 西垂水の立明大明神の桜

### 佐保大明神遷座の地を探して一晩

2020年04月11日

7日の早朝、自転車で気の向くままに走っていると、いつの間にか西垂水の集落を過ぎて、旧国道372号線の近くまできました。左手東側の田圃の中にポツンと一本の桜が満開で、朝日に映えていました。立明大明神の祠です。不思議なことに、以前、



このブログで紹介したときも4月7日でした。道路から少し東に入って桜のところまで行きました。

立明大明神（たちあかしだ いみょうじん）が祀られてこの小さな祠は、加東市西垂水の集落の南の田圃の中にあります。昭和56年に圃場整備のために今の地に移されたもので、元は現在地より北の西垂水の集落の東にありました。

立明大明神の由来は、加東市社の佐保神社の由来に深い関係があります。

佐保大明神は元は加西の鎌倉峰に天降って鎮座していたのですが、小部野（おべの：今の加東市野村）の住人で、鴨国造（かものくにのみやつこ：古代の北播磨にあった鴨国の長官）の子孫である阿部三郎太夫（あべのさぶろうだゆう）が、神託によって佐保大明神を遷すべく、明神を背負い、鎮座の地をさがして一晩立ち明かしたところが、今の西垂水だったということなのです。

一晩立ち明し、夜が明けるころ、東方にうっそうと松がしげる丘が朝の光の中に浮かびあがった。三郎太夫はそこを遷座の地と決めたということなのです。それが今の佐保神社です。

三郎太夫が加古川に竿をさして釣りをしていたところ、佐保大明神がその竿をつたって川を渡って東にうつってきたという話や洪水の時に竿の先にかかってきたとかいう言い伝えもあります。それで竿先大明神という話もあります。

実は西垂水は、私の家のルーツで、墓も西垂水にあり、小さい

頃、父や叔父らと墓参りに来ていました。集落のすぐ西側に加古川が流れています。泉が湧く地であったところから、また、川に水が垂れるところから垂水の地名がついたということを知っていますが、明治のはじめに、東条地域の垂水を東垂水、そしてこの地を西垂水としたとの話も。そういえば垂水、垂井など同じような地名があります。立明大明神の話は小さい頃から知っていましたが、西垂水から東を臨むと、古代の景色が見えてきそうです。

## 11. やしろの森公園のコバノミツバツツジ

2018年04月13日



今、嬉野台地は新緑に衣替え中です。県立嬉野台生涯教育センターや県立やしろの森公園の辺りは、車で走っていてもピンク色のコバノミツバツツジが花盛りで、思わず車を止めて眺めてしまいます。

やしろの森公園の静かな園内の遊歩道を進んでいくと、時折りウグイスの鳴き声が聞こえ、明るい朝の光にコバノミツバツツジの花が映えていました。ボランティアの活動で日が入るように整備されており、花は射し込む日光をいっぱいを受けて咲き誇っています。

## 12. 佐保神社境内の親子桜

—新元号発表祝いライトアップ

2019年04月07日



6日（土）、夕日が西に沈む頃、佐保神社境内の稲荷神社と鐘撞堂辺りに人々が花見の準備を始める姿がありました。

新元号「令和」発表を祝い、親子桜のライトアップの点灯が行われました。親子桜というのは、元の桜の大木（樹齢数十年・幹回り3メートル）の太い根から出た子桜が数年前から花をつけ始め、親子桜と呼ぶようになったものです。

ほぼ満開になった桜がライトアップで夜空に浮かび上がり、幻想的な光景でした。神社総代会の役員さんらがライトアップに合わせて夜桜の宴を開かれたものです。朝のウォーキングで見た景色とはまるで違った桜の景色でした。ライトアップは一週間の予定だそうです。

### 13. 藤田の桜堤―千鳥川の水面に光る

2020年04月07日

千鳥川に沿って走る県道西脇三田線を走っていると、加東市藤田地区の堤の桜が見事に咲き誇っていました。中国道の社パーキングエリアのちょうど南側にあたり、まぶしい春の日の光と青い



空に映えています。太い幹、川面に大きく広げた枝、ほぼ満開の見事な桜でした。

## 14. 播磨中央公園桜の園—薄桃色に包まれて

2019年04月14日



13日(土)、昼前に加東市下滝野の播磨中央公園に寄ってみました。今年の桜も今日が見納めかもしれないという気持ちと青い空とまぶしい光に誘われて、午前の用事を済ませて車を走らせました。



階段を上っていくと、見上げる青空をバックに薄桃色の桜のトンネルが望め、皆さん立ち止まってカメラを構えていました。熟年夫婦が斜面でシートを敷いてお弁当を食べておられたり、だいぶご高齢の夫婦がベンチでアイスクリームを食べながら散る桜を眺めておられます。地面も花びらを敷き詰めたように薄桃色に光っていました。

帰りに河高のグラウンド辺りから桜の園を見てみると、五峰山の麓にたなびく薄桃色の雲のようでした。

## 15. 千鳥川桜堤から三草山を遠望す

2022年04月06日



千鳥川の堤は桜並木が続いています。梶原地区まで来ると、枝垂れ桜で知られる桜堤公園があります。

見頃までもう少しか

かりそうですが、駐車場近くの一本は見事な姿を見せてくれています。さらに小元団地を過ぎて、家原地区まで下り、大きくカーブする辺りから振り返ると、源平の古戦場、三草山が遠望できます。手前には桜堤が一筋の線となって続いています。川面には泳ぐカモの姿も見えました。

## 16. 朝の千鳥川の桜堤公園 — 枝垂れ桜が朝日に映えて

2020年04月05日



4日（土）の朝、千鳥川の桜堤公園に行ってみました。数台の車が止まっており、カメラを持って撮影ポイントを探して歩く人が数人、犬を連れて散歩する人の姿もありました。

雲間から射す朝日の濃い光を浴びて薄紅色の枝垂れ桜が輝いていました。潜水橋を渡って梶原側の堤から見る景色も素晴らしく、川面に桜が映っていました。その水面をカモの親子らしき4羽が航跡をを残しながら下流へと泳いでいきました。まだ開いていないつぼみの木もあり、見頃はまだしばらくいけそうです。

## 17. 兵庫県立社高等学校の桜

2020年04月08日



7日（月）、県立社高等学校に寄って、8日の入学式の予定について尋ねました。緊急事態宣言が出されるかもしれないなか、学校もその対応で忙しそうでした。7日には、規模縮小で行うとの連絡が入り、残念ながら入学式に出席することはできなくなりました。

さて、6日に寄った際、グラウンドから今年も見事に咲いた桜を眺めました。8日にはこの満開の桜が新入生を迎えてくれるでしょう。グラウンドには生徒の姿はありませんでしたが、コロナなんかに負けず、夢の実現に向かって頑張れ！と桜がエールを贈っているようでした。

## 18. 出会いの桜—木梨の桜堤で

2020年04月06日

5日（日）の朝、明るい春の日と澄み切った空気に誘われて、木梨の桜堤へ行ってみました。



三草川と千鳥川が合流する地点の突端から眺める桜堤は素晴らしく、毎年ここで写真を撮ります。タイタニック号の船首にいるような気分にもなれます。まさに出会いの桜です。

合流点手前の三草川から撮った一枚には、朱塗りの小橋が写っています。ここからの眺めも大好きです。木梨の桜は満開一步手前という感じです。出会いの桜、まだこれからが見頃です。

## 19. 花盛りの小山庵—桜、モクレン

2018年04月02日



県道西脇三田線の加東市藤田地区を走っていると、道路の北側、中国自動車側に張りだすように小さな山があります。

この上には小山庵（寺）と呼ばれる小さな庵があるので、その斜面は桜やモクレンが植えられ、毎年、春には山全体が花盛りとなります。

31日（土）に通りすがりに脇道に入り車を止めて、しばし景

色を眺めました。モクレンも桜も満開に近く、春の明るい日に白く、薄いピンクの花が咲き誇っていました。県道は千鳥川に沿っており、桜堤が続いています。もうすぐ満開になって人々を楽しませてくれることでしょう。

## 20. 桜と日本列島―東条川

2010年04月13日



加東市の木は桜。市内各所に桜の名所がありますが、東条川の堤にそって続くグリーンロードの桜は見事です。

先日、加東市岡本の東条グラウンドを通りかかった際、空の青さに満開の桜ロード、そして、空を映して光る水の流れの中に白く輝く日本列島という光景が目にとまりました。

東条川は多紀連山に源を発し、旧東条町の中央部をゆっくり流れながら、小野市に入り加古川に合流しています。この写真は加東市岡本にある東条温泉「とどろき荘」の下流にあたるどころです。ゆったりと蛇行する東条川の中に白く光る日本列島。不思議な光景ですね。

## 21. 嬉野の桜トンネル

2016年04月05日

加東市下久米の県立嬉野台生涯教育センターへの入口にあたる坂道、兵庫教育大の外国人留学生の宿舎辺りは桜のトンネルにな



って見事な景色です。兵庫教育  
大学周辺は社町時代に植えられ  
た桜の木が並木となって素晴ら  
しい景観をつくっています。

## 22. 鴨川の桜—鴨川の郷と鴨川小学校

2016年04月11日



鴨川の郷



鴨川の郷の桜



鴨川小学校の校庭の桜の古木



10日（日）、加東市上鴨川の鴨川の郷のさくらまつりが行われました。今年は桜が満開を過ぎて散り始めていました。その風情がまた素晴らしい景色となっていました。

近くの鴨川小学校の桜も見に行きました。校庭に並ぶ桜の古木も満開を過ぎて日曜日で誰もいない運動場に散った花びらの絨毯が敷きつめられていました。

## 23. 国道372号―馬瀬の桜橋

2013年04月06日



明日は春の低気圧が通過し強い雨風に襲われるという予報を聞き、せっかく見頃となった桜を今のうちに見ておかねばと、まずは国道372号の加東市馬瀬の桜橋の桜を見に行きました。

国道372号を三草山を右に見ながらさらに走ると、馬瀬公民館があります。その向かいに架かる小さな橋を跨ぐように生えている桜の古木があり、これが桜橋の桜です。車で走っていると一瞬の間に通り過ぎてしまいます。

毎年桜の季節になると、この桜橋の桜を紹介していますが、今年も取りあげます。

橋の桜の由来は次の通りです。

地元の方の話によると、幕末か明治のはじめの頃、村の人が山から山桜の幼木を抜いてきて橋のたもとに植えたそうです。しばらく経った頃、村の若者が幹を途中からきってしまったのですが、そこから枝が三本に分かれて、川をまたぐように横に伸びていったそうです。やがて幹は太くなり、大人が一抱えするほどの大木になりました。今は国道がついて根元はコンクリートで固められ、窮屈な場所になっています。そして、枝も一本だけが残っています。

まだ満開というには物足りない感じですが、今年も楽しませてくれました。桜橋の向こうに見えるのが馬瀬公民館。この桜も見事です。

## 24. 播州清水寺—春景色

2018年04月16日・17日

加東市平木の御嶽山清水寺は西国三十三ヶ所観音霊場の第二十五番札所です。

15日（日）、この清水寺で恒例の鴨川桜まつりが開催されました。昨夜からの雨もあがり、午後には青空が広がりました。



今年は全山新緑にもえあがり、その中にぼたん桜が咲いて、例年にない景色になっていました。根本中堂脇の広場では、ちょうどマジックショーが行われ、多くの人が拍手をして楽しんでいました。

山上からは六甲連山が見通せます。地元の方から明石海峡大

橋の橋脚がよく見える場所を教えられ、そこに立って見てみると、確かに淡路島の島影と2本の橋脚が見えます。福引き餅まきも行われ、餅を拾う人々の歓声が境内に響きました。



小学生の頃、大塔からきらきらと光る瀬戸内海と船影を見たことがよみがえってきました。雨上がりで空気が澄んで、眼下のゴルフ場のコース、裏六甲の緑、そして明石海峡大橋がパノラマのように見渡せました。



標高530メートルからの眺望は六甲、淡路、そして、明石海峡大橋の橋脚が望めます。仁王門は多淵敏樹教授（元神戸大学副学長）の設計で昭和54年に再建されています。

門から、大講堂への道は、かつて18もの塔頭があり、その石垣が残っていてすばらしい景観になっています。

## 25. 東条川—花盛りの堤

2018年04月04日

3日（火）、昼前に加東市吉井から岡本にかけて東条川沿いの県道を車で通りました。

西日本最長クラスと言われる東条川の桜堤の桜が今を盛りと咲きそろい、春の日に映えて延々と続いていました。吉井から藪へと東条川に掛かる橋の釣り針も光っていました。一台のトラック



が止まり、運転手さんがカメラを持って走って行く姿が見えました。

話を聞いてみると、仕事でこの地を通ることが多く、また、釣りもする。この桜は見事だが、今日は天気もよく最高なので、釣り針と一緒にこの光景を撮りたかった、と笑顔で話されました。嬉しい話でした。

## 26. 県立嬉野台生涯教育センターの八重桜

2016年04月19日



ソメイヨシノが散り、今度は八重桜の満開を迎えました。

加東市下久米にある県立嬉野台生涯教育センターを抜ける道路

沿いの八重桜の並木がほぼ満開で、青空と新緑の淡い緑を背景に鮮やかなピンク色の花がまぶしく光っています。

## 27. 加古川の川開き・鮎漁解禁—水神社で祈願

2016年05月02日

5月1日(日)、まぶしい日射しの下、加東市上滝野の名勝闘龍灘は普段より水量も多く、岩場に白い波しぶきが轟音をたてて光っていました。



全国で一番早く鮎漁が解禁となるこの日、多くの釣り人達が岩場に陣取って釣竿を差し出して、若鮎をねらって糸を垂れていました。今年も加古川漁協により揖保川の鮎が放流され、滝を上ろうとする鮎を釣り上げていました。



闘龍灘では、「笥漁」と呼ばれる伝統の鮎漁が行われていました。笥(樋)で滝の水を岩場に引いて、鮎の飛ぶ習性を利用した漁のことです。放流用の鮎が少し逃げて、岩場の水溜まりで泳いでいるのを子供が網で捕っていました。



滝を見下ろす闘龍スクエアにある水神社では、毎年恒例の川開

き神事が行われました。加東市観光協会が主催し、加東市、国土交通省、国会、県会、市会議員、地元区長、加古川漁協、観光ボランティアが参列し、地元上滝野の春日神社の長谷川宮司が祝詞をあげ、今年の豊漁と川の安全を祈願しました。その後、全員で若鮎を加古川に放流しました。

## 28. 東条湖水天宮祭—湖上の祠に安全と繁栄を祈願

2019年05月14日



加東市では、5月1日に加古川の川開き神事が河畔の水神社（上滝野）で行われ、今日13日に東条湖（鴨川ダム湖）の湖上の水天宮（黒谷）で水天宮祭が行われます。川と湖の恵みに感謝し安全を祈る祭りです。

東条湖は播州平野の内陸にある美しい湖です。終戦後の昭和26年（1951）、鴨川をせき止めて建設された鴨川ダムによってできた湖です。湖底には、ダム建設のために涙とともに先祖代々の土地を離れた土井集落の皆さんの家や田圃が沈んでいます。

水天宮はダム堤体の近く、湖上につきでた巨岩の上に祀られています。陸続きで半島のようになっていますが、湖畔のグランド赤坂から屋形船に乗り、湖面をすべるように走って数分。祠の下

の棧橋に着きました。整備された階段を上ると、岩の上に祠がありました。神官により厳粛に神事が執り行われました。時折り湖面を吹いてくる爽やかな風に汗がひきました。この水天宮の岩のあたりは、湖底から40数メートルあります。後ろを振り向くと、ダム の 堤 体 の 向 こ う に 広 が る 東 条 川 沿 い の 田 園 と 遙 か 向 こ う に 六 甲 連 山 が か す ん で 見 え ま し た 。

## 29. 寝仏—三草山を眺望す

2016年05月07日



北播磨城郭研究会の藤原孝三さんが講演の中で「寝仏、三草山」ということを言われました。聞き慣れない言葉だったので、調査報告書を読み直してみると、やはり「寝仏の姿

の三草山」と書いてありました。

寝仏とは釈迦の涅槃の姿で、横たわるお釈迦様の寝姿のことをいいます。山上の山城の部分が頭部で、南の尾根が首、肩から胴体へと曲線を描きながら足の部分になっているように見えるということでした。

その寝仏の姿をどこから見た山の姿なのかを確かに聞いていませんが、花まつりの朝、光明寺山腹の駐車場から眺望した三草山の姿は寝仏にも見え、感動しました。

写真の一番奥の山塊が三草山です。写真左の高い部分が山城の

ある山上部で、仏の頭部にあたります。そして峰がいったん低くなる部分が首、そして再び高くなり、そこが肩にあたり、右（南）にいくにしたがい低くなる、すなわち胴体から足の部分になるといように見えるのであります。皆さんはどうでしょうか。

### 30. 田圃に沈む夕日とぽっかり満月

2017年06月10日



9日（金）、神戸から加東への帰り道、加東市山国にさしかかった北向き地藏さんの辺りで、田植えの終わった田圃を朱に染めて、今まさに西の地平線に沈もうとする夕日が見えました。車を止めてシャッターを押しました。たなびく雲が夕日の重さのためにへこんでいるようにも見えました。沈む夕日と田圃に映る夕日。2つの夕日が光っていました。

社まで来ると、東の空低く、円く大きな月が浮かんでいました。もっとよく見えるところまでと思い、もう一度山国の高台まで車で戻ると、少し高いところにぽっかり浮かんだ満月が光をまして見えました。

太陽と月。その間に居る自分。宏大無辺の宇宙と生命を感じる  
ところですが、歌の心得もなく、ただただ、きれいだなあと思う  
ばかりでした。

## 31. 朝の元気ーやしろ中央公園ステラパーク

2016年06月17日



加東市社の社中央公園のステラパークには、十二星座のモニュメント  
があります。平成5年（1993年）  
に開催された「やしろ星の彫刻国際  
シンポジウム」で制作、発表された  
黄道12星座のモニュメントです。

写真は、その一つ、「おうし座」で、  
作者は隋建国さん（中国）、岡山産  
の花崗岩が使われています。おうし  
の大きな頭と角が特徴ですが、朝日  
を受けて光る角は、大きく両腕を広げているようにも見えます。

このモニュメントからは「よし、今日もがんばるぞ」という元  
気が伝わってきます。早朝のステラパークを歩いていると、十二  
星座のモニュメントがいろいろと語りかけてきます。

## 32. 大賀ハス咲きほこる平池公園

2016年06月27日

26日（日）、加東市立福田小学校の体育館で福田地区の敬老  
会が行われました。会場は高齢者の笑顔が溢れていました。

安田市長が、学校のすぐ南にある平池公園（加東市東古瀬）の



大賀ハスを見てきたという話をされました。ちょうど梅雨の晴れ間の好天だったので、敬老会のあと、平池公園に行ってきました。

公園には日曜日ということも重なって、多くの人が訪れていました。ここ数年ザリガニの被害で自慢の大賀ハスも少し元気がなかったのですが、今年は見事に咲き誇っていました。大賀ハスの池では家族連れがザリガニ釣りをしていました。「どんどん釣ってよ」と励ましました。

大賀ハスは、大賀一郎博士が2000年以上前の弥生時代の遺跡から発掘した種を発芽させたもので、この平池公園の大賀ハスは鳥取県農業試験場から譲り受けた15粒の種を発芽させ繁殖させたものです。

2000年の時を超えて咲く蓮の花のピンク色は鮮やかで、今年は一層の気品が漂っているように見えました。

今日は昼頃訪れたのですが、やはり早朝に来てみたくなりました。まだ蕾もたくさんついています。ぜひご覧下さい。

### 33. 鴨川ダムから六甲連山を望む

2008年09月12日

昨日は、渴水の東条湖の美しい夕景を紹介しましたが、振り返



って、ダム（堰堤）から東を望むと澄んだ空気の向こうに遠く六甲連山が青くくっきりと見えました。

私が立っているダムの上は標高140メートル余り。ダムの高さは40メートル余り。直下を見下ろすと平衡感覚が揺らぎます。ダムから鴨川が田園の中をくねり、東条川に流れ込こみます。川沿いには田圃が少し色づき、その向こうに低く丘陵が横たわって、六甲まで広々とした景色を見せてくれます。

一緒に訪れた友人と、小学生の頃ボーイスカウトで飯ごう炊さんをしたのは確かこのダムサイトに近い所だったなあ、などと話しながら当時の記憶をたぐってみました。そこで気が付いたことは、二人ともほとんどここまで足を運ぶこともなく40余年の歳月が流れていたということでした。

これから秋の澄んだ空気と紅葉の季節。ぜひこのダムからの絶景を楽しんで下さい。

## 34. 木梨神社鳥居脇に山田錦の案山子

2012年09月27日

彼岸に少し遅れて黄金色に色づいた秋の田の畦に彼岸花の赤がまぶしく映えています。加東市藤田の県道西脇三田線沿いの木梨神社の鳥居の近くに彼岸花が咲きます。まだつぼみのものもあり、いつもより少し遅咲きなかと思いながら車を降りてシャッターを



押ししました。

神社参道の鳥居のすぐ脇に今年山田錦と書かれた黄金色の法被を着けた案山子が立っていました。酒米の王様、山田錦の特産地である加東市ならではの風景です。グレー

ドアップ山田錦の幟とともに豊かに実った稲田を見守っていました。

## 35. 山国原田池からの夕日

2008年10月16日



加東市山国の東には、大きな溜め池や田圃が広がり、西を臨めば青野原が地平線となって視界が広がっています。標高100メートルあたりの台地面にいくつか大きな溜池があります。口ノ森池、原田池、王子が池などです。

15日(水)の夕方、神戸からの帰り道、よく晴れ渡っていたのでこの見晴らしのよい原田池あたりから夕日を見ようと車を走らせました。間に合いました。今日の夕日は今日だけのもの。空

を茜色に染めて夕日が青野原の向こうに沈んでいきます。ここも加東の美しい夕日を見るポイントの一つです。

## 36. 山田錦の里－東条秋津で稲刈り、天日干し

2020年10月03日

2日（金）、日が西に傾き、まぶしい光が一面の山田錦の圃場の稲穂を照らすなか、井戸知事が加東市東条地域の秋津を訪れました。

山田錦の生産者の都倉秀昭さんの圃場には、1日に刈り取られた山田錦が天日干しされていました。二段重ねの干し方は小さい頃からやっている方法で、

1週間ほど天日で乾燥をするとのことでした。最近では珍しくなった天日干しの景色を眺めながら、井戸知事は、都倉さんから山田錦の栽培の苦労や今年の出来具合などの話を興味深く聞いておられました。

井戸知事はこれに先だって、加東市沢部にある県の酒米試験地を訪れ、酒米研究交流館に展示してある山田錦栽培地の土壌見本も見学し、その見本を採取した田圃が目の前の田であることに驚かれていました。

この日の見学会は、県議会の自民党酒米日本酒振興議員連盟が

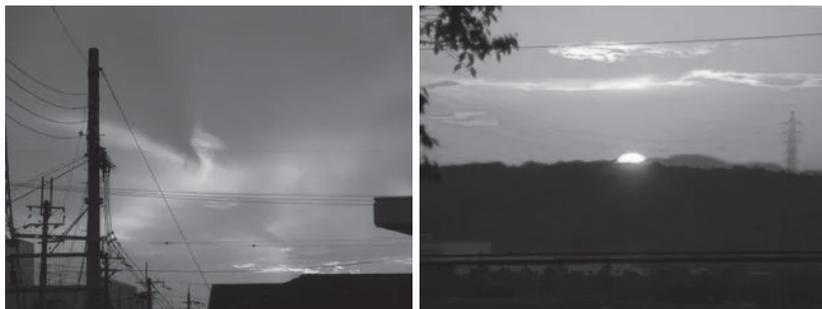


コロナ禍で日本酒の消費が激減し、その影響で酒米の生産に大きな影響が出ているなか、兵庫の宝である山田錦の産地を守り、生産者をしていくかを考えていこうと企画したもので、知事、農政環境部長、全農、地元JA代表が出席し、安田加東市長も駆けつけていただいた。

天日干しの稲木を背に記念撮影したあと、都倉さんの勧めで、井戸知事が稲刈りに挑戦しました。知事は子供の頃過ごした新宮で稲刈りをしたことがあるものの、機械で刈るのは初めてと言いながら笑顔で田に立ちました。知事は、秋津の地名はよく知っていたが、もっと山深いところだと思っていたら、こんなに広々と圃場が広がっているとほとつぶやきながら、豊穡の秋を迎えた秋津の景色を眺めておられました。

## 37. 明治館からの夕日、そして不死鳥が・・・

2016年10月13日



12日（火）の夕方、用事を済ませ加東市社の市街地の南、三階辺りを車で通っていると、西の空が夕日で真っ赤に染まっているのが視界いっぱいに広がりました。

近くの明治館へと車を向かい、飛び降りてカメラを向けると、

ちょうど夕日が西の地平線に沈もうとしているところでした。

加古川の河岸段丘によってできた台地面に社の市街地があり、その南西の端に明治館、旧加東郡公会堂が建っています。そこに立つと、西側には低位の段丘面が広々と広がり、その向こうに加古川が流れ、さらにその向こうには青野原台地が地平線となって空と大地を区切っています。

その地平線に夕日が沈むのです。季節が冬に向かうにしたがって沈む位置は南に移ります。内陸の町、社で雄大な夕日が見えるのは加古川によってつくられた河岸段丘と広々とした平野があるからです。

社の市街地面では、明治館、佐保神社、大師殿などがスポットです。もう一段高い市役所のある面では、やしろ中央公園の金屋谷池堤が絶好のポイントです。そして、さらに高位の嬉野台地面でも雄大な夕日を見ることができます。西から東へと河岸段丘が低、中、高位の段丘面をつくっているのも、各面の西端からは夕日がよく見えるというわけです。「夕日の美しいまち、加東」。これからの季節が絶好です。天気の良い日は夕日が西に傾いたところに出かけてみて下さい。

夕日が沈んだあと、西の空は低い雲が日に照らされて一面燃えるような真っ赤になりました。見ていると、その中を飛び立つ不死鳥が……。翼を大きく広げた不死鳥が黄金色に輝いて見えました。どうでしょう。

## 38. 河高のコスモス

2010年10月24日

23日、加東市河高を車で走っていると、コスモスが満開で日

に輝いていました。加東市の花でもあるコスモス。市内各所でコスモスが咲いている風景を楽しむことができますが、まさに今を盛りに咲き乱れるという言葉がピッタリのコスモスです。思わず車を降りてシャッターを押しました。



### 39. 播州清水寺で御本尊御開帳法要

2017年11月04日



3日(金)、穏やかな秋晴れの下、加東市平木の播州清水寺では、根本中堂御本尊十一面観世音菩薩の御開帳法要が営まれました。

この菩薩像は開基の法道仙人が一刻三礼で彫ったと伝えられるもので、秘仏として30年に一度開帳されてきました。

根本中堂に入り、外陣から普段は入れない内陣へと進むと、一段低い所に十一面観音立像と脇に吉祥天と毘沙門天立像がお祀りされていました。

御本尊は像高139センチ。しかし、その顔や体型はよく見る観音像のイメージとはずいぶん違っていました。まず、素朴な感じを受けました。顔が目を凝らさないと目や鼻、口がはっきりと見えません。鼻も口も初めて見るような形でした。体型もがっしりしていて、法道仙人が大胆に彫られたという感じが迫ってくるようでした。

ご住職から記念に菩薩の顔の絵の色紙をいただきました（写真）。大講堂や薬師堂など、多くの人が訪れ、色づき始めたもみじやいちょうを写真におさめる姿が見られました。これから紅葉の本番。ライトアップもそろそろ始まると聞きました。

ぜひ、清水寺にお出かけください。

## 40. 雲上の播磨高野—五峰山光明寺

2017年11月14日

13日（月）の早朝、ウォーキングで加東市の中央公園金屋谷池の堤に上ると、北西の方角、五峰山光明寺の山頂と連なる峰々がたなびく雲の上に出てい



ました。それはまるで雲海に浮かぶ島々のように見え、幻想的な風景でした。

12日の朝は加古川の流りにそって低く川霧がたなびいて雲のように見えたが、13日の朝は、さらに厚く、長く雲がたなびいて、社の台地と五峰山の間が雲海となるほどでした。雲上の

播磨高野。しばらくその美しい景色に見とれてしまいました。

## 41. やしろの森公園で収穫祭—豊かな里山の恵み

2014年11月24日



23日(日)、県立やしろの森公園(加東市上久米)で恒例の収穫祭が行われました。紅葉がまぶしく光る好天にも恵まれ、家族連れなど多くの人で賑わいました。豊かな彩りの自然の中に身を置いていると、心がゆっくりとほぐれていくのを感じます。新米のご飯や

つきたてのお餅のおはぎなどをいただくと体も元気になりそうでした。森の中では地元社高校生による絵本の読み聞かせも行われていました。芋掘り体験、囲炉裏端での食事、椎茸原木・・・懐かしく、豊かな里山の暮らしがありました。

## 42. 東条川疏水ボート探検—安政池の湖畔で

2017年11月24日

23日(木)、東条川疏水をゴムボートに乗って探検するという初めての企画が行われました。

東条川疏水は、鴨川ダム(東条ダム)や昭和池を水源にして、加東、小野、三木のため池や水田に水を送っている用水路網をさしますが、鴨川ダムから幹線水路が水路橋や隧道を通過して嬉野台地へと延び、日本最長クラスと言われる曾根サイフォンを通過して小野市域の台地に水が送られています。その途中に安政池や船木



池が築かれ、さらに用水路を通じて多くのため池、田圃へと水が送られています。この壮大な水のネットワークを博物館に見立てて流域の文化も合わせて見直していこうという取り組みが東条川疏水ネットワーク博物館です。

23日は昭和26年11月23日に完成した鴨川ダムを記念して「東条川疏水の日」に制定されています。それから60数年、

この水路をゴムボートに乗って探検するという企画が実現しました。実は今から36年前の昭和56年（1978）、兵庫教育大学附属小学校に勤務していた頃、4年生の社会科で「嬉野台地の開発と東条ダム」という単元づくりに取り組み、ダムからこの用水路網をバイクで实地踏査しながら調査したことがあります。その壮大さに魅せられとりこになって、附属中学校でも引き続きこの学習に取り組みました。その当時、ダムから延びる用水路網をボートに乗って流れてみたいという思いを抱いたものでした。学習では行けるところは実際に歩き、それが叶わない場所はビデオテープに撮って子供達に見せました。あれから30数年、そんな夢が今、目の前に実現している光景に感慨一入でした。当時の教え子が加東市の幹部職員になっており、今日もスタッフの一人として出ていましたが、当時のことを思い出し、話し込んでしまいました。

子供達は3,4人ずつボートに乗って、ゆっくり流れる用水路をオールなしに流れていきます。途中、疏水クイズもあり、歓声をあげながら楽しんでいました。水路に沿って歩く保護者はさかんにカメラを向けて声をかけていました。安政池周辺は紅葉が美しく、その中を流れる疏水の流れとともに流れ、歩く、そんな素晴らしい体験が実現しました。

この湖畔を歩く道もほしい、もっと多くの人にこの疏水のことを知ってほしい、という思いでいっぱいになりました。

## 43. 社のエッフェル塔関電タワーにコウノトリが飛来

2021年11月28日

27日（土）、加東市社の商店街で開催されている「社のおにわ亭」（商店街活性化・古民家活用）の会場へ行こうと、我が家



の横の路地から学校道に出ると、知人ら2人が関電タワーを見上げて何やら話していました。

その方向を見てみると、なんとタワーの天辺に一羽のコウノトリが止まっているではありませんか。持っていたカメラでズームしてみると、間違いなくコウノトリでした。これは珍しい。最近、北播磨各地で目撃したとの情報が出ていましたが、社のエッフェル塔（と私は呼んでいます）関電タワーを訪れてくれたとは感激でした。「まさに瑞祥」と嬉しい気持ちが湧いてきました。

「おにわ亭」の会場でそのことを告げると、放送が流れ、訪れた多くの方がすぐ近くの関電タワーを見上げて、指を差したり、スマホを構えたり、笑顔がこぼれました。

去年の10月末、家原の新池あたりでコウノトリの群れの飛来が目撃され、神戸新聞にも報じられて話題になりましたが、今年もちゃんとやって来てくれました。しかも見晴らし抜群の台地の上に立つ最高点の関電タワーの天辺に。長時間止まって、あちこち向きを変え、サービス満点のコウノトリでした。

我が家の近所では今年ベビーブームで、私にも5番目の孫（外

孫ですが) が授かり、今は実家である我が家にいます。ひょっとしたら、コウノトリが順調に育っている姿を確かめに来てくれたのかもしれない。大津の孫3人も今日はやってくる予定なので、まさにぴったりのタイミングでした。

## 44. 天から地上へ—薬師堂の金色

2012年11月29日



一雨ごとに秋が深まり、野山を彩った紅葉も盛りを過ぎようとしています。12月のはじめの開通を間近に控えた国道372号のバイパス加東大橋の東詰めの加東市貝原の薬師堂の境内は黄金色に光っていました。それはまるで天から黄金が降ったようでありました。

薬師堂は、加東四国八十八ヶ所霊場の第三十三番霊場になっています。巡礼の道は、鳥居の観音堂から、この貝原の薬師堂、そして、次は加古川を渡って河高の高蔵寺庵へと続いています。

貝原は京街道の、そして西国霊場参りの巡礼道で賑わっていました。加東大橋の開通でお堂は新たな目印に生まれ変わろうとしています。その移り変わりをこの銀杏の大木は静かに眺めているようです。

# 令和4年～5年の活動記録

## 令和4年4月～令和5年4月までの議員活動記録 —議員活動ブログ「百聞百見」より

### 1. 新年度スタート 議会事務局で辞令交付式

2022年04月02日



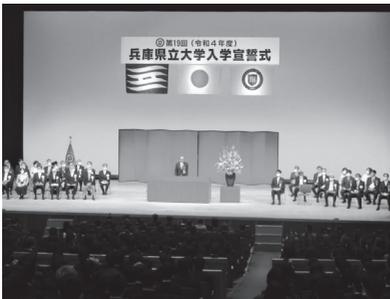
4月1日（金）、今日から令和4年度。朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩き、気持ちを新たに新年度をスタートした。

11時前に登庁。11時40分から議長応接室で議会事務局の辞令交付式が行われた。局長に高永氏、総務課長に山田氏、議事課長に榊氏を新たに迎え、局次長には糟谷氏が昇任した。

今日の県下の新規感染者数は1,700人台だった。

### 2. 兵庫県立大学入学式

2022年04月06日



5日（火）、9時30分過ぎに神戸国際会館へ。10時から兵庫県立大学の入学宣誓式が行われた。式場の大ホールには1,600名余りの新入生が出席した。



国歌斉唱はマスク着用で静聴。続いて、太田学長が式辞を述べ、県立大学の組織や施設、取り組みなどを紹介し、主体的な学びと生活を樹立してほしいと期待を述べた。次に五百旗頭公立大学法人理事長が祝辞を述べ、その中でロシアのウクライナ侵攻にふれ、厳しい時代に学生生活を送ることになるが、理想と現実のバランスをとりながら勉学に励んでほしいと激励した。続いて、齋藤知事、議長（私）が祝辞に立った。知事は自身の学生時代を、私は神戸商大での非常勤講師を勤めたことなどのエピソードにふれながら入学生にお祝いと励ましの言葉を贈った。

午後は県庁の議長室で執務した。ウクライナでのロシア軍の市民殺戮の実態が次々と明るみに出て、戦争犯罪だとして告発の動きが出ている。女性や子供を含む多くの市民が無惨な方法で殺されたとの証言をする人々の表情には恐怖と怒りが表れていた。

一方、ウクライナから隣国ポーランドはじめ欧米諸国への避難民が数百万規模になっている。日本にも家族や知り合いを頼って避難してくる人々もあり、林外相が20人の避難者を連れて帰ってきた。このロシアの暴虐からウクライナの人々を救うことが大事と、今日の県立大学入学式で五百旗頭理事長も新入学生に呼びかけられた。兵庫県はウクライナからの避難民の受け入れ支援を表明している。電気も水道もない廃墟の一室で、あるいは地下室や地下壕で恐怖の日々を送っている人々に一刻も早く救いの手を差しのべなければならない。

今日の県下の新規感染者数は1,965人と、2,000人程度で高止まりしている。

### 3. 今日から新学年 孤立妊婦等支援議員の会で 「いのちのドア」を見学

2022年04月08日



7日（木）、今日から市内の小、中学校は新学年度がスタートし始業式が行われた。

昼前に登庁。議長室で決裁など執務。竹村産業労働部長と明日の駐日ロシア大使の知事表敬訪問などについて話した。

午後1時30分から、自民党の孤立妊婦等支援議員の会の有志11名で神戸市北区にある公益社団法人「小さないのちのドア」を訪問し、施設見学や

説明を受け、意見交換を行った。

代表の永原郁子さんは4年前に自ら経営するマナ助産院の一角に「育てることが出来ないと追い詰められた女性のための24時間相談」を始め、2年間には、隣地に「社会的ハイリスク妊産婦のための生活支援場」としてマタニティーホームMusubi」を建築し、24時間相談から出産、産後の社会的自立への支援に取り組んでいる。以前に加東市内の小学校で親子性教育の講演を聴いたこともあり、性教育の講師も精力的に取り組まれている。「赤ちゃんポスト」の立ち上げに取り組んだが実現せず、相談、来所面談の「いのちのドア」として実現したことが結果としてよかったとも話された。今は、妊婦里親の仕組みの立ち上げに取り組まれている。

今日の県下の新規感染者数は2,297人。高止まり、リバウンドの兆しか。

### 3. 駐日ウクライナ大使の表敬訪問、地方議員政策セミナー

2022年04月09日



8日（金）、11時過ぎに兵庫県公館へ。駐日ウクライナ大使のセルギー・コルスンスキー氏が兵庫県知事を表敬訪問し、齋藤知事とともに大使を迎えた。

今回の訪問は県が行う避難民支援へのお礼が趣旨だった。知

事は支援の内容を説明し、大使は県の対応に感謝すると答えた。私からは、県議会でのロシア非難決議、在大阪ロシア総領事への抗議について報告し、大使から提案のあったこれからのウクライナとの交流、具体的にはリビウ州との姉妹提携などにも積極的に取り組んでいくと答えた。また、大使は、ロシアによる侵略の実態を世界中のメディアに公開し事実を伝えている。ロシアがいうようなフェイクではないと強調した。ウクライナとは戦争中の支援のみならず、復興に向けて文化、経済交流などにも取り組んでいくことが大事との話ができた。

午後4時から、神戸市内のホテルで、地方議員連絡協議会の主催する地方議員政策セミナーが開催され出席した。4年ぶりの開催で、県議会はじめ県内の市町議会から多くの保守系議員が出席した。加東市議会からも6人の出席があった。セミナーでは、テレビなどでお馴染みの政治ジャーナリストの田崎史郎氏が「岸田政権と参院選」と題して、自民党と公明党との関係や、自民党内の派閥リーダーの関係などにふれながら、来る参院選の予想を講演された。懇親会では、乾杯の発声を務めた。

コロナ感染状況について、専門家などからオミクロン派生株への置き換えや沖縄県では第7波といった発言も出ている。県下の

新規感染者数は2,000人前後で横ばい状態だ。3回目のワクチン接種によって抗体量が増加することは明らかとなっているが、接種の副反応を嫌がる傾向があると聞く。しかし、重症化を防ぐには、ワクチン接種が効果的だ。マスク着用などの感染防止行動を続けながら、ワクチン接種を促進したい。

#### 4. 県立むこがわ特別支援学校開校式

2022年04月12日



11日(月)、10時から西宮市民会館で県立むこがわ特別支援学校の開校式が行われ、出席した。阪神南地域における特別支援学校の児童が増加し狭隘化が問題となり早急に新たな学校を整備することが課題となっていた。

自民党議員団の幹事長だった去年の1月末に自民、県民連合、公明の3会派で西上教育長に学校新設の要望を行ったが、今日、こうして開校式を迎えたことは感慨一入だった。

式では森川校長が開校までの経緯、今後の計画などを説明し、自ら定めた校訓、「自分らしく学び」「自分らしく輝き」「自分らしく翔く」を紹介した。また、校章をデザインした県立兵庫工業高校の女子生徒、校歌の作曲をした県立西宮高校の女子生徒がそれぞれ込めた思いを披露した。

ロシア軍撤退後の占領地の実態がメディアに公開されその暴虐が世界中、といってもロシアや中国などを除いて、伝えられている。殺戮、暴行、略奪等々許されざる犯罪行為だ。しかしロシアはウクライナ軍の仕業だと否定している。中国は不確かだと認め

ていない。軍事専門家によれば、これから東部でのロシア軍の攻撃が本格化し激しい戦闘が予想されるという。NATO諸国の軍事支援も増えている。日本から1万キロ離れたウクライナで起きている現実だが、ロシアも中国も海を挟んで日本と隣接していることを忘れず、動きに目を離さずみていきたい。

## 5. うれしの学園生涯大学入学式

2022年04月20日



19日（火）、10時から嬉野台生涯教育センターで、県の地方高齢者大学のうれしの学園生涯大学の入学式・開講式が行われた。北播磨の議員とともに出席し、代表してお祝いを申し上げた。今年は4年生大学に43名、大学院

講座に10人が入学した。中には知人の姿もあり、新しい学びの始まりへの期待感が伝わってきた。

ロシアのウクライナへの侵略は、南部のマリウポリ市の攻防が重大局面にあることが伝えられている。製鉄所の地下のシェルターには、抗戦するウクライナ軍と避難した市民がいる。ゼレンスキー大統領だけではなく、市長や軍関係者らがこの戦争（惨状）を止めるために早く行動をと世界に訴えている。一番必要なのは侵略者と戦うための武器と弾薬だと。日本がこの訴えに対して応えられる策を必死に考えて即座に実行していくことが必要だ。ウクライナの惨状と人々の声が伝えられる度に悶々としてしまう。

## 6. 兵庫県立はりま姫路総合医療センター開院式 須磨寺参道に「鳥守の広場」整備され

2022年04月24日



23日(土)、今日は2つの記念式典に出席し、お祝いを申し上げた。

午前は、JR姫路駅近くに建設された新病院、県立はりま姫路総合医療センターの開院記念式典に出席した。播磨姫路圏域

の高度専門・急性期医療を担う新病院で、圏域の中核的な総合病院として救急医療、医療人材育成・臨床研究の役割も担う。

開院式に先立ち、製鉄記念広畑病院と県立姫路循環器病センターの2つの病院で使用されてきた手術ハサミを使ってテープカットが行われた。式典では姫路市立姫路高校吹奏楽部の演奏に続き、齋藤知事の挨拶、杉村県病院事業管理者の経過報告が行われ、続いて、来賓挨拶に県議会議長の私、清元姫路市長、藤澤神戸大学長が立った。そのあと、木の下院長から診療機能・スタッフの紹介が行われた。愛称は「はり姫」。30余の診療科と736床をもつ県西部最大の病院で、内覧会では、先端医療装置や12階の食堂からの素晴らしい展望などを見学した。

午後は、神戸市須磨区の須磨寺の参道の一画に整備された「鳥守の広場」、島田勲顕彰碑の完成お披露目の会が開かれ出席した。この広場は県民みどり税を活用し整備されたもので、地元須磨区選出の



県会議員の伊藤傑議員、神戸市会の大野議員らが中心となって進め、須磨寺の協力と島田叡を顕彰する地域の人々の協力で完成した。テープカットは須磨寺の小川貫主、服部副知事、私の3人が行い、顕彰碑の除幕は井戸前知事と元沖縄県副知事の嘉数氏によって行われた。その後、嘉数氏、私、服部副知事、井戸前知事が挨拶をし、最後に地元協力者の皆さんが紹介された。今年は沖縄復帰50周年の節目の年であり、また、去年は島田叡生誕120周年を記念した行事が、さらにこの夏には島田叡を主人公とする島守の映画が公開されることになっている。この広場には、沖縄県の寒緋桜の苗木7本が植樹されている。

今日の県下の新規感染者数は、1,505人だった。

## 7. 兵庫県市議会議長会

2022年04月28日



27日(水)、昼前に丹波篠山市へ。今日は「ユニとピアささやま」で第268回兵庫県市議会議長会総会が開催された。コロナのために対面総会は2年間開かれていない。県下各市の市議会議長、副議長さんが出席し、総会、研修《講演》が行われた。

開会でお祝いを申し上げた。

## 8. 主権回復の日 自民党各種友好団体との政策セミナー

2022年04月29日

4月28日(木)、今日は主権回復の日。昭和27年(1952)にサンフランシスコ講和条約が発効し、主権が回復してから70年を迎えた。この「主権」こそ、ウクライナがロシアの侵略者



と戦う第一の理由だ。日本は主権を回復したといっても、北方領土や竹島はロシア、韓国に不法占拠され主権を侵されたままだし、横田めぐみさんら同胞が北朝鮮に拉致されたままだ。土地と人の拉致。まさに日本の主権が侵されている。真の主権回復は実現していない。

午後4時から神戸市内で、自民党県連と各種友好団体連絡協議会の政策セミナーが開かれた。講師は、自民党参議院幹事長の世耕弘成氏。世耕氏は、ウクライナ問題と北方領土問題、コロナ対策と経済対策、憲法改正特に緊急事態条項の必要性について語り、今夏の参院選の重要性を強く訴えた。

今日の県下の新規感染者数は1,570人。明日から大型連休が始まる。

## 9. 3年ぶりの開催—新緑輝く中うれしのフェスティバル

2022年05月05日



4日(水)、今日は「みどりの日」。加東市下久米にある県立嬉野台生涯教育センターで「うれしのフェスティバル」が開催された。3年ぶりの開催、しかも大型連休の真ん中、近くの豊かな自然の中のイベントといったこともあって、多

くの親子連れで大盛況だった。

会場では、以前と同じ場所、同じ顔ぶれで多くの出店が出そろい、久しぶりに出会う方々との挨拶と近況報告などで話が弾んだ。

中庭の特設ステージでは、コーラス、南京玉すだれ、フラダンス、和太鼓、詩吟などが次々と披露され、取り囲むように出店が並んだ。社高校生活科学科の女子生徒、うれしの友の会の皆さん、元ソプロチミスト今はシャイニーMの皆さん、山田錦を愛する会の皆さん等々、うれしの学園生涯大学などを舞台に地域で活躍している皆さんと久方ぶりにお出会いできた。うれしのビーツ広め隊では、ビーツ弁当とビーツジャムを、中町のグループから巻き寿司とシカホットドッグ、その他、恒例のぜんざいや社高校の焼き菓子も。もちろん、一人で食べられない。妻と娘、孫と昼食でいただいた。新緑と爽やかな風が吹き渡り、気分が和らいだ。人と自然の博物館の出前展示では、4歳の孫が大型カブトムシの角に指でおそろおそろ触れていた。やしろの森公園、小野工業高校や西脇工業高校も展示・体験コーナーを出していた。

こうした野外でのイベントは好天にも恵まれ、子育て中の親にとっては絶好のお出かけ機会になったようだ。田中センター長さんは駐車場が一杯になり走り回っておられた。ある人曰く、高齢者が元気だからこのイベントもできている。それで子育て中の親が助かるし、子どもも喜ぶ、と。まさにその通りだと思った。

## 10. 3年ぶりの県民スポーツ大会総合開会式、 加東市更生保護女性会総会に

2022年05月09日



8日(日)、今日は朝から爽やかな空気に包まれ、五月の日差しに新緑がまぶしく輝く好天だった。

10時前に県立明石公園へ。「きしろスタジアム」(陸上競技場)で開催された第76回兵庫県民スポ

ーツ大会の総合開会式に出席し、県議会を代表してご挨拶を申し上げた。県内スポーツ競技団体の59団体から選手、役員ら約1000人が参加し3年ぶりの総合開会式が行われた。選手を代表して、東京オリンピック女子新体操団体5位の杉原愛子さんが宣誓を行った。式はコロナ感染防止に配慮し、30分で終わった。

午後1時30分から加東市社公民館で行われた令和4年度加東市更生保護女性会の総会に出席し、ご挨拶を申し上げた。この総会も3年ぶりとのことだった。コロナ禍でさまざまな活動が制約されてきたが、今年こそはウィズコロナで日常活動を取り戻していきたいと願うばかりだった。



今日の県下の新規感染者数は1,977人と、2,000人に迫った。日曜日にしては多い数だ。明日はロシアで対ドイツ戦の戦勝記念日だそうだ。プーチン大統領の発言に注目が集まっている。

## 11. ロシアで戦勝記念のパレードと演説 北方領土

2022年05月10日

9日(月)、今日は先日新しく開院した県立はりま姫路総合医療センターで、姫路循環器病センターからの引き継いでの処置後3ヶ月目の診察を受けた。確か今日から外来患者の診察が始まると聞いたが、朝から多くの人を訪れ、受付や各ブロック受付などで病院関係者に尋ねる場面が目立った。私も同じだった。検査、そして、診察の流れで、午後までかかってしまった。帰宅したのは結局、午後3時近くになっていた。やはり一日仕事になってしまう。加東市民病院の地域連携室を通じて、先月に受けていた検査データのやり取りも出来ていたし、病院の役割に応じた医療連

携もスムーズだった。

ところで、ロシアで戦勝記念日のパレード、プーチン大統領の演説に注目が集まっていた。予想されていた「戦争宣言」なるものはなかったが、ウクライナへの侵攻を正当化した演説でだった。報道番組のコメンテーターが、ロシアの国民はこれを聴いて、そうだと思ってしまうのでは、と話していたが、ロシア国民はそんなに単純ではないだろう。表では大統領の演説を肯定しロシアの勝利を信じると思うだろう。しかし、心の中では、それがウソだと知っている、信じていないと思う。

ウクライナでは、ミサイルや砲撃によって、学校が攻撃され子供達が殺されている。病院が攻撃され、病人や妊婦、赤ちゃんが殺されている。占領された町では、ロシア軍が民間人を殺戮するという戦争犯罪を犯した。その証拠も挙げられている。ロシアはそれをウクライナのネオナチの仕業であり、フェイクだと反論しているが、世界のメディアに公開されている現実にロシア国民がまったく気づいていないはずはないと思う。しかし、このままロシアがウクライナの占領地域での支配、ロシア化を既成事実化してしまい、世代を超えて教育し続けていくとプーチン大統領のいう「表の論理」が定着し真実になってしまう。

北方領土もそうだ。4島だけではない。私が中学生の頃の地図には、南樺太は白くなっており、ソ連の領土ではなかったと記憶している。千島列島もそうだ。日本はサンフランシスコ講和条約でこれらの地域を放棄したが、どの国の領土とは決まっていない。ましてやソ連のものではないし、ソ連とは講和条約を結んでいない、との説明だったと思う。第二次世界大戦を祖国解放戦争という名称で呼び、日本から千島列島や南樺太を取り戻したとの教育をソ連がしていると聞いた。日本の子供達には、そうではない、歴史の真実をしっかりと教えていかなければならないと、教員時代には、

中学社会科の地理、歴史、公民の3分野で力を入れて授業をしてきた。

ウクライナの領土がロシアに侵略され、支配されることを正当化させてはならない。なぜならウクライナの大統領、国民がそれを認めていないからだ。

## 12. 久しぶりの総会ラッシュ 秋津こども園新園舎竣工式

2022年05月15日

14日(土)、今日は、5月中旬の土曜日とあって、市内各団体の総会などが4つ開かれた。

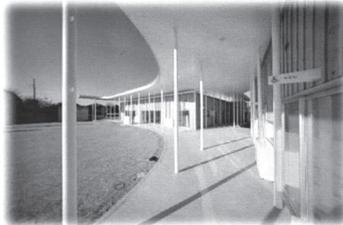
まず9時30分から、加東市高齢者大学の開講式が滝野交流センター(旧文化会館)ホールで行われた。3年ぶりの開催で、感染防止対策を十分にとった形で行われた。大学では、8月20日に、講話を担当することになっている。



次は、加東市秋津の秋津こども園の新園舎竣工式へ。すでに10時から始まっており、加東市を西から東へと車を走らせ、

少し遅れて式場に入った。ちょうど岩根市長が祝辞を述べている時だった。そのあと続いてお祝いを申し上げた。

新園舎は木材をふんだんに使用し、廊下にはまるでリゾート施設のような白いひさしがあり、子供達が走り回れるようになっていた。園庭にはボルダリング遊具もあり、周囲の豊



かな自然環境とあわせて素晴らしい施設になっていた。この園舎で子ども達が健やかに育ち、園が家庭と地域を結ぶ子供子育てのセンター的役割を果たしていくことを祈念した。

午後1時30分から、社公民館で加東市文化連盟の総会、やしろ歴史民俗研究会の総会が同時に2階ロビーを挟んで2つの部屋で開かれた。

文化連盟の総会に出席した後、歴民研の総会に出席した。歴民研では私は副会長を務めている。総会のあと、第1回研修として、城郭研究家の藤原孝三さんが「北播磨の城郭」について講演した。藤原さんは、山城については、伝承も多く、文献や現地調査、数字の検証等で史実を確かめることが大切とし、加東市内の三草山城や天神山城などについて解説された。

午後7時から社公民館で加東市子ども会育成連絡協議会の総会に出席した。コロナ禍で対面総会が行われず、3年ぶりの開催という団体も多く、特に今日は開講式も含めて4つの会と、竣工式への出席があり、活気が戻りつつあると感じる一日だった。

今日の県下の新規感染者数は1,769人。1,500人～2,000人台が続いている。

### 13. 東京で沖縄復帰50周年記念式典に出席

2022年05月16日



15日(日)、今日は沖縄が復帰してから50周年。東京で開催された記念式典に出席した。

50年前の昭和47年(1972)は、私が大学に入学し、上京して学生生活を始めた年でもあった。佐藤栄作総理大

臣が万歳をしている場面がニュースなのか、写真なのか記憶に残っている。それから50年が経ち、今日ここに節目の式典が行われた。(写真は式が始まる前の会場自席で)

天皇皇后両陛下が御所からオンラインでご隣席された。式場は沖縄と東京の2ヶ所。オンラインで結ばれ、東京式場(グランドプリンスホテル新高輪)には、細田衆議院議長、山東参議院議長、大谷最高裁長官はじめエマニュエル駐日米国大使、閣僚、国会議員、都道府県知事、都道府県議会議長らが出席した。

国歌独唱は、沖縄県出身の全盲のテノール歌手、新垣勉さん。続いて、岸田首相、玉城沖縄県知事が挨拶。2人はかりゆし姿だった。

天皇陛下がおことばを述べられた。陛下は当時中学1年生だったと振り返られ、復帰後の沖縄県民の努力に敬意を表されながら、今後、沖縄への理解がさらに深まり豊かな未来をつくりあげていこうとのお心を表された。

続いて、壇上の出席者からの挨拶、沖縄県民代表として対馬丸保存会代表、若者代表が思いを述べた。最後に沖縄県立那覇高校合唱部の生徒が「芭蕉布」「じんじん」「ていんさぐぬ花」の3曲を歌い、式は終わった。

会場入りが午後1時30分、2時開会、3時15分閉会で、会場を出たのが3時50分頃だった。密を避けるために順次退席となったが、会場には歴代総理の顔もあった。

沖縄県とは友好関係が深い兵庫県。個人的にも勤務していた中学校の修学旅行先を沖縄県に変えたことや、議員として、のじぎくの塔、島守之塔での慰霊祭参列、石垣島への調査、本島では、県庁や教育施設、文化施設、南部戦跡調査などを重ねてきた。普天間、嘉手納などの米軍基地を訪れ調査を行ったこともある。記念式典では、そうしたことを思い返しながら、陛下のおことばに

あるように沖縄への理解をさらに深めていきたいと思った。新神戸駅に着いたのは午後7時前だった。駅で、式に出席していた久元神戸市長と出会った。

## 14. 文教常任委員会 日台議連の講演会 自民議員団総会

2022年05月17日

16日(月)、今日は、10時前に登庁。すぐに県SDGs推進本部についての報告を受けた。県としてSDGsに本格的に取り組む。

10時30分から文教常任委員会。はじめに豊岡聴覚特別支援学校と出石特別支援学校の統合についての検討経緯と今後の予定について報告があった。次に継続中の調査事件として「人権教育の推進」について調査を行った。説明に続いて質疑が行われ、私からは、日本語指導が必要な外国人の指導体制について、と「戦争」、「人種差別」等の指導のあり方について質した。

午後1時から県議会日本遺産の会、2時から自民党議員団総会が行われた。



2時30分、台北駐大阪経済文化弁事処の向明德処長を議長室に迎えた。3時から日台議員連盟主催の講演会が開かれ、向処長が約1時間にわたり、最新の台湾事情について講演した。講演の最後の場面で、台湾では、「仰げば尊し」が台湾語で今も歌われていると知った。

4時から自民党議員団総務会。執行部と意見交換が行われた。その後、議長室で調査課、議事課と打ち合わせなどを行い退庁した。午後6時を回っていた。

## 15. 自民党議員団政調会で 県立農林水産技術総合センターの調査

2022年05月18日



17日（火）、午後1時、県立農林水産技術総合センター（加西市）に。広大な敷地の中に、圃場やハウス、牛舎、研究施設などがあり、農大と農業改良普及センターも隣接している。

まず、本館で多田センター長からセンターの取り組みの概要を聞き、その後、徒歩とバスで移動しながら、環境制御装置のハウスでのトマト栽培、稲の新品種育成、牛舎での雄牛から精液採取の現場などを見学し、それぞれの担当者から説明を受けた。

兵庫県の誇りとする農産物、畜産の高いレベルを維持し、さらに改良、発展させるために地道な研究、取り組みが続けられている。このセンターで開発された新品種や新技術が兵庫県の農家で活用され、日本の農業をリードしていく、そんな気概が感じられた。そのためにも施設の整備や器具等の更新、職員が仕事に打ち込めるような環境づくりが必要である

## 16. 兵庫県功労者表彰式

2022年05月19日



18日（水）、午後2時から県公館で令和4年度兵庫県功労者表彰式が行われた。県政発展に尽くされた各分野の方々が受賞され、県議会を代表してお祝いを申し上げた。受賞者の中には同僚議員や地元市議、文

化団体関係の知り合いの方もあり、公館正面での記念撮影の際にあらためてお祝いを申し上げたり、終了後に議長室を訪ねてこられ、歓談することができた。

その後は、議長室で観光振興課、ワクチン対策課、議事課からのレクが続き、退庁したのは6時頃だった。

ウクライナ情勢でのウクライナ軍の優勢が報じられるようになってきた。長年中立政策をとってきたフィンランド、スウェーデンがNATO加盟申請という変化も起きた。北朝鮮ではコロナ感染が拡大し非常事態になっているようだが、その一方でミサイル発射や核開発の準備が進められているという情報も伝えられている。まさに依然として世界と日本は危機の真っ只中にある。

今日の県下の新規感染者数は1,767人。減っているという感じはしない数字だ。

## 17. 藤本百男県政報告会・特別講演会 —河田恵昭氏が災害文化のまちづくりを提唱

2022年05月23日

22日(日)、朝からよく晴れて、むしろ暑いぐらいの天気だった。今日は、準備を進めてきた「議長就任祝賀会に代わる 県政報告会・特別講演会」の当日。朝から事務所で、スタッフと最終点検、資料などを積み込み、会場の「やしろ国際学習塾」へ向かった。



11時30分から実行委員の打ち合わせと準備に入る予定だったが、その1時間前から始まってしまった。受付開始の12時30分にはすでに参加者の姿があった。また、10時30分からオープニングで歌を披露し

てくださる、まどかコーラスさんのリハーサルも行われていた。

午後1時15分、オープニングがスタート。会場には、県議会、県幹部職員、加東市議会、市内各種団体などの来賓はじめ、後援会や自民党員、一般の出席者で、ソーシャルスタンスをとり、1席開けて、約300席がほぼ満席になった。市内のコーラスグループのまどかコーラスの皆さんによる、「東条川疏水」「スタンド・アローン」の2曲が披露された。

1時30分、第1部「県政報告会」が開会。実行委員会を代表して安田正義前加東市長が挨拶。続いて、来賓の齋藤元彦兵庫県知事、末松信介文部科学大臣、谷口俊介県議会副議長、藤井比早之衆議院議員、岩根加東市長が挨拶に立たれ、お祝いのことばをいただいた。壇上には以上の方と小川忠市加東市議会議長が座られた。

続いて、私から県政報告を行った。はじめに、会場席の新副知事の服部洋平氏が加東市屋敷にルーツをもっておられる、緑の深い方であることを紹介した。そのあとは、124代議長として、コロナとの闘い、新知事誕生、会派構成の変化、行財政運営方針をめぐる知事と議会のやりとり、ロシア非難決議などを挙げながら1年の取り組みを紹介した。第1部の最後に後援会副会長の中村かよ子さんが挨拶を行った。

2時35分から第2部の特別講演会が始まった。講師は人と防災未来センター長の河田恵昭先生。演題は「災害文化を育て、大災害に打ち克て」。この度出版された自叙伝の題でもあり、先生の防災研究に打ち込まれた研究活動の集大成ともいえるテーマだ。先生は、災害文明すなわち、堤防を築いて河川の氾濫を防ぐといった





文明的な防災には限界があり、これからは、災害文化すなわち、氾濫を想定した生活、生き方を日常とすることで、少しでも自然災害から被害を少なくしていくことが大事だ、と災害文化を育てるまちづくりに取り組む必要があることを呼びかけられた。講演を聴いた皆さんからは、いい話が聴けた。自助、共助、公助の大切さ、防災について考えるいきっかけになった、との感想を聞くことができた。今日、福島県で震度5弱の地震が起きたことをあとで知ったが、地震はいつ来るか分からないが、首都直下も南海トラフの巨大地震は必ず起きる。その時に被害を小さくするために、個々の人ができること、自治体や国ができること、そして、そのために備えておかなければならないことを、今、真剣に取り組まなければならない。河田先生は、その一つが憲法に緊急事態条項をつくることだとも強調された。レジリエンス社会すなわち、感染症や大災害に強い社会をつくることの必要性が高まっている。

片付けを終えて事務所に戻り、整理を終えたのは5時頃だった。今日は、市内各地区では朝から溝普請の共同作業が行われた。そのために参加できないという声もあった。なかなか日程の取れない中での選択、判断だった。しかし、予想以上の大勢の出席者があり、激励のことばもいただき、ありがたい思いでいっぱいだった。今日の報告会、講演会でお世話になった方々に感謝するとともに今後も「まほろばWith」をモットーに全力で取り組んでいきたい。

## 18. ボーイスカウト日本連盟100周年記念全国大会

2022年05月29日

28日(土) 12時前に姫路市へ。3年ぶりの対面式での全国



大会が記念すべき日本連盟の創立100周年にあたり、アクリエ姫路の開催となったため、兵庫県議会を代表して出席した。式には、末松文部科学大臣はじめ、国会、県会のスカウト振興議連の役員らも出席。

清元姫路市長、齋藤兵庫県知事（兵庫県連盟長）もスカウトの制服姿で挨拶を行った。

私も小学校5年生から高2までボーイスカウトに所属して活動した。飯盒炊飯、野営、夜間歩行などの訓練、ロープ結索、手旗信号、モールス信号、読図（地図）などの技術、キャンプファイヤー（営火）の木の組み方やソング、スタンツなども習得した。そして、日本ジャンボリーに2回（岡山と静岡）、県ジャンボリーや地区ジャンボリーなどの合同行事にも参加した。

お蔭で、自分で計画を立てて実行すること、状況の応じて臨機に対応することなどの力が付いたと思う。中3の夏休みは半分ぐらい、山国にあった「スカウトの森」で野営したことも。また、高3の夏には、スカウト仲間3人で自転車で兵庫県一周、冬に多可町で野営し、雪の千ヶ峰登山も決行したりした。すべてテントでキャンプだった。今から50年以上前の昭和30年代後半から40年代半ばにかけてのことだった。「そなえよつねに」「5分前の精神」や社会奉仕の精神はボーイスカウトで身についたと思う。

## 19. 青野原駐屯地創設46周年

### 訓練展示ではドローン偵察からミサイル、戦車砲撃も

2022年05月30日

29日（日）、朝からまぶしい日が差して、日中はぐんぐん気



温も上がった。各地で30度、場所によっては35度を超える真夏日になった。

9時30分過ぎには、自衛隊青野原駐屯地（小野市桜台）へ。駐屯地創設46周年の記念行事が開催された。開会の10時前には音楽隊、隊員が広場に整列した。今年はコロナ感染防止のため、観閲行進はなく、また、関係者以外には一般公募の100組が観覧するという形式で行われた。

式典に続いて、音楽隊の演奏、格闘訓練の展示、敵掃討訓練の展示が披露された。格闘技訓練では、一人で何人もの敵を素早く倒す技が披露された。自衛隊員を襲ったりするものではない、と思った。広場を桜台と想定し、ここに侵入した敵を掃討する訓練では、最初にドローンが登場し状況を偵察した。ウクライナでもドローンが重要な役割を担っていたが、訓練展示では初めて見た。続いてバイク、装甲車、近SAM、短SAM、中SAM、パトリオットのミサイル発射、長距離砲が発射され、最後に陸上戦の主役の戦車（74式）が敵陣地に砲撃し、隊員が確認、掃討任務は完了した。これまではヘリも加わり、隊員が降下する場面もあったが、今年はなかった。

ロシアのウクライナ侵略で、戦場の実際の映像が報じられている中で、訓練展示だけだっただけに、耳をつんざくような砲撃の轟音がウクライナでは日常であり、実際に都市が破壊され、市民が犠牲になっていることが頭から離れなかった。ウクライナの現実を日本の現実としないために、日本を脅かす外国勢力に対する防衛

力の増強、国民の防衛意識の高揚は喫緊の課題だ。特にハイブリッド戦争の現実を目の当たりにしている今、これに対応する能力を持たねばならないし、極超音速ミサイルへの対応についても反撃する能力を保有しなければならない。

夜、佐保神社の秋祭りの実行委員会が行われ出席した。秋祭りの実施について、太鼓屋台の各地区、神輿、獅子舞、芸能大会の委員会から意見が出されたが、概ね実施の方向性で検討し、コロナの状況を見て詳細を決めていくこと、但し部門によっては、準備が整わないとの意見もあり、最終決定は次回8月はじめに出すことになった。

## 20. 兵庫県私学振興大会 加東市シルバー人材センター総会

2022年05月31日



30日(月)、今日は神戸市と加東市、三田市で、それぞれ大会や総会、通夜式があり、出席、参列した。

9時20分には登庁。障害福祉課、調査課、議事課からレクを受け、その後、神戸国際会館・

こくさいホールへ。

10時30分から令和4年度兵庫県私学振興大会が行われた。少子化の影響で厳しい経営状況にある私学、さらにコロナ感染の影響もあり対応や環境整備が急がれる状況の中、兵庫県の公教育を担う兵庫私学の振興と発展をめざして行われた。齋藤知事、県議会から議長、私学振興議員連盟の議員らが来賓として出席した。また、参院予算委員会出席中の末松文部科学大臣はビデオメッセ

一ジを届けた。「私学は兵庫の宝」と呼ばれ、先進的な取組、先導的な教育内容で兵庫の教育を高めてきたことを称えた言葉だ。今後も公立学校教育と私立学校教育が互いに切磋琢磨し、それぞれ特色を活かして兵庫の公教育の未来を拓いていってほしいとの思いを込めてご挨拶を申し上げた。

午後1時30分、加東市のやしろ国際学習塾会議室で行われた加東市シルバー人材センターの定時総会に出席し、ご挨拶を申し上げた。契約、売り上げともにコロナ前の水準を回復していただるとのこと。また、本年が創立30周年の節目の年となるということで、今後さらなる発展をお祈りした。

夜、第90代県議会議長の井元文治氏の通夜式（三田市市内）に参列した。井元氏は昭和から平成への御代替りの時に議長をされている。99歳のご長寿だった。式場では、議友会の梶谷先生、野間先生が参列されていた。

## 21. 第358回定例県議会が開会 総額約142億円の補正予算

2022年06月02日



6月1日（水）、8時30分には登庁。議長室に片山副知事が来室。9時15分から自民党議員団の令和4年度各部会の写真撮影を行った。今年  
は農政環境部会と文教部会

の政策委員になっている。

10時から議会運営委員会



が開かれ、本日の議事日程等を協議した。続いて、10時30分から自民党議員団総会が開かれた。議運の報告、請願等の報告などが行われた。

振鈴が鳴り、議員が本会場へ入場。11時から本会議が開かれた。はじめに議長として開会の挨拶を行った。今日は、12名の新任の部長の紹介があり、一度にこのような大勢の部長紹介は初のことだろう。今議会の会期は本日から9日までの9日間。令和4年度一般会計補正予算案、水難事故等の防止に関する条例改正案など11件の議案が上程された。補正予算案は、原油高騰の影響を受けた事業者への支援金の支給や生活に困っている県民への支援金、コロナ対策のワクチン接種体制整備など、総額約142億円。知事の提案趣旨説明が行われた。

本会議終了後、自民党議員団の写真撮影を行った。居合わせた知事も一緒に入った。昼食後、自民党議員団の総務会、続いて2度目の議員団総会が行われた。議事課のレクを受けたのち、秘書課と当面の日程調整などを行い、退庁。

夜、市内の方から電話があり、その中で、毎朝、ウクライナ関連のニュースで気が重くなる。県や県議会では何かしているのか、とのお尋ねがあったので、県議会での非難決議、ロシア総領事への抗議、県として避難民の受け入れ、駐日ウクライナ大使の表敬訪問などのこととお話すると、気分が明るくなった、これからもしっかりやってほしいとの励ましの言葉をいただいた。しっかり広報していかねば、と思う。

## 22. 健康ひょうご 2 1 県民運動

### 兵庫県技能士会連合会40周年 3台目の議長公用車

2022年06月03日

2日（木）、今日は神戸市内で開催された2つの行事に出席し、



県議会を代表してご挨拶を申し上げた。

午後1時30分、神戸市産業振興センターで開催された、健康ひょうご21県民運動推進フォーラムへ。3年ぶりの開催だった。家森会長は、パンデミックを経験することで、一人ひとりが自身の健康を維持し高めていくことが、結果として感染拡大防止に繋がるという認識を再確認した、と話されたが、まさにその通りだと思った。



午後3時からは、ポートピアホテルで開催された兵庫県技能士会連合会の設立40周年記念式典へ。県内の40余りの各種技能士会が加盟し、ものづくり兵庫の伝統を継承、発展させ、支えてこられたことに敬意を表した。コロナ禍で披露できなかった分を含めて、各賞に輝いた方々の顕彰、表彰が行われた。

ところで、今日午前中に新しい議長公用車が納車された。点検を済ませ、さっそく午後から使用が始まった。これで、議長として3台目の公用車だ。はじめはセンチュリー。昨年8月に新知事が誕生し、センチュリーの契約を解除。議長車も同じく解除した。次の公用車の入札がスムーズに進まず、ようやく契約できたものの納車は半年以上待つことになった。その間、職員用として使用されていたヴェルファイアを使用した。諸事情で今年2月頃と聞いていた納車予定がさらに遅れ、ようやく6月2日の今日になったものだ。新しい議長

と、今日午前中に新しい議長公用車が納車された。点検を済ませ、さっそく午後から使用が始まった。これで、議長として3台目の公用車だ。はじめはセンチュリー。昨年8月に新知事が誕生し、センチュリーの契約を解除。議長車も同じく解除した。次の公用車の入札がスムーズに進まず、ようやく契約できたものの納車は半年以上待つことになった。その間、職員用として使用されていたヴェルファイアを使用した。諸事情で今年2月頃と聞いていた納車予定がさらに遅れ、ようやく6月2日の今日になったものだ。新しい議長



公用車はアルファード。議長として3台目だ。一人の議長が3台の公用車に乗るとするのは初めてだろう。朝、お世話になったヴェルファイア最後の乗車前に写真を撮った。

## 23. 県議会政調懇話会ナザレンコ・アンドリー氏を迎えて

2022年06月09日

8日(水)、10時頃登庁。知事秘書課長からワーケーション知事室の予定を聞いた。

10時30分から文教常任委員会が開かれ、付託議案審査、請願審査が行われ、県立学校の給食費補助や大学・専修学校の困窮学生への食料支援などの補正予算案、特別支援学校の統合に関する見直しを求める請願が、全員賛成で可決すべきものとされた。

午後1時から明日9日の議事等について議事課から説明を受けた。



午後2時から県議会政調懇話会が開かれた。懇話会は、議会活動の充実をめざして調査・研究の場として毎年開催されてきたもので、今回で53回目となる。

今回は、ロシアのウクライナ侵略から3ヶ月余りが経ち、未だ激しい攻防が続く中、ウクライナの現状や、今後の考えられる展開、世界と日本への影響などについて、ウクライナ人のナザレンコ・アンドリー氏をお招きし、「ウクライナと日本の架け橋として—国際政治学者からみた政治、支援をめぐる問題」をテーマに講演いただいた。

わが県議会では、3月1日に「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致で採択し、4日には在大阪ロシア総領事に

直接抗議を行ってきた。また、県としてウクライナからの避難民の受け入れを行い、現在27組約の人々を受け入れ支援している。4月には駐日ウクライナ大使の表敬訪問を受け、知事とともに意見交換を行ってきたという経緯がある。

毎日のように見るウクライナでのロシアの攻撃の光景、ロシア軍による非人道的な行為に心を痛めているが、ナザレンコ氏は、ロシアの攻撃により破壊された出身地のハルキウの街や母校である中学校や寺院などの文化遺産の無残な光景を映しながら、軍事施設しか攻撃していないというロシアの発表がまったくの嘘であることを示し、軍事侵攻前も後もそうしたプロパガンダを平然と行っていることを指摘。



また、ウクライナの歴史を辿りながら、ソ連解体後のウクライナが戦争に対しての備えをせず、スキを見せたことがロシアの軍事侵攻を招く原因にもなったとし、「戦争はやってくる」のが現実であり、国を守るという国民の覚悟と備えが侵略を抑止する力になると強調した。

ナザレンコ氏はウクライナからの避難民の支援活動を行いながら、講演活動を続けている。侵攻直後には義勇兵として祖国に戻り戦いたいと手続きをしたが、出国を認められず、現在も日本での活動に専念しておられる。

60分の間、よどみなく、的確な表現の日本語で続けられ、議員からの質問にも的確に応答された。古事記のウクライナ語訳に取り組んでおられるとのことだけあって、氏の日本語は素晴らしく、また、ウクライナの轍を踏むなどの日本への警鐘も、日本を

愛する気持ちから迸る思いだと受け止めることができた。議員それぞれに受け止め方は違いがあると思うが、今後の県政推進の参考になればと思う。

## 24. 6月県議会閉会 議長を辞任 今期4年目は議会運営委員長に就任

2022年06月



9日（水）、9時20分頃登庁。10時から開かれた議会運営委員会で、議長、副議長が辞任を伝え、新議長と副議長の選挙が日程に加えられることになった。

10時30分から自民党議員総会。議運の結果などが報告された。

11時、本会議が開かれ、補正予算案、条例案、同意人事案件などが可決された。また、請願1件、意見書8件が採択された（写真）。ここで暫時休憩。

12時から自民党議員団総務会、12時30分から議員団総会が行われた。この総会の終わり頃に、原吉三議員（神戸市中央区）が車いすで姿を見せ、長い闘病生活を乗り越え、議会に戻ってこられた。午後の本会議には車いすのまま出席された。

午後1時本会議が再開され、まず、議長職辞任が認められ、退任の挨拶を行った（写真）。続いて、議長選挙が行われ、小西隆紀議員（自民党・4期・丹波篠山市）が76票を獲得し当選した（投票総数82票、有効投票数81票、ねりき恵子：日本共産党5票、

無効1)。次に谷口副議長が辞任、副議長選挙が行われた。結果は、水田裕一郎議員（自民党・3期・姫路市）が42票を獲得し当選した（投票総数82票、有効投票数80票、北野実：自民兵庫33票、磯見恵子：日本共産党5票、無効2）。

正副議長選挙に続いて、常任委員会委員、議会運営委員会委員が指名された。今期4年目、私は建設常任委員会、議会運営委員会の委員となった。

本会議終了後、谷口副議長とともに各党派、知事、記者クラブへの挨拶回り。午後4時、新しい委員で構成された議会運営委員会が開かれ、委員長に就任した。今日の委員会では小委員会を設置し、引き続き議会改革に取り組むことが決まった。

議長室から議運委員長室に移動し、資料等を整理した。議運委員長室は、議会棟の同じ5階にあり、議長室から絵画3点を移した。この作品は、地元加東市吉井の岸本詩音さん、尚美さんからお借りしているものだ。

一年間の議長職を終え、新たな気持ちで議運委員長としての職責を果たしていきたい。退庁したのは午後5時30分頃だった。今日の県下の新規感染者数は700人だった。

## 25. 議会事務局職員に退任挨拶 都道府県議会議長会感謝状を受ける

2022年06月11日

10日（木）、9時20分過ぎに登庁。9時40分から7階大会議室で谷口前副議長とともに議会事務局職員の皆さんへの退任の挨拶を行った。

波乱に満ちた一年だったが、議長としての職責を大過なく果たすことができたのも事務局の皆さんの陰の支えがあったからこそであった。20年ぶりの知事の交代、過半数党派なき中での議



会運営は、長い県議会の歴史にない、航海地図なき船出のようなものだった。加えて、コロナ禍、ウクライナ、と危機の荒波が押し寄せるの中での航海になった。さまざまな課題が出てくるなか、議会事務局の皆さんと知恵を絞り、熟考し、最適の判断をして実行していく。そんな日々の連続だった。兵庫県議会を支える縁の下の力持ちである事務局の皆さんに深く感謝するばかりだ。

退任挨拶の式では、秘書班の女性職員から花束をいただいた。また、議長応接室で、全国都道府県議長会の感謝状伝達式が行われ、小西新議長から感謝状と顕彰バッジを受けた。引き続き、新旧正副議長の引き継ぎを行った。まだまだコロナ感染が収

束しないなか、新正副議長のご健勝でのご活躍を期待し、一連の退任行事は終わった。

その後は、議運委員長室で執務。この部屋は、今日のような好天の日には海側に面した窓からの風が通り、静かで快適だ。今日の県下の新規感染者数は664人だった。

## 26. ビーツでウクライナ避難の人々を支援 —加東市の「うれしのビーツ広め隊」の福島さん

2022年07月01日

過日、事務所に手作りビーツジャムを持ってこられた加東市在



住の「うれ  
しのビーツ  
広め隊」の  
福島俊夫さ  
さん。いろん  
な話の中で、



ウクライナから兵庫県に避難してきて  
いる人々を支援したいという気持ちをも  
っておられ、県や県議会の取り組みを  
話している中で、ビーツをプレゼントし  
てはどうだろうという申し出があり、  
県の担当課を紹介し、連絡を取って  
もらった。

その後、福島さんから次のような報告があつた。

ビーツジャムと葉つきビーツ30本をウクライナ避難民の人々を支援しているNPOを通してウクライナ避難民に届けたところ、大いに喜ばれ、ボルシチ、ビーツ、と大はしゃぎだったとのことだった。よかった。祖国の状況に気をもみながら避難生活を続けるウクライナの人々を元気づけるビーツの贈り物はふるさとの味を思い出させる素晴らしいプレゼントになったようだ。NPOの人の話によれば、ここ一ヶ月でこんなに大喜びのウクライナの人々を見たことがないということだった。（※葉つきビーツの写真は2017年のもの）

ビーツジャムはこのブログや歴史ブログでも紹介してきたように、私も大好物で、今春のうれしのフェスティバルで食べたビーツご飯も美味しかった。しかし、ビーツといえば、ウクライナの郷土料理であるボルシチに欠かせない。そのままプレゼントしようということになり、それが実現し、喜ばれたという報告を受け、私も本当に嬉しくなった。ただ、ウクライナではロシアの激しい攻撃が続き、多くの人々が犠牲になっている。そのことを思うと

心が痛む。

## 27. 岸田、安倍両氏が末松信介候補の応援に

2022年07月08日



7日（木）、今日は、阪急三宮神戸駅の北側サンキタ広場で、岸田文雄総理、安倍晋三元総理が末松信介候補の応援のために街宣カーの上に立ち、マイクを握った。

昼の厳しい日差しの下、多くの聴衆を前に真っ黒に日焼けした末松信介候補が決意を述べ、続いて岸田文雄総理が末松候補、自民党への投票を呼びかけた。

また、同じ場所で、日が傾いた夕方5時頃、安倍晋三元総理が演説に立った。広場には高校生や若い人の姿も目立ち、安倍氏の力強い演説に手を振ったり、声援が飛んだ。

選挙終盤に現、元の2人の総理が来援し、末松候補と自民党への支持を訴えた。激戦区となっている兵庫選挙区で、何としても勝ち抜く強い決意が伝わった街頭演説だった。

## 28. 安倍さんが凶弾に倒れる 茫然、無念

2022年07月09日

8日（金）、安倍晋三元総理大臣が、奈良県内で街頭演説中に発砲され、銃弾を受けて病院に搬送されたが、夕方に死亡が確認



された。午前にはニュースで事件の発生を知り、愕然としながら、事態を把握しようとするしかなかった。

2時から加東消防署で行われた加東市まとい会の総会に出席し、ご挨拶を申し上げたが、そこでも出席の役員さんと安倍さんの容体などの話が出た。

昨日の夕方、神戸で安倍さんの演説を聴き（写真）、聴衆の中に入り込んでグータッチする安倍さんと私もグータッチをした。「安倍さん、がんばって」と声をかけたその一瞬、日焼けして精悍な顔の安倍さんが笑顔で頷き、目があつた。それから24時間も経っていない今日、遊説中に凶弾に倒れ、亡くなるとは。

体から力が抜けていくようだった。初めての県議選に挑戦した時の2連ポスターの相手は安倍晋三自民党総裁だった。県議になってからも安倍さんの目指す国づくりに賛同し、政治活動を続けてきた。安倍さんの戦いは一歩、一歩固い扉を開きながら前進し、憲法改正の実現という総決戦を前にしたこの参院選だった。

演説に、そして、グータッチに込めた安倍さんの思いを考えると、なぜ、今、こんなことになるんだろうと言ひ様のない悔しさがこみあげてくる。常に戦いの最前線で先頭に立ち、国づくりのめざすところを示して我々を鼓舞し続けた安倍さんだった。その安倍さんが戦場で凶弾に倒れた。まだ、心の整理はつかないが、戦いは続いている。右手のグータッチにこめられた安倍さんの思いを受けて最後まで戦うことが今できることだ。

## 29. 宮崎県議会の議会運営委員会が来県

2022年07月15日

14日（木）、9時30分には登庁。ワクチン対策課から大規模



接種計画についての説明を受けた。感染急拡大への対応が迫られている。

10時から議会運営委員会の会議室で、宮崎県議会議会運営委員会の皆さんを迎え、議会のICT化等について、兵庫県議会の取り組みについての調査が行われた。

私は冒頭で兵庫県議会を代表してご挨拶を申し上げた。今任期は、公用タブレット端末の配布、ペーパーレス化、常任委員会のオンライン参加を認める委員会条例の改正などに取り組んできた。最終年の今年度はこうした改革の検証を行うための議会改革検証委員会を設置したところだ。

宮崎県には、7年前に文教常任委員会の管外調査で訪れ、県議会中等教育学校、小中義務教育学校などの調査を行った。ここ2年間はコロナ感染の影響でこうした管外、管内調査が中止となったり縮小、あるいはオンラインでの調査になっていた。やはり、直接出会って、現場を見ての調査が効果的だ。

今日は、妻が属するJAみのりの女性会のサークル10人が兵庫津の初代県庁館を見学し、兵庫津に残る史跡めぐりを行った。県庁館の隣には、兵庫県の歴史ミュージアム館が建設中で、今秋完成の予定だ。また、清盛塚や兵庫大仏など古い歴史が残る兵庫津は、これから新たな観光コースとして脚光を浴びるのではないかと思っている。地元の地域づくり協議会の方が案内をして下さったり、同僚議員も顔を出してくれたとのことだった。

今日の県下の新規感染者数は、4,638人。第7波のようだが、国は、感染防止をしながら経済社会生活を回していくとの方針だ。感染力が強いBA.5に置き換わりつつある。クラスターの発生、

検査数も増加している。夕方、知人からワクチン接種の相談もあった。すでに打ったが副反応はなかった、と答えると自分も打つ、とのことだった。

### 30. 加古川改修促進期成同盟会総会 県議会サテライトゼミに出席

2022年07月16日

15日（金）、朝の登校見守りに立った。早いもので、来週には1学期が終わり、夏休みが始まる。

午後1時30分、小野市うるおい交流館エクラで開催された加古川改修促進期成同盟会の総会に出席し、ご挨拶を申し上げた。同盟会には中、下流域の6市の市長、市議会議長、国会議員、県会議員、県民局長はじめ、工事を所管する国交省姫路河川国道事務所長、県土木事務所長が出席し、改修事業の促進に向けた取り組みについて協議した。現在、加東市域では、河道掘削、築堤、新橋の架橋、道路付け替えなどの大規模な改修工事が進められており、計画より1年前倒しの平成7年完成をめざしている。



3時には、県議会で行われた県議会サテライトゼミに出席した。この取り組みは、開かれた議会づくりの一環として行われてきており、今日は神戸学院大学の関谷ゼミの学生が議場見学やレポート発表をして議員と意見交換を行った。私は途中からの出席だったが、地域活性化についての調査、提案についての2つの班の発表を聞き、コメントをした。

## 31. 日本会議兵庫の総会 織田元空将が講演

2022年07月19日



18日(月)、今日は「海の日」。朝、玄関に日の丸の旗を掲げた。

午過ぎには、三田市の総合福祉保健センターへ。今日は2年越しで同市で日本会議兵庫の第23回通常総会が行われた(去年はコロナ感染拡大の為神戸市内に会場変更)。会場のホールには、国会議員、県議員、市議会議員、森三田市長、地元の摂丹支部はじめ県下各支部の会員らが出席した。

三木栄一日本会議兵庫県本部会長は冒頭の挨拶で、安倍元首相の冥福を祈るとともに遺志を継ぎ憲法の改正を実現させ、誇りある日本を取り戻すことが使命と訴えた。私も兵庫県議会日本会議議員連盟の会長としてご挨拶を申し上げた。また、挨拶に立った小西隆紀兵庫県議会議長は、安倍元首相銃撃事件に対して、すぐに議長コメントを出し、その死を悼むとともにこのような卑劣な蛮行を強く非難したことを紹介した。

三木栄一日本会議兵庫県本部会長は冒頭の挨拶で、安倍元首相の冥福を祈るとともに遺志を継ぎ憲法の改正を実現させ、誇りある日本を取り戻すことが使命と訴えた。私も兵庫県議会日本会議議員連盟の会長としてご挨拶を申し上げた。また、挨拶に立った小西隆紀兵庫県議会議長は、安倍元首相銃撃事件に対して、すぐに議長コメントを出し、その死を悼むとともにこのような卑劣な蛮行を強く非難したことを紹介した。

総会に引き続き、記念講演が行われた。講師は、元空将の織田邦男氏。「ウクライナ戦争の教訓と日本の課題」の演題で、プーチンの戦争、国連の無力、日本とウクライナの共通点、日本の防衛体制の確立などの観点について、元自衛隊指揮官としての経験を踏まえた現実的な考えを述べられた。昨年の総会の講演会では、ナザレ



ンコ・アンドリー氏が「日本よ、ウクライナの轍を踏むな」の演題で、祖国ウクライナに迫る危機と日本の課題について警鐘を乱打された。今年はウクライナ侵略が引き起こす台湾有事の危険と日本の課題について織田氏によって警鐘が打ち鳴らされた。覚悟を決めてかからなければ日本の独立、主権を守ることはできないことをあらためて認識させられた思いだ。

## 32. ひょうご愛育の集い 県下のコロナ感染急拡大続く

2022年07月21日



20日(水)、今朝は、梅雨明けのような空と強い日差しだった。社小学校は1学期の終業式が行われる。いつものように登校見守りに立った。今朝は校長先生も指導に来られた。明日から42日間の夏休みが始まる。

昼前には登庁。午後1時から、県民会館の県民ホールで開催された第40回ひょうご愛育の集い・兵庫県愛育大会に出席し、ご挨拶を申し上げた。本来なら小西議長が出席するところだが、全国都道府県議会議長会出席のため、止むを得ず私が代わって出席した。

会場には、県下各地で、各家庭への声かけ活動を通じて乳幼児から高齢者まで育児や健康などの相談などを行う愛育班活動で地域の健康づくりに尽力されている兵庫県愛育連合会の皆さんが参加された。この集いもコロナのために3年ぶりの開催ということだった。

一緒に出席した片山副知事が今日の感染者数をしきりに気にしていた。予想通り6,000人を超え、6,667人で、6波の最

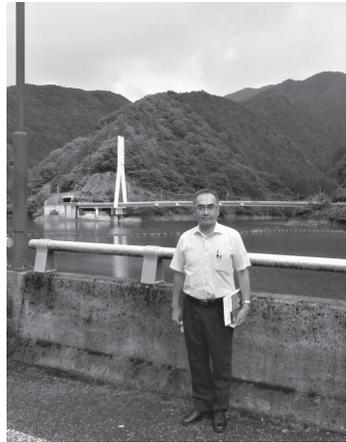
高数を超えた。

### 33. 21, 22日は建設常任委員会の管内調査で西播磨へ

2022年07月23日

21日（木）、22日（金）の2日にわたり、建設常任委員会の管内調査で西播磨地区を訪れた。

1日目は、中播磨県民センターでの事務調査をはじめ、姫路市内での事業現場を訪れ、土木事務所や港湾管理事務所の説明を受けた。まず、姫路競馬場に設けられた船場川の調節池では、船場川から地下導水路で競馬場中央部につくられた調節池にあふれた水を貯留する仕組みを見た。大雨の度に床下浸水などの被害が出ていた船場川流域では、この調節池整備事業で安心が確保されたとのことだった。この他、県道広畑青山線のバイパス整備事業、臨港道路整備事業、姫路港ポートターミナルリニューアル事業などの現場を訪れ、説明を受けた。



2日目は、西播磨県民局での事務調査をはじめ、姫路市と太子町の境、太子御津線のバイパス整備事業、光都バスセンター整備事業、引原ダム再生事業などを現場で説明を受けた。

1日目の広畑青山線バイパス、そして2日目の太子御津バイパスの整備事業では、鉄道の下を抜けるアンダーパスの工事、また、跨線橋建設工事の現場を見た。ともに交通渋滞を解消するための

バイパス整備だ。また、引原ダムでは、大雨に対応する事前放流システム、堤体の2メートル嵩上げにより、利水量を確保しながら、治水効果を高める工事についての説明を受けた。

現場では、加東土木事務所勤務されていた方々との出会いもあり、その後も活躍しておられる姿に頼もしさを感じた。

この2日間にも新型コロナの感染者数は急拡大し、9,000人を超えて、1万人に迫っている。健康福祉常任委員会が8月はじめに予定していた管内調査は、健康福祉事務所の対応が困難な状況になり、中止との連絡があった。

### 34. 兵庫県商工会青年部の主張発表大会が加東市で開催

2022年07月27日

26日(火)、午後1時から、加東市上三草のやしろ国際学習塾へ。兵庫県商工会青年部の幹部講習会が開催された。県下各地の商工会の青年部リーダーが参加し、主張発表会、講話研修、商人ネットワークが行われた。

地元県議会議員としてご挨拶を申し上げた。地域振興の牽引者である青年部のリーダーに当地の歴史を紹介した。主張発表では、7ブロックの代表が次々と登壇し、青年部と自分の生き方や事業の新展開の契機など体験にもとづいた



話を表現豊かに発表した。どの話も引き込まれるものばかりで、その熱意、意欲に圧倒された。加東市の臼井良介氏は父親から継いだ料理店の再生を青年部との出会いやサポートが力づけてくれたことを語った。「皆さん、地域を愛してますか？」の呼びかけは印象的だった。主張を聞いて、青年部のパワーの源を知った思

이었다。

会場を出ると、外の気温は37度だった。今日の県下の新規感染者数は8,764人。1万を超えるのでは心配していたが、隣の大阪府では2万5千人を超えていることから、まだ気がかりだ。

### 35. 「おいしいごはんを食べよう県民運動」総会 社高校決勝へ神戸国際大付と

2022年07月28日

27日(水)、午後1時から県公館で開催された「おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会の総会と事例発表会」に出席し、ご挨拶を申し上げます。コロナ感染拡大中の開催となり、一部オンライン参加などの対応がとられた。



保田会長は、冒頭のご挨拶の中で、この運動のきっかけとなった阪神淡路大震災時、被災者の命をつないだのが届けられたお握りだったことを紹介し、健康や環境面の他、危機対応においても、優れた特性をもつ米、ご飯の有用性をもっと普及、啓発していかなければならないと話された。

総会に続いて、兵庫大地の会の小池農園さんの取り組み、加古川の日岡保育園のかまどご飯の取り組みの2例が発表された。保育園児が初めてかまどでご飯を炊き、食べることで、家庭でもご飯を炊くという実践に結びついた、というものだった。小池農園さんの米は県庁3号館地下の食堂にも入っており、おいしいご飯になっている。

この行事と同じ時間帯に、神戸ほっともっとスタジアムでは、夏の高校野球兵庫地区大会の準決勝戦が行われていた。社高校が長田高校と対戦し、見事5対1で勝ち、決勝へとコマを進めた。応援に行っていた同窓会役員から勝利の連絡、県庁にいた同僚議員や県職員からも「決勝ですね」との言葉をかけられた。今日は公務で行けなかったが、明日は決勝戦でしっかり応援しよう。

今日の県下の新規感染者数は1万人を超えた。

### 36. 激闘を制し、社高校が優勝、甲子園出場決定!

2022年07月29日

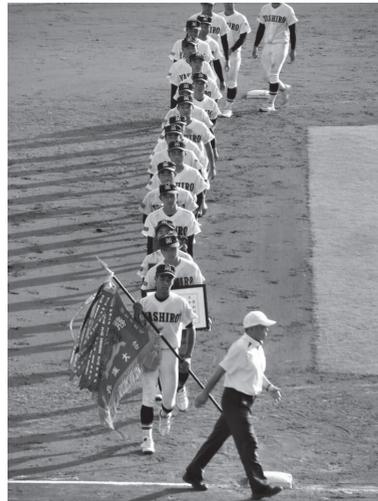


28日(木)、今日は特別な一日になった。母校である県立社高校野球部が夏の高校野球兵庫大会で優勝し、甲子園出場を決めた。そして、その瞬間を球場で応援し喜びをみんなと共有することができた。とにかく感

激、感動した。

神戸ほっともっとフィールドの芝生の緑と高く青い空と筋雲。その下で兵庫大会の決勝戦が行われた。スコアボードの社、神国附の校名に不思議な縁を感じていた。神様の住まわれる建物がお社だ。もちろん、神戸という地名の略の神と知っていても、そう思ってしまふ。まあ、それはどうでもよいことだった。

試合はなんと延長14回タイプ



レークで決するまで、この炎天下で十分に2試合分ぐらい闘った。神業のようなファインプレーが何度も繰り返され、まさに奇跡の連続だった。しかし、ほんの少しでも、勝つという気持ちが揺らいだ方が負ける、ということが、選手だけではなく、応援する者にも伝わってきた。あの張り詰めたゲームの中で、選手が繰り返す投、打、そして守備の超美技の連続に勝利しかないという選手達の闘う心が見えた。強いとはこういうことだということを教えられた。すべては、積み重ねてきた練習の中で作りあげられてきたものだ。選手の思いが応援席に、そして、応援席の保護者やOBら応援する者の思いが、お互い波のように重なり合って、一つになって勝利が成った。球史に残る激闘を終え、晴れ晴れと校歌を歌い、優勝旗を先頭にダイヤモンドを行進する社高校野球部の姿に感激し、喜びにひたった。

さあ、甲子園だ。球場からの帰り、同窓会役員らと今後のことが話題になった。各方面からのお祝い電話やメールが相次いだ。感謝。

社高校野球部の皆さんへ。本当におめでとう。今日は特別の日になりました。皆さんから教えられたことがいっぱいありました。甲子園で母校社高校の名を轟かせて下さい。そして、校歌を歌いましょう。

### 37. 社高校夏の甲子園で初勝利 建設常任委員会管内調査(東播淡路地区)

2022年08月10日

9日(火)、県立社高校野球部が夏の甲子園で初戦初勝利を勝ち取った。兵庫大会を勝ち抜き、兵庫県の代表として立った甲子園の大舞台上、県岐阜商業を相手に堂々と社の野球をやり遂げた。コロナ感染という県岐阜商の不運はあったもののお互いに県代表

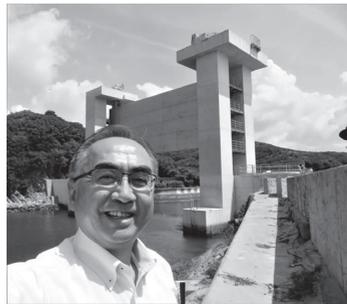


として甲子園で戦う限り、全力を尽くすが同じ野球をやっている

者としての本当の姿だ。

この日、建設常任委員会の管内調査の2日目にあたり、公務を終えて県庁に戻ったのが午後5時。すぐに電車で球場に向かい、8回の裏の社の攻撃にアルプス席にたどり着いた。生徒、野球部OB、保護者、同窓会の多くの皆さんと共に社高校の勝利の瞬間に立ち会い、校歌を歌うことができた。まさに感激の瞬間だった。

建設常任委員会の調査は、1日目の8日(月)、南あわじ市阿万の本庄川水門、福良港防波堤の津波対策工事、孫太川排水機場で三原川流域浸水対策、淡路島で最も渋滞する交差点だった南あわじ市湊の県道交差点改良工事の現場調査と淡路県民局での洲本土木事務所の事務調査を行った。



2日目の9日(火)は、加古郡稲美町の天満大池に建設中の天満大池バイパス工事、東播磨道の八幡三木ランプ工区、国道175号接続工事



(北工区)、播磨中央公園のサイクリングコース整備工事の現場調査と北播磨県民局で加東土木事務所等の事務長を行った。

真夏の強い日差しの下、防災、交通インフラの建設工事現場で

の調査は、その必要性、効果などを直接現場で説明を受け、確かめることが趣旨。最新のICTを活用した工事や巨大な防波堤の仕組みなどに目を見張った。

最終の播磨中央公園での視察を終え、県庁に戻る道すがら、甲子園球場での社対県岐阜商の試合展開を確かめながら、心は甲子園へと走っていた。

間に合ってよかった。18年前の選抜大会に続いて、甲子園でわが母校の校歌を歌うことができた。選手よありがとう。初戦突破おめでとう。次も頼むよの気持ちを込めた。

野球部の活躍とともに陸上では、社高校の山口翔輝夜君がハンマー投で2位に続いて、円盤投げで優勝したとの朗報も入っていた。素晴らしい成果だ。「僕も全国で頑張ってきます」との言葉を残して徳島に向かった山口君のことを社高校の先生から聞いていたので、嬉しい。おめでとう。

## 38. 社高校2回戦で散る

### — 終盤の猛追に甲子園を揺るがす大声援

2022年08月15日



14日(日)、今日は、夏の高校野球全国大会で社高校が第2試合で2回戦二松学舎大付属高と対戦する。同窓会・PTA応援バスで、朝6時に社高校からが出発。車中で、104回大会用に市内の刺繍屋さんが特製したシャツに着替えた。胸にYASHIRO、袖にはHYOGO、社高校の校章、背中に104の大会数字が入っている。浜甲子園の駐車場で下車し、甲子園球場まで歩いた。この頃には日が差し、汗がにじむ。

3塁側アルプス席の応援団入場口に並び、入場の時を待つ。その間にも列は次第に長く、膨らんでいった。10時過ぎに入場。現地合流の応援者も多く、また、外野席に向かう加東市の知人もいた。

アルプス席は応援団で埋め尽くされ、外野席も満員状態だった。10時30分試合が始まった。序盤、中盤はいつもの社の堅い守備に乱れが出、二松学舎の強打が目立ち、7点差がついてしまった。応援席もため息がながれた。終盤に入ってその流れが一気に変わった。勝俣選手の本塁打、交替した芝本投手の粘投、打線もつながり、9回表には2点差まで猛追撃。そして、2アウト、満塁、2ストライク3ボール。まさに一打同点、逆転もという大きな期待が主将後藤選手のバットに集中し、甲子園全体が地鳴りのような応援に包まれた。しかし、無情にもレフトに飛んだボールは左翼手のグラブ。試合終了だ。

社の夏の甲子園は終わった。しかし、最後まで諦めない社高校の野球の本領を存分に発揮してくれた。創部74年目の夏、球史に残る地区予選決勝、そして、1回戦勝利、そして今日の2回戦。ここまでつくりあげてきた社野球の歴に輝く一頁を加えてくれた。そして、応援する私たちに最後まで諦めず自分達の野球を信じて戦う姿勢を示してくれた。その姿勢と勇気は私たちにも伝わった。

校長はじめ学校関係者、尚友同窓会、PTA、野球部保護者会、

野球部OB会の特別後援会の皆さん、加東市挙げて応援体制を組んでくださった岩根市長はじめ加東市・観光協会の皆さん、いち早く応援をよびかけて下さった加東市商工会さん、知事、教育長はじめ、応援をして下さった県関係者の皆さん、そして何より応援の寄附をしていただいた多くの卒業生、事業者、個人の方々に同窓会長・特別後援会代表として心から感謝いたします。ありがとうございました。

2回戦で敗退したが、令和4年コロナ禍での104回夏の高校野球全国大会の兵庫代表社高校の戦いぶりは記憶に残る誇らしい戦いぶりだった。

### 39. 加東市高齢者大学で講演—ふるさと加東の歴史再発見

2022年08月21日

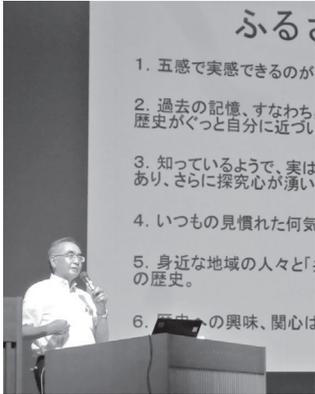
20日（土）、9時過ぎには加東市天神のコスミックホールへ。隣には東条学園小中学校があり、東条地域の教育・文化の中心になっている。

今日は、加東市高齢者大学の8月合同講座（全員が対象）が開かれ、その講師に招かれて講演を行った。この企画は昨年に予定されていたが、コロナ感染拡大のために中止され、今年度新たに計画されたものだった。



10時からホールで大型スクリーンを活用し講演を行った。先日の甲子園での社高校応援のパブリックビューイングもこの会場で行われたと聞いた。

今日の演題は「ふるさとを知れば知るほど好きになり幸せに



なる」で、自分の歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」への投稿を通して考えてきたことを話させてもらった。このブログは教員を退職した平成18年の2ヶ月後の6月からはじめ、現在まで約16年余り続けている。投稿回数は今日で4798回になる。市内の歴史、文化、自然などを対象に身近なふるさと加東の再発見を掲載してきた。

今日はその中から40ほど選び、解説するとともに、歴史再発見が自分にとって、また、人にとってどのような意味や影響をもつのかをまとめて発表した。

午後は9月議会での一般質問について資料調べ。夏休みの宿題が気になり始める小学生のような心持ちだ。今日の講演の感想の電話やメールもいただいた。忠魂碑や慰霊施設の維持についての話もあった。

今日の県下の新規感染者数は11,583人。盆明けは1万人以上が続いている。

## 40. 建設常任委員会で但馬丹波地区の調査① 竹野道路や城崎大橋など

2022年08月25日

22日(月)、今日から建設常任委員会の管内調査で但馬丹波地区の調査が始まった。8時30分頃に登庁。9時、バスで出発し、但馬に向かった。

一日目の調査は、午前2ヶ所、



午後4ヶ所の現場調査だった。

まず最初は、朝来市内の円山川に架かる出合橋の架け替え工事。但馬最長の1級河川である円山川の河川改修の一環で、川の流れを阻害している出合橋の架け替え工事だった。すでに旧橋は撤去され、新しい橋が架設されており、市道との接続や仮設の歩行者橋の撤去が残っている段階だった。

次は天空の城竹田城の麓の竹田地区を走る県道の無電柱化を調査した。城下町の古い街並みを残す竹田駅前の約600メートル区間の無電柱化が進められている。

午後1番は、国道178号の豊岡市新堂のパーキングエリアで、山陰近畿自動車道の豊岡北JCTから竹野ICを結ぶ4.9キロの竹野道路（178号バイパス）の計画の説明を受けた。今はまだ工事が始まっていないが、やがて風景が一変することになるだろう。

2番目に豊岡市梶原地区の急傾斜地崩壊対策事業の現場を調査した。すでに工事は完了しており、地区主催の完成式が行われたばかりで、地区から県に対して感謝状が贈られるなど地区住民の皆さんから喜ばれた事業だったとのことだった。

3番目は城崎大橋の架け替え工事で、60年を経て狭い現橋を架け替え、東西交通を強化しようとするものだ。現橋の下流に巨大な新橋が架設中だった。完成により、観光や産業面での発展につながるだろう。

最後の調査地は、気比川の津波防止対策だった。河口近くの場合で堤防の嵩上げ工事について調査を行った。

今日の豊岡市は摂氏36度の猛暑。蒸し暑さもあり、陰のある場所での説明はありがたかった。今日の県下の新規感染者数は7263人だった。

## 41. 建設常任委員会で但馬丹波地区へ② 浜坂道路のトンネル建設現場など

2022年08月25日



23日(火)、建設常任委員会の管内調査、但馬丹波地区の調査の2日目。今日は但馬県民局で事務調査を行った。昨日の現場調査を踏まえ、県民局の重点施策、土木事務所からの事務概要、主な事業についての報告を聞き、質疑が行われた。そのあと、県民局敷地と隣接する豊岡総合高校グラウンドの貯留施設、除雪車の説明を受けた。大雨を一時的に地下やグラウンド

に貯めることで道路冠水などを防ぐ効果が出ている。また、雪国但馬の冬の道路を守る除雪車を見学。歩道用の小除雪車もあった。海、山、そして雪という但馬特有の環境の中で様々な事業に取り組んでいる土木事務所の役割を調査することができた。

午後は、山陰近畿自動車道(国道178号)浜坂道路二期工事の現場3ヶ所を訪れ調査した。浜坂道路二期工事区間は、そのほとんどがトンネル部になっている。まず、新温泉町栃谷の浜坂ICの現場でトンネルの東入口の工事現場を望む場所で全体説明を受けた。続いて、新温泉町戸田で第2トンネルの東トンネル入口からトンネル内部に入り、掘削現場まで約500メートルを歩いた。トンネル工事の工法、機械、安全管理などを実地で調査することができた。最後は、その西出口になる新温泉町諸寄の高架橋を調査した。JR山陰線を跨ぐため高い高架橋の橋脚が建てられ、トンネル工事も山の中腹から掘り始めることになっている。その

作業道などの工事が行われていた。

移動のバス車内で、吉栖新温泉土木事務所長が但馬検定の問題を出して但馬理解を深める工夫をしてくださった。最後には但馬名物のとち餅と手書きのメッセージまで用意していただいた。前夜の手作りだったらしく感銘を受けた。

今日の県下の新規感染者数は10,195人。1万人超が続いている。

## 42. 建設常任委員会で但馬・丹波地区へ③ 道の駅整備や道路・河川改修現場など

2022年08月25日



24日(水)、建設常任委員会の管内調査(但丹地区)の3日目。今朝の豊岡市は昨夜降った雨で道路が濡れていた。また、2日間の猛暑から秋のような涼しさになっていた。

今日は丹波県民局・土木事務所管内の調査を行った。まず、丹波市春日町にある「丹波おばあちゃんの里」でリニューアル工事の調査を行った。重点道の駅の指定を受け、丹波市と県が整備を行っているもので、駐車場、トイレ、休憩・物販施設などを順次整備している。訪れる人の数も増加しているという。

続いて、丹波市春日町黒井の黒井川河川改修現場を調査。河道拡幅に伴う橋梁の架け替え工事現場を調査した。

午後は、丹波市商工会柏原支所で丹波県民局・丹波土木事務所の事務調査を行った。丹波地方は度々豪雨災害に見舞われており、河川改修や砂防ダム建設などの災害対策が行われてきた。

午後も引き続き現場調査を行った。丹波篠山市味間の県道西脇篠山線のバイパス工事現場、丹波並木道中央公園のサイクルステーションの2ヶ所。サイクルステーションは昨秋完成したばかりで、森をあしらった木造建築だった。コロナ禍で利用は増加しているとのことだった。

3日間にわたる調査を終えて県庁に帰着したのは午後4時30分を過ぎていた。建設常任委員会の調査は現場が主だ。兵庫県は広く、海から山まで変化に富んだ地形の中に人々の暮らしがある。そうだけに道路、河川、港湾はじめ社会基盤整備や災害対策は重要な仕事である。建設中のトンネルや橋梁、道路などの現場でそうした工事の実際を調査しながら、安全の確保や完成までの苦労などを実感することができた。

今日の県下の新規感染者数は11,452人。やはり1万人超の高止まりだ。

### 43. 農政環境常任委調査に地元議員として出席

2022年09月02日

9月1日（木）、午後2時前に県社総合庁舎へ。農政環境常任委員会の東播淡路地区の管内調査で、北播磨県民局の農林振興事務所、加古川流域土地改良事務所などの事務調査が行われた。委員からは北播磨の特産山田錦やため池、不法投棄、農福連携、内水面漁業などについての質問があった。最後に地元議員として出席していた3人を代表して挨拶を申し上げた。



引き続き、加東市内の廃家電のリサイクル工場のパナソニック

エコテクノロジーセンター（PETEC）を視察した。家電リサイクル法による4家電のリサイクル工場の実際を見学し、先進的な技術や地域、住民への環境配慮などの取り組みについて熱心な質疑が行われ、調査が終わったのは午後5時前だった。



#### 44. 加東市総合防災訓練—山崎断層震度7の地震発生

2022年09月05日

4日（日）、10時から令和4年度加東市総合防災訓練が行われ出席した。

会場は加東市河高の滝野総合公園体育館（スカイピア）とその周辺。訓練には、加東市、国土交通省姫路河川国道事務所、自衛隊青野原駐屯地、播磨広域連携協議会の市町、京都府宇治田原町、加東警察署、北はりま消防、関西電力送配電、地元自主防災組織、NPO法人ひょうご地域防災サポート隊はじめ、地元企業などの団体、グループが参加した。



山崎断層が動き、震度7の地震が発生、被害が発生したとの想定で、加東市が災害対策本部を設定し、応急対策を開始した。滝野南小学校では、負傷者の救助、避難所への搬送などのようすがドローンからの映像で送られてきた。また、連携市町からは救援物資が搬送され、避難所内には段ボールベッド、簡易個室テントなども設置展示された。各部署で情報収集や対応訓練が行われ

た。ドローン会社では、最新のドローンの性能などについて、また、関西電力では地震対応の設備や空気発電機などの展示説明もあった。短時間であったが、参加した加東市消防団の幹部からは、役に立つ訓練だったとの感想を聞くことができた。こうした訓練を重ねることによって実際の場面での対応が可能となる。ドローンも性能がよくなり、風速25メートルぐらいあっても飛行でき、最大48分間飛行可能だということには驚いた。また、京都府の宇治田原町は、お茶の産地つながり（宇治茶、やしろ茶）での連携と聞いた。

台風11号が北上中で、火曜日あたりは影響が出てきそうだ。今日の県下の新規感染者数は5795人だった。

## 45. 自由民主党土地改良推進議連の現地調査

2022年09月06日



5日（月）、今日は県議会土地改良推進議員連盟の現地調査・研修が行われ同僚議員等と東・北播磨地域を訪れ、農地整備、ため池、ダムなどの現場で事業の実施状況や課題、地域や関係者の声を聞いた。

9時にバスで県議会を出発し、次の調査地を訪れ、調査を行った。  
①稲美町岡地区（農地の二次整備）、②小野市河合中町の八ヶ池（ため池耐震補強）、③加西市在田南部地区（農地の一次整備）、④加東市黒谷の鴨川ダム（東条川二期地区・国営かんがい排水事業）。最後に県三木庁舎で、県（農林水産部）と県土改連と意見交換を行った。

台風11号の影響が心配されたが、快晴の下、各現場の関係者、地区の農業者から事業の詳しい説明や農業の現状・課題について切実な声を聴くことができた。

東播磨、北播磨の農業地帯を巡りながら、吹き渡る風に揺れる稲穂がどこまでも広がる豊かな農地、その田をうるおす水を貯めるため池、水を送る水路を見ながら、この豊かな「農」を次の世代に確かな形で繋いでいかなければという思いを強くした。

## 46. 自民党各種友好団体との意見交換会

2022年09月10日

9日（金）、9時30分頃登庁。今日は昨日に引き続き、自民党と各種友好団体との意見交換会が行われた。朝の時間に地元案件で警察本部から報告を受けた。また、午後、地域振興課から11月オープン予定の「ひょうごはじまり館」、空港政策課から関西3空港懇談会についてレクを受けた。



昼休憩をはさんで、午後4時30分まで、県社協はじめ福祉関係、内水面漁業、歯科衛生士、建設業、商工会連合会、遺族会、県神社庁、視覚障害者協会などとの意見交換会に出席した。

遺族会との意見交換会では、沖縄県にある兵庫県出身戦没兵士の慰霊碑のじぎくの塔の一部の石が崩れたという話を聞いた。去年、議長として慰霊祭に参列したが、その後のことであつたらしい。県民の浄財で建立された慰霊塔の維持管理に対し県として支援をしてきている。

イギリスのエリザベス女王が亡くなられた。96歳、70年と

いう長い間女王として在位された。その間、わが皇室とも親交が深く、また、イギリス、そして、王室にいろいろな出来事があってもエリザベス女王のご存在が国民の心の拠り所だったと思う。お元気だと思っていただけに驚いた。心からお悔やみ申し上げる。

## 47. 県公館で「交通安全県民大会」

2022年09月14日

13日（火）、朝の登校見守りに立った。一緒に立っている方から、昨日熱中症になりかけたというお話を聞いた。暑い中、畑の草引きをされていたとき、腕のスマートウォッチが体温上昇警告音を出さなければ気づかずそのまま倒れていたかもしれないとの話だった。あのバスに置き去りにされた幼児もさぞ暑かったやろうに、と自身の体験に照らして話された。個々の体調の影響もあり、一律には言えないものの、まだまだ暑いこの頃、くれぐれも熱中症には気をつけねばと思った。スマートウォッチおそろべし。

昼前には登庁。昼休憩時に来客。1時から健康福祉部の健康増進課、薬務課から経口中絶薬についての聞き取りを行った。



2時から県公館で行われた交通安全県民大会に同僚議員とともに出席した。交通安全功労者表彰の受賞者の中に加東市の方が3人居られた（写真の後ろ姿）。よく存じている方々で、長年にわたり

地域の交通安全にご尽力いただいている。大会では恒例のキッズ保安官の任命や神戸市内の小学校、大学生による交通安全の取り組みについて発表が行われた。桐原県警本部長は謝辞の中で

横断歩道での合図運動（アイズ）、歩行者とドライバーのアイコンタクトによる事故防止を呼びかけた。

## 48. 島守の塔

2022年09月16日



15日（木）、今日は、午前中は映画「島守の塔」を鑑賞した。戦前最後の沖縄県知事として米軍の猛攻撃の中、最後まで県民の命を守るために全力を尽くした島田叡さんと、警察部長荒井退造さんの生き方をえがいたものだった。各シーンが事実に基づいているものであることがよくわかった。特に県庁壕の中での会議や知事の執

務室とされた狭い横穴で、知事付の女性職員に「生きろ」と命じる場面は、実際の壕の中の「知事室」がよく再現されており、壕に入って見学した時のことを思い出させるものだった。また、栃木県出身の荒井警察部長についてもこの映画でその人柄がより強く伝わってきた。壕を出る前の2人の会話のシーンは誰もわからないので想像だろうが、きっとそうだったんだろうと思った。映画の最後は、女性職員が摩文仁の「島守の塔」の慰霊碑を訪れ「生きましたよ」と語る場面だった。昨年ものじぎくの塔、島守の塔での慰霊祭に参列し、献花して冥福を祈った時のことを思い出した。

## 49. 第359回定例県議会開会—台風の影響で午後3時開会

2022年09月21日

20日（火）、朝、雨戸と窓を開けると、ぐっと冷たい空気が



流れ込んできた。まだ曇って、時折り風も吹いたり小雨が降ったりしていたが、台風14号は夜中の間に通り抜けていったようだった。

今日は台風の影響が残ることを考慮して、11時開会予定の

第359回県議会が午後3時に遅らせることが決まっていた。事務所、社高校、兵庫教育大学構内の書店に寄ってから県庁に向かった。車から見える景色では、大きな被害は出ていないようだった。

昼前に登庁し、議会事務局と今日の日程等について打ち合わせをしたり、質問案の変更部分を調査課員に伝えた。

午後1時から議会運営委員会が開かれ、今日の議事日程等を再確認した。1時30分から自民党議員団総会が開かれ、議運の結果報告、代表・一般質問等について質疑が行われた。

午後3時、本会議が開会し、諸報告に続いて、総額約649億円の9月補正予算案はじめ決算、条例案など議案が上程され、齋藤知事が提案説明を行った。明日から25日まで議案熟読のために休会となった。

小西議長は県議会冒頭の開会の挨拶の中で、夏の高校野球選手権大会に初出場した社高校の健闘ぶりを取り上げ、また、本会議後、議長室で知事の挨拶を受けた際の立ち話で、知事は第2回戦、アルプススタンドで応援に来て下さったが、そのときの社高校の帽子を普段使ってます、と話された。こうした応援をお2人からいただき、感謝を申し上げた。

その後は、同僚議員との情報交換などを行い、午後5時30分から自民党県連本部で開かれた選対委員会に出席した。選対委員会では、県議選、神戸市会戦などの統一地方選挙の公認・推薦申

請等について協議し決定した。

加東への帰路、外気はどんどん下がり20度を割った。今日の県下の新規感染者数は1000人を割り、930人だった。ただ、県立高校で学年臨時休業も報告されている。

## 50. 京都で日本会議近畿地方議員連盟総会 高市経済安保担当相が講演

2022年09月25日

24日（土）、今日は、京都市内で日本会議地方議員連盟の近畿地区の総会が行われ出席した。総会には、近畿の各府県議会、政令市はじめ各市町議会から多くの議員が出席し、当面の運動方針、役員



人事などを協議した。兵庫県議会からは7名が出席した。総会会場には故安倍晋三元総理の遺影が飾られ黙祷を行い、冥福を祈るとともにその遺志を引き継いでいくことを誓った。

総会に引き続き、研修として高市早苗経済安全担当大臣が講演を行った。これは自民党京都府連が主催したもので、西脇京都府知事、門川京都市長が出席し、挨拶があった。



高市大臣は、円安が続く日本経済について、これを好機として海外から拠点を国内に戻す動きもあるが、高い電気料金、安定した供給が課題になっているという話から、農林水産業、小型原子力発電、サイバー攻撃等々、経済安全保障に関する現状の課題と

将来に向けての対応について語った。自民党の政調会長として取り組んできた経済安保政策にぶれずに取り組む大臣の意欲が伝わってきた。

## 51. 安倍晋三元首相の国葬儀の日

2022年09月28日



27日（火）、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩いた。いつもの祈りを捧げるとともに安倍元首相のご冥福をお祈りし、今日の国葬儀が無事営まれることを祈った。

登校見守りに立ったが、今朝は肌寒さを感じた。今日は、国葬儀が行われ、知事、議長が参列するために、本会議は休

会となっている。

午後、自宅で国葬儀の中継を視た。日本武道館では厳粛に国葬儀が執り行われた。葬儀委員長の岸田総理、友人代表の菅前総理の弔辞を聞き、あらためて安倍さんの偉大な業績、人柄に思いを寄せることになった。特に菅さんの弔辞は胸に迫るものだった。私もテレビの前で拍手していた。

国葬儀が始まると同時に社は雷鳴が轟き、激しい雨が降った。まさに天も慟哭するかのようであった。友人が自宅に日の丸の半旗を揚げ弔意を表しているメールが入った。わが家でも同様に玄関に日の丸を掲げ、竿頭を黒い布で覆って弔意を示した。

日本武道館の近くに設けられた一般の献花台には多くの人がが列をつくって安倍さんの冥福を祈った。若い高校生が「体が悪いのに日本のために尽くされた安倍総理に花を手向きたい」というようなことを話していた。何と清々しい心の持ち主だろう。武道館

の正面に飾られた桐の箱の中に、安倍さんが倒れた時に身につけていた議員バッジとブルーリボンが入っていた。それらは安倍さんが受けた銃弾で壊れていた。それが大映しになった時に、これは壮烈な戦死に等しい、と思った。衝撃だった。

菅さんが、安倍総理が亡くなっても、自然はうつろいでいく。と述べていた。私も同じような思いをしたことがある。弟が亡くなった次の日も何事もなかったかのように庭には冬の日が差していた。そんな思いが頭をよぎった。

日本は本当に惜しい人を喪った。しかし、私たちは歩みを止めるわけにはいかない。「遺志を継ぎ」という言葉が岸田総理の言葉にもあった。安倍さんが亡くなってから様々な所で耳に、目にする言葉だ。しかし、それには覚悟がなければ到底できないことだ、ということを目に銘じておくべきだ。このことを自分に言い聞かせている。

## 52. 本会議で一般質問に登壇

2022年09月30日



29日（水）、今日は本会議で一般質問に登壇した。今日の一般質問2日目の最後、午後の休憩後、5人目に登壇し、45分間の持ち時間で、6問7項目について質した。

1問目は、齋藤知事の「ふるさと意識の醸成」認識について

2 問目は忠魂碑などの慰霊施設の維持管理について

3 問目は、お腹に宿った小さいのちを守る取組について

4 問目、第1項目は、山田錦の価値を高める取組について

第2項目は、東条川疏水・山田錦の里をはじめとした地域資源をフィールド・パビリオン構想について

5 問目は、神戸と北播磨を結ぶ道路整備と将来の高速道路構想について

6 問目は、主権意識を高める教育の推進について、であった。

質問数が多いので、これまでと比べて少し早口ペースでいったが、7問目は残り時間も少なくなり、端折った。結局、時間切れで、答弁に対するコメントはできなかった。

今朝（29日）の読売新聞にベトナムでの愛国心教育が紹介されており、その内容は、大きな地図模型を活用して領土学習を行い、小さい頃から領土意識を高めておくというものだった。中国による南沙諸島での領土問題が起きていることを背景にした対応で、こうしたことも指摘しておきたかったが、その時間がなかった。しかし、藤原教育長の答弁の中に南あわじ市出身の樋口季一郎中将の名が出てきたことはよかった。多くのユダヤ人の命を救ったことについてであったが、もう一歩進んで、終戦時のソ連による北海道侵攻、占領計画を防いだ功績についても取り上げる必要があると指摘したかったが、次の機会にしよう。

知事は答弁で、「ふるさと意識の醸成」は大事なことと認識しており、就任後、県内各地を回り、兵庫のよさを再発見しているとの体験を述べ、特にこれからの若い人にふるさと兵庫のよさを知ってもらうことが必要だと思っていると述べた。私は「ふるさとのことを知れば知るほど好きになり幸せになる」と思っており、そうしたふるさとへの愛着と誇りが地域創生の根幹だと思っている。そこから、大切にしたい、伝えたい、よりよくしたいという

思いや行動が出てくる。それが喜びにつながる。山田錦も東条川  
疏水も北播磨への高速道路構想も主権意識を高める教育もすべて  
そうした思いからの質問だった。

お腹に宿った命を守る、忠魂碑等慰霊施設の維持管理についての  
質問は、生まれる前の命、戦没兵士の御魂、の「声」に応える  
のが生きている私たちの責任だという思いからの質問だった。戦  
後、優生保護法（昭23）以来、人工妊娠中絶で生まれ出ることが  
せきなかった命の数は届出数だけで約3900万、実態はその  
倍以上と言われる。まさにGHQの日本弱体化のための産児抑  
制政策の結果であると言え、今日の極端な少子化の要因でもあ  
る。そうした中、外国の製薬会社が経口中絶薬の申請を行っている。  
お腹に宿った命を薬剤によってその命を奪うもので、安全に  
中絶ができるとの誤解が広がることも懸念される。お腹の中の命  
は「自分の命を守れない」。忠魂碑に刻まれた郷土出身の戦没兵  
士の声を全身全霊で聴くこと、それが今生きている私たちのやる  
べきことだと信じている。建立者が官か民かの別によって維持管  
理の公的支援をやる、やらないの判断（国）を超えて、次の世代  
に郷土出身兵のことを伝えていくための知恵を絞り維持していく  
のが私たちの責任だと思う。GHQの非軍事化、弱体化政策の思  
考の枠から出て、戦争遺産、歴史遺産としてとらえ直して、維持  
管理し、風化させずに次代の日本に伝えていくのも一つの方法だ  
と思う。そんな思いが今日の質問の趣旨だった。

ロシアが占領地のウクライナの4州を住民投票の結果としてロ  
シア領に編入しようとしている。北方領土、帰属未定の南樺太、  
千島列島（得撫島以北）をソ連、ロシア領と勝手に称しているこ  
とを忘れてはならない。韓国が不法に支配する竹島もそうだ。そ  
して、中国は尖閣諸島を勝手に自国の領土と称して領海侵犯を常  
態化している。毎日のように日本海の向けてミサイルを撃ち込む

北朝鮮。その先には日本があり、また、この国はわが同胞を拉致したままだ。こうした激変する国際情勢の中で、主権意識を高めるため、領土、拉致問題、それに関係する近現代史をしっかりと教育していくことが急務だ。

夜、北朝鮮がまたミサイルを発射したとのニュースが流れた。私たちに時間の余裕はない。

### 53. 樋口季一郎中将の銅像除幕式 ユダヤ難民救出、ソ連の北海道分割占領阻む

2022年10月12日



11日（火）、今日は、淡路市の伊弉諾神宮で樋口季一郎中将の銅像除幕式があり、参列した。式典の行われた伊弉諾神宮の御垣内の神域には、マンリオ・カデロサンマリノ共和国特命全権大使、ロバート・エルドリッジ氏、中将の令孫樋口隆一氏はじめ顕彰会の方、ご遺族、伊弉諾神宮崇敬会、地元市長、市議ら多くの人が参列され、県議会からも9人が出席した。

樋口季一郎中将は、三原郡（現南あわじ市）阿万の出身で、丹波篠山の鳳鳴義塾中学に学んだあと、陸軍幼年学校、士官学校、陸軍大学校に学んだ。今日はそうした縁で丹波篠山市から酒井市長が出席。また、小西県議会議長も丹波篠山市出身、先祖は淡路

の出身で縁の深さを披露した。

樋口季一郎は満州国特務機関長の時、ナチスドイツの迫害から逃れてきたユダヤ人難民約2万人にビザを発行して救出した。式典の来賓、田中英道東北大学名誉教授は直会の挨拶の中で、当時の国際情勢の中のユダヤ問題にふれながら、樋口季一郎は軍人でありながら哲学、思想家でもあり、人種平等観に基づいて自身の判断でビザを発行したことに着目すべきだと話された。樋口季一郎は、終戦時、第五方面軍司令官として、北方軍を指揮しソ連と対峙していた。ソ連のやり口を知り抜いていた樋口は、北海道占領を目論み、終戦後も千島列島、南樺太に侵攻してくるソ連軍に武器をもって抗戦せよと命令し、侵攻を遅らせ、結果、ソ連の北海道分割占領を阻むことになった。こうした樋口季一郎中将の偉大な功績を顕彰し、伝えようと加瀬英明氏らが中心となり、中将の孫にあたる樋口隆一氏を会長とする樋口季一郎中将顕彰会が設立され、銅像建立のための募金を行ったところ、全国から多くの浄罪が寄せられ、中将の出身地の淡路島に建立されることになった。

伊弉諾神宮の神域にある淡路祖霊社に樋口季一郎中将の御魂を合祀し、その境内に銅像が建立された。等身大の軍服姿に軍刀を持った中将の姿は威厳に充ちていた。除幕式に先立って斎行された祖霊社奉告祭は、神域の杜の木々からこぼれる光と鳥のさえずりの中、国旗日の丸と旭日旗が風にはためく中、実に厳かに執り行われた。

続いて、除幕式が行われ、私たち県議も幕の引き綱を引かせていただいた。

除幕式の後の直会の冒頭、神宮の本名孝至宮司から、出身地の南あわ



じ市ではなく、国生みの島淡路を代表する伊弉諾神宮の境内に建立することになった経緯が明かされた。まさに神意がそこにはたらいたと思わずにいられなかった。

直会でご挨拶をさせていただいた。その中で、兵庫県教育委員会が発行して県下の中学1年生に配布されている「ふるさと兵庫魅力発見！」の人物篇に樋口季一郎が取り上げられていることを紹介するとともに、ユダヤ難民救出の人道主義だけではなく、北海道をソ連の分割占領から守ったこともぜひ次世代に伝えたいと率直な思いを披瀝した。

直会のあと、広島県福山市の大田市議会議員さんから「奇跡の将軍樋口季一郎」と題したマンガ小冊子をいただいた。大田市議は自費で出版して樋口季一郎中将の功績を伝えているという。樋口季一郎は昭和8年から福山第41連隊の連隊長として赴任しており、その縁をもとだ。また、直会の最後に北海道に樋口季一郎の銅像を建立すべく奔走しておられる方がその決意を語られた。

直会のあと、もう一度銅像を拝すべく境内に戻ると、幾人かの方が銅像を見上げながら、戦後、軍人の銅像が建てられたのは初めてではないかとも話されていた。今日一緒に出席した、長瀬、松井県議も再度銅像前に戻っていた。一緒に祖霊社協の資料館に入ると、祀られている英霊の尊名と遺品が展示されていた。

今日は樋口季一郎中将の命日にあたる。昨日までの雨、曇天はうそのように晴れ渡り、青い空に旭日旗のように白い雲の筋が淡路島の上空にたなびいていた。この日、樋口季一郎中将を顕彰する銅像建立、序幕の式典に参列させていただいたことを心から感謝したい。まさに今日を序幕として、樋口季一郎の顕彰を通じて、この国を守り、人としての義を貫く生き方を伝えていきたいと誓った日になった。

## 54. 県公館で地域安全兵庫県民大会 防犯ボランティア関係者・団体の表彰

2022年10月13日

12日（水）、午後1時から県公館で地域安全県民大会が行われ出席した。小西議長はじめ多くの県議会議員が出席し、防犯ボランティア活動に尽力され、受賞された個人、団体の方々に感謝するとともにお祝いを申し上げた。受賞者の中に加東市の方が居られ、式典が終わったあと、ご挨拶すると、よく知った方のご子息だった。



特殊詐欺が問題になっている中、県警音楽隊が水前寺清子の365歩のマーチの替え歌で詐欺防止の歌を披露した。最後のフレーズは「送らないで 渡さないで 確認 相談 振り込まないで」。

その後は議運委員長室で執務し、退庁した。帰りに加東市内の知人を訪ねた。国道372号野村バイパスの工業団地付近から夕日が沈んだあとの夕景に見とれ、しばらく眺めた。

今日の県下の新規感染者数は1,100人台だった。知人から、「今年最後のゴーヤ」が届けられていた。この夏は毎朝ゴーヤをいただいた。感謝。

## 55. 北播磨地域農業改良普及事業推進懇談会 社高校創立110周年事業実行委員会

2022年10月19日

18日（火）、午後1時30分から、加西農業普及センターで、

北播磨地域農業改良普及事業推進懇談会に出席した。年に一度の北播磨地域選出の県会議員と普及センター職員との懇談と現場調査の大切な機会だ。



まず、普及センターから、「豊かな農と食」を誇る北播磨地域の農業の現状と課題について、各職員が担当する分野の報告がなされ、続いて質疑が行われた。私からは、加東市を中心としたもち麦の種子生産の課題、やしろの桃の生産者と若木への転換の現状について質問した。机上には、社高校生活科生徒によるもち麦を材料としたスイーツが出された。どれも美味しくいただいた(写真)。

センターでの懇談のあと、現場調査として、加東市内の農家を訪れた。まず、山国地区で、大葉のベビーリーフの栽培に取り組んでいる「まるよ促成農園」さん。ハウスの中で栽培中のベビーリーフの水耕栽培を見学しながら、経営者の依兼さんご夫妻から説明を聴いた。平成24年に全国で初めて大葉のベビーリーフ栽培を始め、「ペリーラ」の商品名で出荷されている。依兼さんから、市場の開拓、販路拡大の苦労や、コロナ感染拡大、燃料高騰など経営の苦労も聞かせていただいた。

次に揖鹿谷地区で、バラ栽培に取り組んでいる佐藤さんのハウスを訪れた。佐藤さんは、アサミ・ローズで知られるバラの育種家、浅見さんのハウスを継承し、育種と生産販売を行っている。ハウスの周囲には、紫外線反射シートを敷いて害虫の防除を実証中だった。アサミ・ローズは、加東市役所前の庭園で毎年美しく咲き誇っていると、ブログでも紹介してきたが、そうしたバラの育種や栽培の苦労を現場で聞くことができた。

午後7時から、県立社高校で来年秋に予定の創立110周年記念式典とその記念事業の実行委員会が開かれた。同窓会会長として実行委員長を拝命しており、各事業委員会がまとめた計画について報告、協議を行った。今日は、野球部が出場する近畿秋季大会（和歌山県）の組み合わせ抽選も行われ、今日29日（土）に天理高校と対戦することに決まった。

夜は一気に冷えてきた。秋が深まりつつあるのを実感する。今日の県下の新規感染者数は1,126人。全国的に少し増えているようだ。来年の創立記念式典はコロナ収束の中で行えるよう期待するばかりだ。

## 56. 第28回全国戦没学徒追悼祭 「若人の広場」(南あわじ市)で

2022年10月22日

21日（金）、今日は、南あわじ市阿万の大見山にある「若人の広場」で、第28回全国戦没学徒追悼祭が行われ、同僚議員らと出席した。

21日は、昭和18年（1943）に明治神宮外苑で出陣学徒壮行会が行われた日、「学徒出陣の日」である。「若人の広場」は、学業半ばで出陣、勤労働員され、亡くなられた約20万人の学徒の御魂を鎮め、平和を祈る施設として、昭和42年に建設された全国唯一の戦没学徒の慰霊施設である。阪神淡路大震災で施設が被害を受け、その後閉鎖されていたが、平成27年に南あわじ市、兵庫県によって都市公園として再整備されたも



のだ。

眼下に福良湾から鳴門大橋を見渡す大見山の空は今日も一段と広く晴れ渡り、全国、県内から参列した多くの人々により、神道形式によって厳粛に斎行された。追悼する会の永田秀一会長（兵庫県議会議員）の挨拶、兵庫県知事（代理）の追悼文奉読などに続き、神楽奉納、玉串奉奠などが行われた。また、仏教界、キリスト教関係者の読経、歌の奉唱も行われた。

決算特別委員会など、議会公務に支障がない限り、毎年出席してきた。また、「若人の広場」の整備について、県議会で質問をしてきた。こうした戦没者の慰霊施設の維持管理については、今定例会でも



質問し、特別の思いをもっている。「若人の広場」には、同地（南あわじ市阿万）出身の樋口季一郎陸軍中将のコーナーが設けられ、軍服（正装）などが展示されている。過日の伊弉諾神宮境内で建立された銅像の除幕式の日も今日のように晴れ渡っていた。「若人の広場」からの帰路、伊弉諾神宮に参拝し、あらためて銅像を見た。カメラマン、若い女性グループが銅像を訪れていた。今日の県下の新規感染者数は、1,286人だった。

## 57. 第359回定例県議会が閉会

### 政策法務研修や議会改革検証委員会などの一日

2022年10月25日

24日（月）、10時から議会運営委員会が開かれ、北口各会派政調会長会座長から意見書案の報告が、人事委員会から「職員

の給与に関する報告及び勧告」についての説明が行われ、今日の議事順序等について協議を行った。

10時30分から自民党議員団総会が開かれ、議運の結果が報告された。

11時、本会議が開かれた。新しい教育委員の紹介、人事委員会の報告がなされた。まず、春名哲夫決算特別委員長から委員会審査報告が行われ、討論ののち、表決が行われ、令和3年度決算案件23件が認定された。次に請願が上程され、委員会審査報告ののち、討論が行われ、表決の結果、「私立学校に対する助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める国への意見書提出の件」1件が採択された。続いて意見書案が上程され、「部活動の地域移行に対する必要な予算措置を求める意見書」など11件が可決され、第359回定例県議会は閉会した。



昼の休憩時間に議運委員長室にNPO法人「とんとん」代表の江藤さんと福島茂利議員（神戸市兵庫区）が訪ねてこられた。今年も「兵庫県に関わるみんなでおこなう『寄附のカタチ』」で、「とんとん」と大関酒造、加東市の山田錦生産会社「玄米家」「藤本糧穀」が共同で企画、製造、販売する日本酒の純米大吟醸「Number」1,500本ができあがった。特別支援学校の生徒、障害者就労支援団体の利用者が心を込めて書いた「Number」のラベルが貼られており、百男にちなんで、「100」をいただいた。売り上げの一部でポッチャセットを購入し、普及活動を行っていくとのことだった。

午後1時から自民党議員団執行部と一緒に財政当局から説明を受けた。1時30分から政策法務研修会が行われ、「政策法務の留意点一解釈、地方分権、政策立案」をテーマに新潟大学副学長

の穴戸邦久氏の講演を聴いた。

3時30分から、議会改革検証委員会が開かれ、検討項目等について、各会派の意見を出し合いながら、新議会への申し送りにする事項などを協議した。

4時、議運委員長室に来客があり、5時前まで懇談した。朝から会議、研修、来客対応の連続だった。

加東に戻ると、外気が一気に冷えていた。いよいよ秋が深まっていく。

## 58. 自民党議員団が合宿研修 28日には北播磨地域づくり懇話会

2022年10月29日

27日（木）、28日（金）の2日間にわたり、淡路の夢舞台国際会議場で自民党議員団の合宿研修（政策研究フォーラム）が行われた。これは、議員団政調会長が主催するもので、合宿研修という形で行われたのは初めてのことであった。

27日（木）の10時から始まり、まず、開催地の淡路市の門康彦市長の講義を受けた。少しの工夫をモットーに人口減少、産業誘致、交通インフラ整備等々市役所あげでの取り組みとその成果を語っていただいた。

次に開催会場の（株）夢舞台代表取締役社長の水埜浩氏（県企業庁管理者）から夢舞台の経営状況等について話を聴いた。官民連携やSDGs等について県の果たす役割についての話があった。

午後の最初は、長岡議員の講義で、政策課題についてディベートを議員が参加して行った。次に那珂通雅氏（ボード・ウォーク・キャピタル株式会社代表取締役CEO）から「今、求められるスタートアップ支援」について講演を聴いた。スタートアップ、ベンチャー、グローバルといったキーワードを中心にこれまで手がけ

てこられたスタートアップの事例等について話を聴いた。聴きながら、まさに「令和の渋沢栄一」といったイメージが浮かんでくる活動ぶりに目を開かされた。

続いて、黒川議員と私が、県議としての自身の信条や取り組みについて話した。自身の振り返り、自己点検といった今回の合宿の目的に添った提起でもあった。また、長瀬議員からYouTube動画作製についての説明も行われ、合宿中にも撮影が行われた。

2日目の28日（金）は、9時30分から齋藤知事、10時30分から久元神戸市長から、特別講義を受けた。知事は「躍動する兵庫」、市長は「神戸の再生」についてパワーポイントで事例を紹介しながら、ポストコロナの県と市の明るい構想を熱く語っていただいた。

午後には藤田議員の講義が予定されていたが、北播磨の議員は、社総合庁舎で開かれる北播磨地域づくり懇話会に出席するため午後は欠席した。

3時から開かれた懇話会では、知事出席の下、北播磨の5市1町の市町長、議会議長がそれぞれ政策課題を、続いて、県会議員が意見を述べた。大阪関西万博、兵庫DC



キャンペーン、都市計画、道路インフラ整備、山田錦振興等々多岐にわたり意見が出された。齋藤知事は、これらに対してコメントを述べ、北播磨の魅力を高め、発信していくようにし、東条川疏水の現地見学もする予定と述べた。

予定より少し早く終わったので、近くの社バスターミナルに寄

ってみた。新規開店したコーヒー店でコーヒーを頼み、西に傾いた景色を眺めながら味わった。店のオーナーとこの場所からの夕景は美しく、ベンチを用意してサンセットビューを眺めながらコーヒーを飲むひとときがいいねといった話が弾んだ。

## 59. 小西議長就任報告会 東条川疏水ボート探検 社高校近畿大会で天理を破る

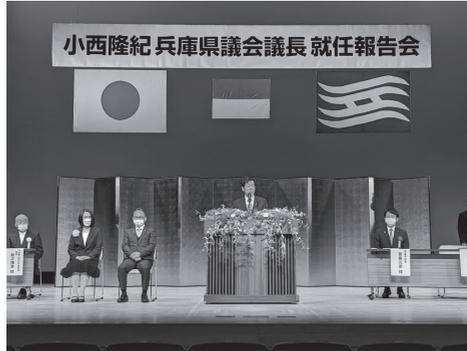
2022年10月30日



29日(土)、秋晴れの下、加東市松沢の安政池の畔、東条川疏水幹線水路をゴムボートで下る「水路deボート探検」が行われた。この取り組みは、東条川疏水ネットワーク博物館が次世代の子供達に東条川疏水のことをよく知ってもらおうと、体験と学びを組み合わせで行っているもので、人気の高いイベントだ。主催するのは水路を管理している兵庫県東播土地改良区で、近畿農政局や関係団体が後援している。今回も募集定員の約2倍の申し込みがあり、抽選で選ばれた約100名の小学生が4人1組でゴムボートに乗り込み、疏水を下りながら、スタッフが出すクイズに答えていた。安政池の堰堤では、疏水カレーなども提供され、秋の安政池の風景も楽しんだ。

午後1時30分から、丹波篠山市の田園交響ホールで行われた小西隆紀県議会議長就任報告会に出席した。1部では、来賓の齋

藤知事、水田副議長、谷衆議院議員、末松参議院議員、加田参議院議員、酒井市長、小島市議会議長が祝辞を述べた。2部では、ウクライナ問題について、ウクライナ専門家の岡部芳彦神戸学院大学教授と、ウクライナ難民で同大学客員教授のナディア・コラルさんと小西議長が鼎談を行った。



岡部教授は、冒頭にゼレンスキー大統領が北方領土問題を挙げ、日本に共闘を申し込んだことを取り上げ、ウクライナだけが世界で唯一国、「北方領土」という呼称を使っていることを評価した。まさにその通りで、私もウクライナ侵略が始まった時、日本の北方領土は7年前にソ連に侵略されたままだ、ということはこのブログでも指摘した。ウクライナは領土、主権を守るために戦い、日本は平和的に返還を求めてきたが、実は主権、独立が侵害されたままだということさえ、忘れかけているのが現状だ。拉致問題にしても同様で、同胞が拉致されたままというのは、日本の主権が侵されたままだということである。日本のマスメディアはゼレンスキー大統領の発言を小さく報じた。岡部教授の指摘の通りだ。そんなことを思いながら、ナディアさんの避難時の話を聴いた。

夕方、丹波篠山市からの帰り、27日に亡くなられた西脇市の元県議会議員、山本章先生の通夜式の式場へ。山本先生には社高校時代にご指導いただき、また、県議への道へ導いて下さった先生だった。社高校での生徒会活動の指導をしていただいた時から「百（ひゃく）」と親しみを込めて名を呼んでいたが、初出馬の

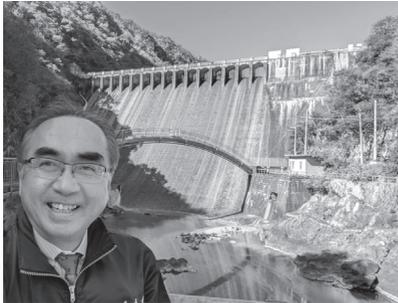
応援演説でも「この百を何としても当選させてください」と呼びかけていただいたことを今も忘れることはできない。安らかな先生のお顔を拝しながら、お別れをした。

今日、和歌山県で近畿高校野球の1回戦が行われた。小西議長の報告会の時間帯だったが、社高校が天理高校と対戦し、見事13対7で勝った。小西議長の報告会中も応援部隊からのメールや速報が入り、気が気ではなかった。やったぞ！社高校！。報告会に出席していた藤原俊平県教育長にもさっそく伝えた。

今日の県下の新規感染者数は1,368人だった。全国的に増加傾向にある。5回目のワクチン接種券が届いた。

## 60. 建設常任委員会管内調査(阪神地区) 千苺ダムや尼ロック、地下貯留管など

2022年11月02日



10月31日(月)、11月1日(火)の2日間にわたり、建設常任委員会の管内(県内)調査を阪神地区で行った。

1日目は快晴、2日目は雨だったが、神戸、阪神南の県民センター、阪神北県民局での事務調査(土木事務所)、伊丹市での県民との意見交換をはじめ、千苺ダムや尼ロック(閘門)、津門川地下貯留管の建設工事現場など、治水、津波対策、上水道施設などの現場調査を行った。主な行程は次の通り。

- 31日(月)・神戸県民センター、千苺ダム、武庫川遊水池、南芦屋浜護岸工事(高潮対策)、尼ロック、阪神南県民センター
- 1日(火)・津門川(地下貯留管工事)、武庫川下流部築堤工事、阪神北県民局、伊丹市中心市街地活性化協議会、寺畑前川地下調整池、多田浄水場

千苺ダムは大正8年建設の神戸の水道水の水源。これを治水のために事前放流するための工事が行われた。ダムは100年以上経っても堅固だという。西宮市の新川水門は巨大だった。津波高潮を防ぎ、内水を排水するための工事が行われている。また、津門川の地下貯留管の工事現場など浸水被害から市街地を守るための巨大工事が行われていた。県民との意見交換では、中心市街地活性化協議会による伊丹市の取り組みについて説明を聞いた。市民グループが主催するマルシェや朝市、クリスマス市場、屋台村、音楽フェスなど、賑わいづくりがな10年、20年単位で取り組まれている。

10月31日はハロウィーンがニュースになる。今年は韓国での大事故が起き、渋谷の警備も例年以上の緊張があった。いつの頃からかハロウィーンの日になってしまったが、この日は私の誕生日。

1日の県下の新規感染者数は1,542人。あちこちで陽性だったという話を聞くようになった。

## 61. 産業労働常任委の管内調査に地元議員として出席 事務調査と現地調査(NAKAGO)

2022年11月03日

2日(水)、今日は昨日とは打って変わって秋晴れの一日になった。午前中は資料整理。午後は、1時10分から県社総合庁舎で行われた県議会の産業労働常任委員会の北播磨県民局の事務調査に地

元議員として出席した。

また、引き続き、現地調査で訪れた株式会社藤原「NAKAGO」（小野市万勝寺）にも出席した。藤原専務が会社概要、経営方針などを説明し、質疑、工場見学などが行われた。藤原



専務は、鋳型、製品づくりの技術を活かして、スズの酒器の製造、販売を始め、山田錦の特A産地の酒米を使った日本酒づくり、飲食店の経営、さらにライスセンター業務へと展開を続けている。その事業展開の根底には、山田錦の特A地区であるふるさとへの強い思いがある。米作りに携わる人、一緒に働いてくれる人を大切にする雇用のあり方を考え、さらに夢は広がっていくようだ。

事務所に戻り、新聞社のアンケートに回答した。北朝鮮がミサイルを撃ちまくっている。韓国では空襲警報が鳴り地下施設へ避難するよう放送があったと報じている。台湾有事、朝鮮半島有事に対する我が国の備えを固めなければならない。現にウクライナは今も侵略者と戦っている。

今日の県下の新規感染者数は2,563人だった。

## 62. 「北播磨 農と食の祭典」県立フラワーセンターで開催

2022年11月04日

3日（木）は「文化の日」。明治天皇の誕生日であり、「明治の日」にしようという運動があるが、賛成だ。今朝、まだ霧が出ているなか、玄関に国旗を掲げた。社の商店街の街灯にも日の丸の小旗が掲げられていた。

今日は10時から加西市にある県立フラワーセンターで開催された「北播磨 農と食の祭典」に出席した。会場には屋内外に約

30のブースが並び、開会式が始まる頃にはすでに多くの人が訪れていた。

式では牛乳の鏡割が行われた。初めてのことだったが、酪農家応援の意味も込められている。



地元加東市の酒蔵の神結酒造、社高校家庭クラブ、みのり農業協同組合、加東もち麦活用協議会はじめ、北播磨地域の農業、加工食品グループなどが自慢の品を販売した。

加東市は今やもち麦（キラリモチ）の産地として作付面積を拡大しており、県下最大となっている。加東市以外の北播磨地域でももち麦の作付け拡大が図られており、西日本最大級の生産地をめざしている。もち麦協議会では、会場を訪れた人にアンケートを行い、もち麦の認知度を調べていたが、まだまだ浸透していないのが現状だという。しかし、積極的に販路拡大を行っており、阪神間のホテルでは、加東市産のもち麦を使った料理が提供されている。また、地元のマルマルヤナギ小倉屋さんが蒸しもち麦をはじめスープなどの食品を販売し、加東のもち麦をアピールしている。

今日も、朝から北朝鮮がミサイルを撃ちまくり、一発は日本列島を越えたという報道もあった。Jアラートが鳴ったが、警報の役目を果たしているとは思えないのが残念ながら実情だ。地下待避壕があるわけではなく、ただひたすら、落ちてこないこと、通り過ぎることを祈るしかない。というか、落ちてこないと思っているのが本当のところというべきか。「暴挙だ」、「強く非難する」といった声明はあるが、反撃行動はない。TVでは、北朝鮮のねらいだの、思惑だのの解説ばかりで、まるで他人事のような報道

だ。ある日、ウクライナのようにミサイルが国土を破壊する、ということがあってからでは遅い。

今日からマイナビABCゴルフが加東市のABCゴルフ場で始まり、加東市出身の蟬川泰果選手がプロ転向初の出場となった。頑張ってもらいたい。

### 63. 和文化教育学会の全国大会が京都で開催 大阪・関西万博に鯉のぼりを揚げよう

2022年11月06日

5日(土)、和文化教育学会の第19回全国大会が京都市で開かれ出席した。テーマは「文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合」。

会場の同志社大学新町キャンパスでは、開会行事、アトラクション、研究・実践発表、理事会・総会、基調講演、シンポジウムなどが行われた。

研究・実践発表は、5つの分科会に分かれて行われた。真の国際人教育をめざした大阪清風中学校・高等学校の国際コースの実践をはじめ、道徳教育における詩吟の導入、鯉のぼり教材を事例にした伝統文化教育のウェブ教材開発、英語の俳句などの実践事例を聴いた。どの実践も興味あるものばかりだった。

伝統文化教育は非常に大切な教育だと思っている。実際、学校教育では、さまざまな伝統文化の体験を取り入れた教育が行われており、子供達も興味関心をもって学んでいる。そうした教育の意義をあらためて考える機会となった。

兵庫教育大学附属中の教員時代に社会科教育、居合道のご指導



をいただいた中村哲先生（現会長）が、大阪・関西万博で鯉のぼりをあげる取り組みをされている。ぜひ実現させたい、と思った。鯉のぼりは鯉の生命力で邪気や疫病を祓い、子供の健やかな成長への願いがこめられている。また、子供が健やかに育つためには、何よりも平和な環境が必要だ、という意味で平和を希求するシンボルでもある。そうした意味を伝え、発信するためにも鯉のぼりを万博会場に揚げたい、と思う。

今日の県下の新規感染者数は1,723人だった。

## 64. うれしの学園生涯大学学園祭、自民党議員団で神戸沖フェニックス処分場や阪高西進伸部視察 皆既月食も

2022年11月09日



8日（火）、9時、加東市下久米にある県立嬉野台生涯教育センターへ。今日は令和4年度うれしの学園生涯大学の学園祭が行われた。開会式で来賓を代表してお祝いを申し上げた。その後、オカリナグループの演奏を聴いた、

10時30分登庁。農林部から米消費振興策について説明を受けた。また議事課とスケジュールの調整などを行った。

12時30分から自民党議員団の農政環境部会・建設部会の合同調査に参加。同僚議員と一緒にバスに乗り込み、視察に向かった。今日の視察先は、フェニックス神戸沖処分場と阪神高速湾岸線の西伸部駒栄IC工事現場の2ヶ所。

まず、兵庫建設事務所で大阪湾圏域広域処理場整備事業の目的、全体計画等について説明を受けたのち、船に乗り込み、神戸沖の埋め立て処分場へ。既に埋め立てられた部分に上陸し、廃棄物の

搬入作業、浄水処理上などを視察した。ここフェニックス神戸沖には神戸市はじめ北播磨から廃棄物が搬入されている。埋め立て地は、港湾施設などに活用される。



次にバスで移動し、神戸市長田の駒栄 I C 工事現場へ。ここは、湾岸道路西野部の西端にあたり、地下 20 メートルで行われている工事を視察した。足場の階段を下り、道路面に立って見上げると、青い空に伸びたクレーンとの落差は約 40 メートルにも及ぶ。西伸部は、渋滞緩和、緊急時の代替路などの役割が期待されている。

4 時 30 分県庁に帰着。加東事務所に戻ったのは 6 時 20 分頃だった。すでに皆既月食は始まっており、帰路、時々車を止めては美しい天体ショーを眺めた。夕食中にも時々外に出て月の欠け具合を見るなど落ち着かない夜だった。

今日、加東市議会の臨時議会が開かれ、新議長に高瀬俊介氏、副議長に長谷川幹雄氏が当選し、新たな議会の体制が整った。今日の県下の新規感染者数は 1,645 人だった。

## 65. 滝野南小学校 4 年生が県庁・議場見学に

2022年11月11日



10 日（水）、朝の登校見守りに立った。今朝も冷たい空気だった今日、社小の 4 年生は加東遺産の見学に行くそうだ。

9 時 30 分には登庁。今日は加東市立滝野南小学校の 4

年生22人と先生2人が県議会本会議場を見学した。子供達を迎えて、議場で挨拶をした。子供達は議員席に座り、熱心にメモを取っていた。このあと、議長席で記念撮影をし、災害対策本部の見学に向かった。

その後は議会運営委員長室で執務。地元案件で警察本部と連絡を取ったり、自民党議員団の控え室で情報交換をしたりした。朝と打って変わって昼間は汗ばむような陽気だった。

夕方から、県庁加東クラブの役員有志で、今後の組織や活動について話し合った。県庁加東クラブも10年を迎え、加東に縁のある県庁職員約100名が入会している。しかし、コロナのために、ここ3年は会を持つことができず、その間、退職者もあり、話し合わなければならないことも多かった。

いよいよ第8波入りのようだ。今日の県下の新規感染者数は2,135人だった。

## 66. 天皇皇后両陛下奉迎提灯パレード 地域安全加東市民大会

2022年11月13日

12日(土)、午前は自宅と事務所で自民党加東市支部の移動研修会の参加者への通知文の作成などを行った。

午後2時、加東市下滝野の加東市地域交流センター(滝野文化会館)で行われた第7回「安全安心のまちづくり加東市民大会」に出席した。3年ぶりの対面開催で、会場のホールには、多くの関係者が出席した。大会では、加東警察署の警察官2名、交通安全協会や防犯協会など団体、個人に功労賞が贈られた。

その後、神戸市に向かった。今日は天皇皇后両陛下が明日の「第41回全国豊かな海づくり大会」にご出席のために兵庫県にご来県され、その県民奉迎パレードに参加するためだ。

午後5時、湊川神社前に集合し、多くの県民が日の丸と提灯を手を持って元町商店街からメリケンパークへのコースをパレードした。長い列のあちこちで、天皇皇后両陛下ありがとうございます、万歳の声とともに日の丸、提灯が揺れた。沿道の店舗や通行の人々には日の丸の小旗が配られ、なかには一緒にパレードに加わる人もあった。公園に着いたのは午後7時頃。両陛下のご来県に感謝し、お迎えする兵庫県民の気持ちを表すことができ、参加者はご宿泊所のホテルの方を仰ぎながら静かに万歳をして解散した。



両陛下はスパコン富岳を視察され、また、海をテーマにした絵画を描いた子供達や漁業関係者とお会いになったという。明日は明石市で大会が行われる。

今日の県下の新規感染者数は2,116人だった。

## 67. 加東市シルバー人材センター設立30周年式典 全国豊かな海づくり大会テレビで視聴

2022年11月14日



13日(日)、8時過ぎには加東市河高の滝野総合公園体育館スカイピアへ。加東市ふれあい球技大会の地区親善家庭バレーボール大会の開会式に出席した。運動場でのグラウンド・ゴルフ大会は

天気悪化のため中止となった。

9時30分には、加東市上三草のやしろ国際学習塾へ。10時からL.O.C.ホールで加東市シルバー人材センターの設立30周年記念式典が行われ、お祝いを申し上げた。感謝状贈呈や功労者表彰、新シンボルマーク、新マスコットキャラクターの紹介なども行われ、新たな歩みが始まった。また、2部では歌手、円広志さんのトークショーが行われた。

午後、明石市で行われている第41回全国豊かな海づくり大会の海岸での行事のテレビ中継を視た。ご臨席の天皇皇后両陛下は漁船や県調査船などの海上パレードに手を振られたあと、香住水産高校の生徒が運んできたマダイ、ヒラメの稚魚を放流された。香住水産高校の生徒の中に加東市社から入学し学んでいる生徒がいたはずで、そのきびきびとした行動に感心した。昨年、宮城県で開催された40回大会に議長として出席した時のことを思い出しながら視ていた。天皇皇后両陛下には兵庫県にご来県いただき本当にありがたいことだった。

## 68. 建設常任委員会の管外調査 東京、横浜の都市再整備を調査

2022年11月17日

14日(月)～16日(水)の3日間、建設常任委員会の管外調査で東京都、神奈川県を訪れ、大都市開発について調査を行った。主な調査先は次の通りだった。

**14日(月)：**三菱地所株式会社  
TOKYO TORCH、常盤橋タワー、銭瓶町ビルディング「アナザー・ジャパン」



**15日(火)：**東京都議会（東京eSGまちづくり戦略2022）、森記念財団（日本の都市特性・兵庫県の自治体評価）

**16日(水)：**横浜市会（エリア・マネジメントの取り組み等）、みなとみらい21（都市の魅力、ブランド力、歩行者ネットワーク形成）

兵庫県、神戸市では、三宮再整備など大都市の再整備が進められている中、東京、横浜で行われている大都市整備について、行政、事業者を訪れ調査するとともに建設中の高層ビル、みなとみらいエリアなどを現地で調査した。首都直下地震対策、広域連携、働き方改革、都市の魅力アップ、歩行者ネットワークなど、参考になる多くの点について今後の委員会活動に活かしていきたい。

初日には、震度3の地震（震源は遠く三重県沖）が起き、学生時代に体験した東京特有のゆらゆらした揺れを思い出した。

新型コロナウイルス感染者が増加しており、兵庫県でも3,200人となっている。17日にはワクチン接種を受けることになっている。



## 69. 秋晴れの土曜日—大忙しの日

2022年11月20日

19日(土)、今日は市内外でさまざまな集まりがあり、案内をいただいた会を駆けめぐる一日になった。

まず、9時30分から陸上自衛隊青野原駐屯地広報館で行われた加東市防衛協会総会に出席し、お



祝いを申し上げた。北朝鮮のミサイル発射が続き、緊張が続く日本の防衛を担う自衛隊を地元の防衛協会として応援していくことが大事だ。

続いて、10時30分から、やしろ国際学習塾3階大会議室で行われた「加東市金婚夫婦を祝う会」に出席した。今年は昭和48年に結婚した65組の申請のうち、35組の夫婦が出席した。アトラクションには南京玉すだれの披露があった。式後には記念写真撮影が行われた。

昼前に東条公民館、とどろき荘で行われた「東条ミニ文化祭」に。同時開催の上田桑鳩書道展も鑑賞した。趣味のグループや個人、子供達の作品展示やおでん、ポップコーン、温泉卵などの店も出て、3年ぶりの通常開催とあって賑わっていた。

そのまま、加西市にある県の農林水産技術総合センターへ向かった。恒例の施設公開、県立農大の学園祭が行われ、葉ボタンや新鮮な野菜などを購入した。鳥インフルエンザの発生で嚴重な消毒も行われる中、家族連れなど多くの人が訪れていた。

次に加西市鶉野の海軍航空隊の飛行場跡につくられている「s o r a 加西」へ。展示されている紫電改の前でパワーリフティング大会「ばかぢから」が行われた。主催者の笹倉氏（加東市下滝野、加東パワーリフティング協会代表）は、パワーリフティング競技を通じて、地域活性化、まちづくり、人づくりを考え、企画を続けている。今日は京都の大学生が出場していた。大阪関西万博も視野に入れて、体験的なフィールド・パビリオンの企画にも意欲を見せていた。



加東市に戻り、ショッピングパークB i o で開催されている和心書道展に。出展者の一人である私の元勤務校の校長先生から作

品の解説をしていただいた。うれしの生涯大学書道クラブや加東市高齢者大学書道部の会員の作品も出展されていた。

朝から出っぱなしだったが、事務所に戻りほっと一息つくことができた。今日も久しぶりにお出会いする方々が多く、もっと時間があればゆっくりお話を伺うこともできたなあと思うばかりだった。

それにしても「s o r a加西」の紫電改、九七式艦上攻撃機の実物大模型は圧倒的な存在感があった。子供の頃愛読したマンガ「紫電改の鷹」がこうして蘇っている。鶉野飛行場の勤労作業には、私が住む社町の町内からも毎日交替で人が出たという記録が残っている。そんなことを思いながら若い力、パワーがはじけるパワーリフティング競技を見ていた。

今日の県下の新規感染者数は2,114人だった。

## 70. 東条川疏水ネットワーク博物館活動発表会に

2022年11月24日

23日(水)、予報通り朝から雨になった。社高校と県岐阜商業との交流試合は中止になり、交流会になったとか。

朝、玄関の屋根下に国旗を掲げたが、昼には風も出てきたので降納した。今日は新嘗祭。豊作に感謝し、天皇陛下が神様に新穀をお供えしいただかれる日だ。この日は、昭和26年の鴨川ダム竣工の日でもあり、「東条川疏水の日」に制定されている。

午後2時から小野市うるおい交流館エクラのホールで東条川疏水ネットワーク博物館の活動発表会が行われた。博物館会議に参加している行政、関係団体、学校、グループ、個人など約100人が出



席し、3つの活動報告を聴いた。

まず、加東市立福田小学校の小倉蒼太郎教諭が4年生の社会科での疏水学習の実践事例を、次に吉水裕也兵庫教育大学副学長が東条川疏水の地域教材化のプロジェクトの取り組みを、そして、最後に県立社高校生活科学科食ビジネス班の3年生が疏水学習と地元の食材の活用実践について発表した。



それぞれの発表に対して、博物館会議のアドバイザーを務める大学の研究者のコメントがあった。最後にコーディネーターの谷口文保神戸芸工大大学院准教授がまとめを行った。3つの報告を聞きながら、40年前に

「東条ダムと嬉野台地の開発」の教材開発に取り組み、ダムや水路を追って調査し、子供達と学習を展開したことが脳裡に蘇ってきた。そして、ネットワーク博物館会議の設置以来、疏水学習に力を注いで来られ、兵庫教育大学の地域教材開発室の開設に尽力された、亡き南埜猛先生の姿を思い出していた。

ロビーには加東市ノーベル大賞に選ばれた福田小学校児童の東条川疏水の研究発表作品も展示され、地域の宝である東条川疏水を次の世代に伝えるというこのネットワーク会議の趣旨が実際に花開きつつあることを実感した。

## 71. 自民党加東市支部移動研修で兵庫津ミュージアム見学 1週間前議運や代表者会議も

2022年11月25日

24日(木)、朝には雨も上がり、天気は回復した。今日は、自民党加東市支部の3年ぶりの移動研修会が行われた。新しい加

東バスターミナルから2台のバスで神戸方面へ。

まず、訪れたのは、今日から一般公開の「ひょうごはじまり館」、初代県庁館など兵庫津ミュージアム。もちろん参加者は初めて見学する施設で、工夫された展示などに見入っていた。施設スタッフの丁寧な案内や説明でより興味が深まったようだった。サンテレビの取材を受けた人もあり、昼にはその様子がテレビニュースで報じられていた。



兵庫津では、日本三大仏といわれる能福寺の兵庫大仏も見学し、ご住職から大仏さんの歴史を聞かせていただくことができた。その後は、市内で昼食、神戸港のクルージングなどをして、神戸の一日を満喫することができた。



私は昼には一行から抜けて県庁へ。午後1時30分から12月議会1週間前の議会運営委員会が行われた。冒頭に行く11月10日逝去された原吉三議員の冥福を祈り全員で黙祷を行った。提出予定議案や質問者・質問順、請願受付などを協議したほか、議会ペーパーレス化小委員会の検討結果報告なども了承された。続いて、各会派代表者会議、自民党議員団総会に出席した。

クルージングが終わったあと、船のりばで一行に合流し、無事加東に戻った。兵庫津ミュージアムはぜひ、兵庫県内の小中学生の遠足、見学地に加えてもらい、兵庫への理解と愛着を深める施設にしていてもらいたいと思った。

サッカーW杯日独戦の話題一色だ。「奇跡ではなく地力を高めた結果だ」という評価が嬉しい。また、日本人サポーターや選手ロッカールームがきちんと掃除、整理されているようすから日本人への高い評価の報道もあった。これも嬉しいことだ。今の子供達がこうしたニュースに接し、サッカーはもちろんスポーツやマナーについて良好な印象を受け止めることができるだろう。

今日の県下の新規感染者数は2,206人だった。今日の移動研修でも3回以上のワクチン接種等の証明、3日前間からの検温票、各施設での検温と消毒、各個人のマスク着用など感染防止対策がとられている。塩野義製薬の治療薬がようやく緊急承認された。この薬は重症化が少ない若い人にも使用できると聞いており、少しでも早期の治療薬使用が行われることに期待したい。

## 72. 第360回定例県議会が開会 故原吉三議員追悼

2022年12月02日

12月1日(木)、9時前には登庁。9時30分から議会改革検証委員会が開かれ、報告書案が示された。10時から議会運営委員会。上程議案、議事日程などを協議した。

10時30分から自民党議員団総会が開かれ、代表者会議や議運の結果が報告された。

11時、第360回定例県議会が開会した。冒頭で去る11月10日に逝去された原吉三議員(神戸市中央区)を追悼し、黙禱に続いて黒田一美議員(神戸市垂水区)が追悼演説を行った。傍聴席では遺族の胸に抱かれた原吉三議員の遺影が見つめ、31年にわたる県議会に別れを告げた。

今議会には、総額約1,006億円の補正予算案など議案が上程され、齋藤知事から提案趣旨説明が行われた。会期は13日までと決まった。

知事は開会挨拶の中で、加東市出身の蟬川泰果さんの活躍を挙げた。前議会の社高校に続いて、加東市の若い力が県会議場で話題にのぼったことは嬉しい限りだ。

昼の時間に議長応接室で、全国都道府県議長会からの在職15年表彰を受けた。在職25年の藤原昭一議員、同期の議員等と記念撮影も行われた。



午後、2回目の議員団総会。2時から財政課のレクを受けた。2時30分から孤立妊婦を支援する議員有志の会の役員会。その後も議運委員長室で執務した。

5時から神戸市内で開かれた美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会の会議に出席した。加東に戻ったのは午後8時を過ぎていた。

### 73. 水田副議長就任祝賀会 神道政治連盟時局講演会 加東市長杯中学親善軟式野球大会

2022年12月04日

3日（土）、今朝も冷たい空気に包まれた。8時から加東市高岡のグリーンヒル野球場で、第17回加東市長杯中学親善軟式野球大会が行われ、その開始式に加東軟式野球協会会長として出席し激励の挨拶を申し上げた。



今回は県下各地の精鋭8チームが出場のところ、1チームがコロ

ナで出場できなくなった。また、2校混合チームが2チームあった。1,2年生の部員数も少なくなっている。始球式での岩根加東市長の投球はノーバウンド、ストライクの好球だった。

午後1時から姫路市内のホテルで、水田裕一郎副議長の就任祝賀会が開かれ、出席した。発起人の齋藤知事、小西議長が挨拶に立ち、また、松本剛明総務大臣、加田裕之参議院議員、清元姫路市長、伊藤傑自民党議員団幹事長ら来賓が挨拶し、水田副議長への期待と姫路、播磨の発展を語った。



午後3時45分には、神戸市垂水区で開かれた神道政治連盟兵庫県本部の時局講演会に出席した。講師は明治学院大学名誉教授・樋口季一郎中将顕彰会会長の樋口隆一氏。演題は「樋口季一郎の北海道防衛とウクライナ情勢」だった。樋口氏は中将の孫にあたり、季一郎の経歴を追いながら、その人柄を紹介し、人道主義、対ソ連軍への対応の背景にあった対ソ情報専門の軍歴を詳しく話された。ソ連、ロシアの本質を理解しなければウクライナ侵略や北方領土や対日戦略を理解することはできないことも指摘された。加東市内の神社関係者も出席されていた。



今日の県下の新規感染者数は3,192人だった。

## 74. ニューレジリエンスフォーラム兵庫大会 —感染症と自然災害に強い社会づくりを

2022年12月12日

11日（日）、午後2時30分から県民会館（神戸市）パルテホールで、「ニューレジリエンスフォーラム兵庫大会」が開かれた。

ニューレジリエンスフォーラムとは、感染症と自然災害に強い社会をつくることを目的に、

昨年6月に立ち上げられたもので、医療関係をはじめ、各分野の団体や個人が賛同し、すでに一次、二次の提言をまとめ、政府に提出している。レジリエンスとは、弾力、回復、強靱といった意味で、災害などで打撃を受けても、被害を縮小し、回復しやすい仕組みを持つ社会をつくり、国民の命と生活を守ろうという意味で使われている。河田先生によれば、あの9.11で被害を受けたニューヨークでレジリエンスシティーをつくらうという取り組みが行われたと聞いている。

このフォーラムの共同呼びかけ人代表の一人である河田恵昭先生（人と防災未来センター長）の呼びかけで、防災先進県である兵庫県でもぜひこの輪を広げようとお話を受けて、私が県議会議長を務めていた時であり、その趣旨に賛同し、同僚議員や各種団体に呼びかけを行ない、今回の兵庫大会の開催になった。

今年、10月20日に兵庫県の呼びかけ人会議が開かれ、医療、福祉、農林水産をはじめ各分野の諸団体が呼びかけ人に就任いただいた。また、県市長会、町村長会、市議会議長会、町村議長会の会長さんも名を連ねていただいている。全国、各都道府県の中で、兵庫県の特徴は阪神・淡路大震災を経験し、防災への意識や活動



が高く、医療関係はじめ、経済、福祉、行政など幅広い分野から呼びかけ人、賛同者になっていただいていることだ。

今日の大会には、呼びかけ人、賛同者、来賓など約100人が参加。主催者を代表して、私が挨拶を申し上げた。続いて、河田恵昭共同代表、松本尚衆議院議員（ニューレジリエンスフォーラム企画委員長）が講演し、フォーラム設立の趣旨、経緯、提言内容等について詳しく語



られた。続いて、小西隆紀県議会議員、遠藤県防災監、鈴木県医師会副会長、谷村県社会福祉法人経営者協会会長、小寺県農業協同組合中央会常務理事、三嶋県土地家屋調査士会会長が挨拶され、それぞれの立場からフォーラムへの期待を述べられた。会場には、賛同者の県議会議員、神戸市会議員、西脇市議会議員の出席があった。国会からは加田裕之参議院議員（代理）が出席した。

フォーラムでは、今後も呼びかけ人、賛同者の輪を広げ、それぞれ意見などをまとめ、提言、発信を行っていくこととしている。河田先生の「巨大地震は必ず起こる」「国難災害への危機感、対応が絶対必要」の言葉をかみしめながら、兵庫県からニューレジリエンスの取り組みを発信していきたい。

今日の県下の新規感染者数は、5,057人だった。

## 75. 第360回定例県議会閉会

### 午後は文教部会や団体要望、意見交換会など

2022年12月14日

13日（火）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ向かった。

9時過ぎに登庁。1日の予定を確認し、10時から議会運営委員会が開かれ、同意人事案の説明や議事順序、議会改革検証委員



会報告等を協議した。

終了後、議長室において、議長に議会改革検証委員会報告を手交した。今年度、7回にわたり、議会のICT化など今期4年間の議会改革の検証を重ね、成果と課題をまとめたもの。課題は新議会に申し送ることになっている（写真）。

10時30分から自民党議員団総会。そして、11時から本会議が開かれた。

本会議では、付託議案の常任委員会審査の結果が報告され、討論、表決が行われ、補正予算案、条例案などが可決された。続いて、議員提出議案（報酬及び費用弁償条例改正案）が上程され、討論の後表決が行われ可決された。続いて知事から土地利用審議会委員の任命の同意案が提出され同意された。続いて議員提出議案（県議会の保有する個人情報の保護に関する条例）が提出され、討論の後表決が行われ可決された。次に請願8件が一括上程され、委員会審査結果の報告、討論、表決が行われ、不採択となった。次に意見書案9件が上程され、可決された。以上で、13日間にわたる360回定例県議会が閉会した。今日は、議会運営委員会、本会議を傍聴する加東市の知人の姿があった。仕事が休みの日に県議会の傍聴をしていただき、嬉しい思いだった。

午後は、1時30分から自民党議員団文教部会が開かれ、教育委員からICT教育の進捗等について説明を受けた。コロナ禍の間に学校現場のICT化は一気に進み、小、中学校ではタブレット端末やデジタル教科書などを活用した学習が行われている。また、高校では新たに情報の授業が行われている。質疑では、学習

効果や紙教科書との併用などさまざまな質問が出された。

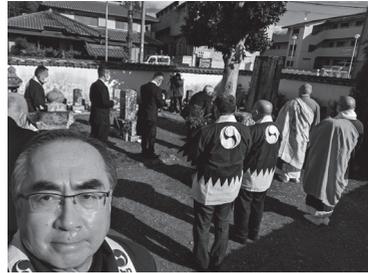
3時から兵庫県私立専修学校各種学校連合会の要望について、総務部長と懇談。5時から連合会の皆さんと自民党議連との意見交換会が行われた。

今日の県下の新規感染者数は4,404人だった。全国的にも感染者数は多く、東北地方では過去最高となっている県もあった。明日は赤穂義士祭だ。

## 76. 加東市赤穂義士祭

2022年12月15日

14日(水)、朝、夜明け前に歩いた。登校見守りに立った頃には、寒風が吹き始め、雪雲のような雲も出てきた。



10時頃、赤穂義士祭が行われる観音寺(加東市家原)へ。すでに境内には多くの参拝の人が訪れていた。10時30分から本堂で追善法要が行われ、主催者である加東市赤穂義士奉賛会の会長の祭文、僧侶の読経、その後、境内にある墓碑に参列者が線香を手向けた。地元の家原地区の皆さんが参拝者に甘酒の接待をして下さった。寒いこの日には温かい甘酒が美味しかった。午後には、加東市中学校駅伝大会、剣道大会が行われた。

夜、小野市の交流会館エクラで行われた「大河の会」の例会に出席し、映画「赤穂夢物語り一元禄英雄伝一」の鑑賞会が行われた。

今日は赤穂義士一色の日だった。県下の新規感染者数は7,656人と一気に増えた。県の感染症対策室は外来フェーズを感染警戒期から感染拡大期に上げた。

## 77. 加東の歴史や文化を講演 シルバー人材センター30周年事業で

2022年12月19日



18日(日)、午後2時からやしる国際学習塾の2階中会議室で加東市シルバー人材センターの30周年記念事業の一環として行われた講演会で講師を務めた。

演題は「ふるさと加東の歴史や文化を守り伝えるシルバー

の役割」で、私の歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」を題材にして、約90分講演した。

会場には、人材センターの会員さんはじめ、50人の出席があった。加西市に住む高校時代の同級生も聴講してくれた。

ブログは、平成18年6月に開設し、投稿を続けて、現在4912回に達している。加東市の歴史や文化をほぼ毎日発信しているが、スマホで見ていると、頁を開いて見せて下さる方もあった。講演で紹介したのはそのうち20例ほどだったが、何しろネタは4912もあるので、広くも、深くもテーマ次第。子供から大人まで読めるように表現を工夫している。

これで、今年は夏に加東市高齢者大学での講演と合わせて2回の講演機会を得た。そうした発信の場を提供して下さった方々に感謝したい。身近な郷土の歴史や文化を通して愛着や誇りを育み、次世代へ継承していくことを務めと思いこれからも続けていきたい。

今日の県下の新規感染者数は5,982人と6,000人ライン。緩やかだが感染は増えている。

## 78. 「絵画で偲ぶ播磨の飛行場」展へ —加東市の服部武司さんが加古川駅市民ギャラリーで 2022年12月25日

24日（土）、今日も肌を刺すような冷たい風が吹いた。

午後、加古川市へ。JR加古川駅の中にある市民ギャラリーで開かれている「絵画で偲ぶ播磨の飛行場」展を鑑賞した。絵の作者は



加東市屋度の服部武司さん。会場には、服部さん（写真右）と上谷昭夫さん（写真中央）が居られた。上谷さんは、鶴野飛行場はじめ、三木飛行場、加古川飛行場など終戦前に建設された陸軍の飛行場の歴史を発掘し、発信する活動を続けてこられた方で、加東市の嬉野にあった飛行場の話になり、秘話も教えていただいた。服部さんは、これまで帆船の絵などを描かれていたが、鶴野飛行場の整備を契機に、播磨の飛行場と、飛行機、特攻兵などを描くようになったとのことだった。会場には、紫電改、飛燕などさまざまな戦闘機や空母、三つの飛行場の絵に加えて、播磨町の永井宏樹さんのペンシル画も展示されていた。

服部さんの帆船の絵は少年の夢を大海に誘う明るく雄壮な絵だった。その服部さんが描いた飛行機の絵を鑑賞していると、零戦や紫電改、飛燕、雷電などの戦闘機を一生懸命ノートに描いていた自分の少年時代を思い出してしまった。服部さんと、上谷さんには、ぜひ、「播磨の飛行場」に嬉野（社）飛行場も加えて、ロケット機の「秋水」を描いた絵画展と講演を開いていただきたいと稲飼いした。

今日の県下の新規感染者数は、6,816人だった。今日は、クリスマス・イブ。

## 79. 加東市消防団年末警戒発団式 仕事納めの日

2022年12月29日

28日(水)、今日はお役所などが一年の仕事納めの日。わが加東事務所も午後から掃除・片付けだった。

1月のスケジュール調整で、病院の診察日

の予約変更をしたり、散髪に行ったりしていると、懐かしい電話が掛かってきた。学生時代に共に活動した仲間で、電話をしてきてくれたものだった。お互い70歳に近い年齢になっても心は学生時代にすぐ戻る。

夜はお通夜に参列した。午後9時から加東市消防団年末警戒発団式が行われ、加東市消防団員幹部と団員164名が出動した(写真)。今日から30日の3日間、4万市民の安全を守るため年末警戒にあたっていただく。但し、コロナ対応として、各分団とも詰所には、4名が警戒にあたるということになっている。式では、団員に対して感謝と激励の言葉を申し上げた。ふと、40数年前、社分団員時代の年末警戒の思い出が蘇ってきた。

今日の県下の新規感染者数は、10,360人で1万人を突破し、感染拡大が続いている。身近なところでの感染が広がり、重症化は少なくとも罹患すれば仕事や年末年始の予定が崩れてしまうので今は最大の警戒をしている、という声をよく聞く。



## 80. 令和5年元旦 福吉地区初総会でご挨拶

2023年01月02日



令和5年の新年が明け、新たな気持ちで一年が始まった。

朝、7時20分頃、加東市山国の王子ヶ池の堤で初日の出を拝んだ。もう十数年ここで初日の出を拝んできたが、今年は天気がよくくっきり

と初日が見えた。

午前8時40分頃加東市福吉地区公民館へ。加東市内で一番早い地区初総会はこの福吉地区で行われる。岩根市長、藤井衆議院議員と私の3人が総会前に年頭のご挨拶を申し上げた。元旦には、午後1時から上田地区で初総会が行われるのが通常だが、今年は年末にかけてのコロナ感染の拡大を受け、書面会議に変更となった。

わが家では、暮れに義父が亡くなったので、神社への初詣や家での神祭りは控え、家族で静かに過ごした。

ところで、北朝鮮が新年明け早々にミサイルを発射した。わが国の防衛能力強化、反撃能力の保持は一刻の猶予もない状況だ。

## 81. 恒例の新春行事「あったか加東伝の助かるた大会」等

2023年01月06日



5日(木)、よく冷えた朝だった。5日は加東市で恒例の新春行事である「あったか加東伝の助かるた大会」(市主催)、そして「新春書き初め大会」(子連協主催)が加東市河高の体育

館スカイピアで行われた。

朝、8時過ぎには、霧の中をスカイピアへ。底冷えする体育館の中にはかるた大会に出場する幼児や小学生、そして付き添いの保護者がすでに位置について、やる気満々の雰囲気があった。開会式での「滝乎」のオープニングダンスでは、加東伝の助くんのキレのよい動きに思わず拍手。各出場チームは、練習の成果を出して札を勢いよく取っていた。

午後、神戸市内で開かれた「新年保育のつどい」に出席した。今年、4月に子ども家庭庁が始動し、こども政策の積極的推進などへの期待が高い中、保育人材の確保や処遇改善、園児の安全確保、コロナ感染対応などの現場の課題があり、出席した県議会社会福祉推進議連の議員と保育推進連盟関係者との懇談が行われた。

今日の県下の新規感染者数は7,684人。インフルエンザも増加の傾向があるとのことだ。

## 82. 加東市二十歳の集い「咲」 各地区初総会回り

2023年01月09日



8日(日)、今日は「加東市二十歳の集い」が行われた。また、各地区で初総会が開かれ、そのうち数地区でご挨拶を申し上げた。

加東市上三草のやしろ国際学習塾のL.O.C..ホールには二十歳を迎えた340名が出席し、「二十歳の集い実行委員会」の企画による式とアトラクションなどが行われた。成人年齢が18歳になったため、多くの

自治体で「成人式」をやめて「二十歳のつどい」の名称が使われている。「咲」は今年の字として実行委員会が選んだもの。実行委員会代表の大西智起君が「二十歳の決意」を力強く述べた。若い力に期待をしたい。

この式の前から、初総会が行われる地区を回って、ご挨拶を申し上げた。自分の町内会の総会も行われた。午後も3地区を回った。久しぶりにお出会いする方が多く、話が弾むこともあった。

今日も県下の新規感染者数は11,053人と3日連続で1万人を超えだった。

### 83. 1. 17 ひょうご安全の日のつどい

2023年01月18日

17日(火)、今朝も早く目覚めた。28年前にも起きていた。最初の揺れが終わったあと、外に出てみると、南東の方角から何度も衝撃波のような振動が地鳴りとともに地上の電信柱と電線をぶるんと振るわせ、私の体を一瞬に突き抜けていった。その感覚は異様なものであり、何か恐ろしいことが起きていることを暗示しているようだった。



今朝も登校見守りに立ってから県庁へ。県庁から「ひょうご安全の日 1.17のつどい」の会場である「人と防災未来センター」に向かった。

11時50分開会。「つどい」には、ひょうご安全の日推進県民会議の会長である齋藤知事、副会長の小西県議会議長、来賓の谷内閣府特命担当大臣、久元神戸市長はじめ衆参国會議員、県

議会議員、市町長、市議会議長会、自衛隊、消防庁、井戸前知事、金澤前副知事ら多くの関係者が出席した。

「つどい」は、県立西宮高校音楽科の生徒による献奏曲の演奏に始まり、小西議長が開会のことばを述べた。6,400人余の犠牲者に対して黙祷したあと、齋藤知事が主催者挨拶を行った。続いて来賓を代表して谷大臣が挨拶し、次に小、中、高の3人の子どもがメッセージを読み上げた。県立舞子高校の女子生徒は、震災の体験はないが、体験者の言葉を自分の言葉に換えて語り継いでいくことが大事なことだと訴えた。体験していない世代が出てきていることを懸念する声もあったが、そんな心配を吹き飛ばしてくれるしっかりした考えだった。

小学生らの捧唱曲「しあわせ運べるように」の歌声が響いた。続いて、河田県民会議企画委員長（人と防災未来センター長）が「1.17ひょうご安全の日宣言」を読み上げた。「忘れない、伝える、活かす、備える」を合言葉に震災の教訓を防災につなげていくことを宣言した。

最後に出席者全員が献花を行った。今日は会場に透明テントが張られ、温室のような感じだった。帰りは、県庁まで歩いた。三宮まで約30分だった。

今日の県下の新規感染者数は4,240人。数字上は減少傾向といえるが、実態はよくわからない。身近なところでの感染が続いている。

## 84. 農業農村の未来を考える 多面的機能保全向上活動発表会

2023年01月27日

26日（木）、今日は午前は姫路市へ、午後は三木市に、の一日になった。

午後1時30分から、三木市文化会館大ホールで開催された「令和4年度東播磨・北播磨地域多面的機能保全向上活動発表会」に出席した。最優秀賞、優秀賞



に選ばれた2県民局管内の計6地区（協議会）が表彰され、最優秀賞の2地区の活動事例発表が行われた。まず、東播磨県民局管内の加古川市の葉栗（くすぐり）地区では、地域の共有財産であるため池を守る活動が、北播磨県民局管内の多可町の鍛冶屋地区からは、酒米山田錦の生産、秋田県酒造組合との販売契約を通じた活動が発表された。小学生や婦人会など地域一体となった活動、秋田県酒造組合との交流など、農村の明るく元気な活動事例に感銘を受けた。

続いて、元農水省農村振興局長の大田信介氏による「東播磨・北播磨の『水土里』を未来に！」と題した特別講演が行われた。大田氏は、多面的機能支払制度の生みの親であり、現在も全国の農村を回って講演、指導等の活動を続けておられる。そうした経験をもとに、未来の姿を見据え、今の農村を元気にするヒント満載の話で、あっという間に時間が過ぎた。

夜、TVニュースで、加東市職員が公共工事の入札で情報漏洩があったとの疑いで逮捕され、岩根市長の記者会見の様子が報じられた。詳しいことは分からないが、あってはならないことだ。警察は捜査を続けている。

## 85. 社高校選抜大会出場決定 加東市役所に県警の搜索

2023年01月28日

27日（金）、午前、午後と、市内の団体への挨拶回りをした。



話題は、加東市職員の官製談合事件と今日行われた選抜大会選考委員会のことだった。

21世紀枠候補に選ばれていた小野高校は3枠に選ばれず、補欠1位となった。しかし、社高校が近畿代表の7番目に選ばれ、さっそく同窓会役員と社高校へお祝いに行った。すでにサンテレビなどのメディア取材の車が来ていて、若浦校長はじめ教頭、事務長、野球部長と一緒に喜んだ。創立110周年とダブルで嬉しいニュースになったが、同窓会としての活動が大忙しになる。事務所に戻り、齋藤知事、藤原県教育長にも電話で連絡。お二人からお祝いと応援の言葉をいただいた。

夕方のニュースでは、選拔出場校の紹介に続いて、県警の加東市役所の家宅捜索が連続して報じられた。事件の解明はこれからだが、市民としては、喜びと不安が一度にやってきて複雑な心境だとの声もあった。

選抜大会は、3月18日開会で、最終日が31日、県議選の告示日だ。

## 86. 県庁で会議や説明など 桃坂バイパス工事着工 社高男子バレーも県新人大会優勝

2023年02月07日

6日(月)、朝の登校見守りに立ってから県庁に向かった。通勤通学時間帯ではあったが、いつもと同じように県道と新神戸トンネル経由で1時間10分で到着。

9時30分から2月議会1週間前の議会運営委員会が開かれた。提出予定議案の概略説明、質問・質疑の順序等について協議を行

った。テレビ中継や議場コンサートなどが入ることについても確認した。

終了後、各会派代表者会議が開かれ、新議会への申し送り事項について、追加提案と議長試案が示された。その後も、議運委員長室や議長室での当局レクが続いた。久しぶりの登庁だったため、2月議会に向けてのレクが待ち受けていた。また、議連や会派の部会関係の会議や打ち合わせ、自民党議員団総会、地元北播磨県民局の令和5年度の取り組みについての説明も管内選出議員と一緒に聞いた。退庁したのは午後6時前だった。

県道神戸加東線の桃坂バイパスの工事が始まった。予定より少し遅れての着工だが、念願の安心な道路づくりが始まった。現道は狭隘部分や急カーブなどで大型車のすれちがいが困難だったり、自転車通学の安全が保たれないなどの課題があり、加東以北の北播磨と三木、神戸方面との通勤、物流などの大きな課題のある箇所になっていた。バイパスは桃坂交差点から少し入ったところから、桃坂の峠地点まで約1,000メートルのバイパスをつける。車道の両側には1.5メートル幅の路肩がにつけられ、自転車も安全に走ることができる。完成が楽しみだ。

県高校新人戦の男子バレーで社高校バレーボール部が優勝した。なんと平成8年（1996）以来、26大会ぶりらしい。常勝の市尼に対して準優勝に甘んじてきたが、その市尼を破った神院大付高に競り勝っての優勝だったという。高校男子バレーといえば、社高校という伝統の強豪校が遂に優勝。おめでとう。

## 87. 北方領土の日・献血奉仕・三菱ジェット・トルコの地震

2023年02月08日

7日（火）、今日は加東ライオンズクラブの献血奉仕。献血は、加東市民病院で兵庫県赤十字の献血バス3台で実施された。午前

10時から午後4時までに200人余りの人が献血に訪れた。ライオンズ会員から卵のプレゼントを行った。途中で買い足しに走るほど予想以上の人が訪れた。病院隣接の播磨看護専門学校の生徒さんも献血に協力いただいた。



さて、今日は「北方領土の日」だ。昨年もこのブログで北方領土の日の意義を確認をした。昨年は、ウクライナへのロシアの軍事侵攻が近いとの認識の中で、ウクライナ国民が一步たりとも侵略者の侵入を許さないとの固い決意を示していることを取り上げた。その後、24日に現実に侵略が開始された。あれから一年が経とうとしている現在、ウクライナはロシアに反撃を続けている。

我が国は、昭和20年9月からずっと固有の領土である北方四島をソ連、ロシアに侵略されたままだ。ウクライナは昨年、同じ立場にある国として共に戦おうと呼びかけてきた。ロシアが隣国を侵略している現実を世界に向けて



訴え、共闘しようというものだった。ウクライナは侵略者と戦っている。ロシアに侵入を許せば、どうなるかを知っているからだ。大戦末期、ポツダム宣言受諾後に千島列島や樺太、満州で侵攻してきたソ連軍が何をしたかをもう一度思い出す必要がある。70数年を経た現在、侵略者がウクライナで行ったことと重なって見える。領土、主権、国を守るということをもう一度根本から考え直す日としたい。

三菱重工がスペースジェットの開発から撤退することが決まった。愛知県の工場を視察し、スペースジェットの实物大模型の客

室やコックピットを体験し期待が膨らんでいたのに残念だ。日本の国力、技術力の低下が報じられる中での今回の撤退はさらに残念感が深い。

トルコ南部で大地震が発生し、数千人の死者が出ている。日本はじめ世界各国から救援隊が駆けつけている。M7.8や7.5の激しい揺れで建物が崩壊する生々しい映像やがれきの下の生存者を助けようと素手でがれきを取り除いている人々の姿が映し出されている。阪神・淡路大震災の記憶が蘇ってくる。死者数もトルコとシリア合わせて5,000人を超えているという。地震の予兆はあったという報道もあるが、それでも地震はいつ起こるか分からない。南海トラフ巨大地震や首都直下地震は必ず起こる。被害を最小限にするための備え、あらためて震災の教訓を忘れず、点検してやる必要がある。

今日の県下の新規感染者数は1,513人だった。

## 88. 建国記念の日を祝う会

2023年02月12日

11日（土）、朝、玄関に国旗を掲げた。今日は、建国記念の日。神戸で建国記念の日を祝う会が行われた。

朝8時過ぎに、加東市河高の八幡神社にお参りした。伝統の厄神祭が行われ、地区内外から多くの人々が参詣し、厄除けを願った。神社の背後の山頂では、厄年の人が投げる餅や菓子、お金を地区の子ども達が拾う厄払いの行事も4年ぶりに行われた。祭りでは、地区の皆さんが温泉卵やラーメン、コーヒーなどの接待で参拝者をもてなし、私



もラーメンをいただいた。

9時30分頃、加東市上久米の東光寺へ。「大日ったん」と親しまれてきた大日如来祭りが行われる。まだ、住職、地区役員の皆さんが準備中だったが、お参りさせていただいた。寺の前の田には、午後行われる護摩焚きの準備ができており、山伏さんが打ち合わせをしておられた。

午後1時、神戸市内の読売ホールで行われた「建国記念の日を祝う会」に加東市の方々と一緒に出席した。

祝う会は3部構成で行われ、第1部では明治神宮国際神道文化研究所主任研究員の打越孝明氏による「明治天皇のご聖徳と日本の国柄」と題した講演が行われた。全国をご巡幸された明治天皇の聖跡・史跡、特に兵庫県内の行啓地、史跡を中心に話された。Ⅱ部の式典には、国会、県会、市会議員が多数出席し、県会議員を代表してご挨拶を申し上げた。式典の最後に国や地方自治体による建国記念の日の式典開催などを要望する決議が採択された。3部は奉祝パレードが行われた。

建国記念の日は、「建国をしのび、国を愛するところを養う」日である（祝日法）。先人から受け継いだこの国を次の世代に伝えることが、今を生きる私たちの役割であることを再認識する日だった。

ホールの近くの南京町には多くの人出があった。今日の県下の新規感染者数は、1230人だった。

## 89. 北播磨地域ビジョンフォーラム 万博を契機とした地域の魅力づくり

2023年02月13日

12日（日）、今日は春のような陽気だった。午前は事務所で、午後は北播磨地域ビジョンフォーラムに出席した。

午前は、事務所に後援会長が来られ、今後の取り組みについて打ち合わせを行った。また、同僚議員と電話で情報交換をしたり、県政報告会の準備などを行った。



午後1時過ぎに加東市下久米の県立嬉野台生涯教育センターへ。令和4年度の北播磨地域ビジョンフォーラムが開催され、2050推進ネットワークの皆さんが講演を聴き、ワークショップ、自由交流を行った。

講演では、ひょうごフィールドパビリオン検討コアメンバーの平櫛武氏が「2025大阪・関西万博を契機とした地域の魅力づくり」の演題で、万博のテーマ、兵庫にとっての意義、フィールドパビリオンのイメージなどを事例を挙げながら分かり易く解説された。その後テーブルに分かれて北播磨の魅力づくりのワークショップが行われた。

会場では、西脇、西脇工業、社、小野、小野工業の高校生が地場産業を活かした菓子や竹のランプシェード、キーホルダーなどを展示販売した。若い高校生が地域の魅力づくりに取り組み大きく貢献している。

その後も事務所で仕事。明日から2月議会が始まる。今日の県下の新規感染者数は894人だった。

トルコ地震の被害が大きく膨らんでいる。世界各国からの救援隊が懸命の活動を行っているようすが報じられている。地震発生地の地図を見ると、日本の関東地方にあたる広域にわたっている。被災規模は想像以上だ。

## 90. 第361回定例県議会が開会 防衛議員連盟総会と講演 看護連盟との意見交換

2023年02月14日

13日(月)、8時30分過ぎには登庁。9時、議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会。そして10時には2月議会恒例の議場コンサートが3年ぶりに行われた。

兵庫県芸術文化センター管弦楽団の皆さんが演奏。傍聴席には抽選で約160人の県民の皆さんが来場された。バイオリンなど弦楽器構成だったが、ビバルディやホルストの曲など4曲を演奏。アンコール曲は「ふるさと」だった。

11時、本会議が開会。会期は今日から3月20日までの36日間。今日は齋藤知事が議案の提案趣旨を説明した。長い提案だったが、いつもの少し早口のせいか、それほど長くは感じなかった。幕末の小栗上野介の言葉から始まり、最後はサッカー選手の言葉で締めくくる説明だった。

12時30分から2回目の自民党議員団総会。

1時30分から兵庫県議会防衛議員連盟の総会と講演が行われ、議連の会長として挨拶した。講演では、自衛隊兵庫県地方協力本部長の高岡久1等



陸佐から「安保3文書」について概要をお話いただいた。また、兵庫県出身の自衛官の活躍ぶりの紹介もあった。

終了後、議事課、財政当局からレクを受けた。また、統一地方選に向けたマスコミ各社合同の立候補予定者写真撮影が行われた。

午後6時から県庁近くの会場で、兵庫県看護連盟の新年互礼会

が開かれ、県議会の看護を支援する議員の会の一員として出席した。会では、地元病院の看護師さんから看護現場の生の声をきかせていただいた。今後の活動に活かしていきたい。

トルコ地震の死者数が3万5千人超と伝えられ、トルコ、シリアの広範囲にわたる被災状況が報じられている。日本からの救援部隊、医療部隊が現地で活動中だ。東日本大震災の時にいち早く救援に来てくれたトルコ部隊のことも報じられていた。日本との交流が深いトルコだけに現地の被害を案じる人も多い。日本にできることを最大限にやっていきたい。

## 91. 本会議一般質問4日目 予算特別委員会設置 ウクライナ侵略早期終結への努力を国に求める決議

2023年02月25日

24日（金）、今朝は見守りの前に県庁へ向かった。8時30分頃登庁。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会が開かれた。

10時本会議が開かれ、一般質問が行われた（4日目）。続いて、予算特別委員会の設置が決まり、20名の議員が選任された。私もその一人。議案、請願が各常任委員会に付託された。続いて、「ロシアによるウクライナ侵略の早期終結に向けた措置を求める」決議案が上程され、全会一致で可決された。G7広島サミットの議長国、国連安保理の非常任理事国として国はロシアに侵略を止め、即時撤退して1日も早い戦争終結を求める役割を果たすよう求めるものだ。ロシアによるウクライナ侵略が起きてからちょうど1年目にあたる今日、去年の3月1日に続いて2度目の決議が行われた。

本会議終了後すぐに予算特別委員会が開かれた。今日は議長、知事の挨拶と委員長、副委員長、理事の選出、委員会運営要領を

協議した。委員長には自民党の谷口俊介議員（神戸市西区）、副委員長には北浜みどり議員（神戸市灘区）が就任した。

5時30分に退庁するまで、議運委員長室で執務。当局や調査課員と打ち合わせを行ったり、予算委の質問を考えた。

今日の県下の新規感染者数は、385人だった。もうすぐ兵庫県で1人目の感染者が出てから3年が経ち、感染者の累計は145万人を超えた。ロシアによるウクライナ侵略が起きてからちょうど1年が経った。まだまだ感染症と侵略の激動の中にある。そして、トルコ・シリアの大地震。危機の真っ只中にある。両国の死者数は5万人近くになっている。

## 92. 予算特別委員会 保健医療部で質問、 看護師確保対策 など5問

2023年03月04日

3日（金）、9時前には登庁。9時30分から予算特別委員会が開かれた。

今日は福祉部と保健医療部の審査が行われ、15人が質問した。私は保健医療部で質問し、看護師確保対策、2類



相当から5類への切り替えへの対応、後遺症への対応、在宅医療「人生会議」、経口中絶薬の承認への懸念の5項目について、コロナを経験し、医療現場の現状や課題を中心に質した。

加東の事務所に戻り、明日の事務所開きの準備をした。スタッフの皆さんが今日も準備をしていただいた。明日は気合いを入れて臨みたい。

中学校へナイフを持った高校生が侵入するという事件が起きた。

平成13年（2001）の大阪教育大学附属池田小学校の事件を思い出した。あの事件以降、兵庫教育大学の附属学校園では警備員を配置した。また、刺股を使った訓練も行った。今回の事件では60歳の先生が重症を負っている。身を以て生徒を守ろうとされたのだ。犯人の高校生は人を殺したかった、と言っていると報じられている。また起きたこのような事件。もう一度、学校の安全対策を点検する必要がある。特に警察への直通ブザー。侵入者があった場合の対処など。

今日の県下の新規感染者数は425人だった。

### 93. 3年ぶりの加東山田錦乾杯まつり 加東市内で地区住民の訴えを聞く

2023年03月06日

5日（日）、今日は昨日開いた後援会本部事務所を開けるところから始まった。さっそく女性部の当番の方が来られ、男性役員と一緒に活動を開始。

9時30分、加田裕之参議院議員が来所された。今日は加東市久米地区で、地元住民の有志の皆さんからの訴えを聞かせていただいた。住民生活を脅かしているドローン練習場の案件について、加田議員と一緒に現地で問題について確認をした。

10時30分頃、加東市山田錦乾杯まつり会場のステラパークへ。昨年秋の開催がこの3月に延期されたものだ。待ちわびた日本酒ファンがすでに会場に大勢訪れていた。パークの内側に加東市産



山田錦を使った日本酒を造っている20の蔵元のブースが並び、外側には食べ物のブースや飲食スペースが設けられ、ファンは各ブースを巡りながら日本酒の味を楽しんだ。

12時からステージで樽酒の鏡開きが行われた。加東市の日本酒大使の吉田類さんも参加し、関係者が鏡を割り、振る舞い酒の代わりに小瓶が100名に配られ、全員で乾杯を行った。空は晴れ、美味しい日本酒の味を楽しみ、交流する。まさに山田錦乾杯まつりの笑顔が溢れた会場だった。

午後2時には、社の事務所で、ポスターの打ち合わせや後援会役員さんと打ち合わせを行った。夕方まで県政報告や選挙公報の原稿作成を行った。

明日は予算特別委員会。公安で質問を予定している。今日の県下の新規感染者数は374人だった。2夜続けて、南海トラフ巨大地震の番組を視た。

## 94. 予算特別委員会 公安委員会審査で質問

2023年03月07日

6日(月)、9時前に登庁。9時30分から予算特別委員会が開かれた。今日は、午前に産業労働部・労働委員会、午後に公安委員会の審査が行われ、それぞれ7人が質問した。私は公安委員会審査の一番最後に質問に立ち、通報機付GPS端末による被害者の人身保護対策について、信号灯器のLED化の推進についてなど5問について質した。

加東に戻り、加東市商工会の初代会長の藤井悦治さんの通夜式に参列した。初めての県議選出馬の折りに「教育のことをしっかりとやってほしい」と仰ったことを忘れることはない。

その後は事務所で選挙事務について後援会役員さんと打ち合わせを行った。明日は農林水産部、環境部の審査でそれぞれ質問予

定だ。

## 95. 予算特別委員会 加東市経済懇話会

2023年03月08日

7日(火)、今日も予算特別委員会が開かれた。9時には登庁し、9時30分から委員会が始まった。

今日は農林水産部、環境部の審査が行われ、私はそれぞれで質問に立った。農林部では、県産酒米を使った日本酒の輸出戦略や環境創造型農業などについて4問、環境部では、野生鳥獣被害対策やカーボンフットプリント事業など4問について質問した。

午後6時前に加東市経済懇話会に出席した。3年ぶりの開催とあって交流会では話が弾んだ。その後、事務所で選挙事務の書類づくりなどを行った。

予算特別委員会の部局別審査も残り少なくなった中、昼に自民党議員団の総括審査の協議が行われた。私も教育委員会での質問を残すのみとなった。

今日の県下の新規感染者数は341人だった。今日、残念なニュースはH3ロケットの打ち上げ失敗だった。期待が大きかっただけに落胆。

## 96. 予算特別委員会 教育委員会の審査で質問

2023年03月10日

9日(木)、8時30分過ぎには登庁。9時30分から予算特別委員会が開かれた。今日は教育委員会と病院局の審査が行われ14人が質問し、私は教育委員会で質問に立った。

午後1番からの質問となり、ひょうご不登校総合対策、県立学校環境充実事業、特別教育支援センターの移転、県版道徳副読本の効果的活用について、の4問を質した。これで予算特別委員会

での部局審査が終わり、13日に総括審査と表決が行われる。終了後は議運委員長室で執務。

午後5時30分から自民党県連で行われた選対会議に出席した。選挙が近づいている。加東市選挙区でも対立候補の動きがありそうだ。

ウクライナではロシア軍の猛攻が続き、バムフトが陥落しそうだ。バムフトの破壊された建物、市街戦の生々しい戦闘のようすがテレビに映し出される。現実はこの街でウクライナ兵は侵略者と戦っている。領土、主権、独立を守るとは、こういうことなのだという現実を突き付けられている。日本もウクライナを侵略しているロシアに北方領土を侵略されたままだということを忘れてはならない。

### 97. 3. 1 1 ふじもと百男県政報告会・自民党講演会 —佐藤正久参議院議員の講演に涙

2023年03月12日

11日(土)、今日は東日本大震災から12年目。午前8時から行われた全日本少年軟式野球大会の加東市予選の開会式でも冒頭に犠牲者への黙祷が行われた。

午後1時から、やしる国際学習塾L.O.C.ホールで、藤本百男県政報告会・自民党公開講演会・加東支部総会が行われ、県政報告会の冒頭でも黙祷が行われた。



会場には約350名の来場者があり、安田正義後援会長の挨拶

に続いて、来賓の岩根正加東市長、藤井ひさゆき衆議院議員、末松信介参議院議員、加田裕之参議院議員、高瀬俊介加東市議会議長からご挨拶をいただいた。また、公開講演会講師の佐藤正久参議院議員も報告会から出席された。



私は、県政報告で、初心「まほろば with」を貫いて、4期16年間の県会議員活動を支えてくださった皆さんに感謝を申し上げ、ふるさと創生運動としての「まほろば with」の意義や危機と転換の時代の今、「まほろばづくり」から見た加東、兵庫の現状と課題を挙げて、皆さんと一緒に（with）に、引き続き、県と市の協調でふるさと加東の将来のために5回目の県議選挑戦への決意を表明した。ちょうど、今朝（11日）の神戸新聞朝刊北播版に出馬表明の記事が掲載されたところだった。最後に会場の皆さんと一緒にガンバローコールで締めくくった。

10分の休憩の後、2時から「危機に立つ日本を守りぬくために」の演題で、佐藤正久参議院議員が講演した。

福島県出身の佐藤議員は3.11東日本大震災における自衛隊の活動にふれながら、日本を取り巻く国際情勢、とりわけロシア、中国、北朝鮮の3つの独裁軍事国家に直面している危機の状況や、侵略者ロシアに対してウクライナ国民が戦っている状況などを映像で紹介しながら、自分の国は自分で守っているからこそ、世界がウクライナを支援しているこ



とを強調された。世界の若者の意識調査で、戦争が起きたら自分の国を守るために戦うと答えた若者比率がだんとつに低い日本の現状を示し、そこにこそ危機があることを指摘された。講演を聴きながら、私は同じ調査結果に基づき、「主権意識を高める教育」の必要性を昨年9月県議会で質問したので、大いに同感だった。最後に東日本大震災の大津波の中で亡くなられた犠牲者の話を紹介された。会場では涙を拭う人が少なくなかった。

3時15分から、同会場で、令和5年自民党加東市支部総会が行われた。県議選の勝利など活動方針、新役員体制などを決定した。終わったのは午後4時だった。

長い一日だったが、これからの県議選へ向けて団結の節目になった。対立候補の動きがある中、陣営の態勢を引き締め、強化して選挙戦に臨んでいく。

今日発表の県下の新規感染者数は341人だった。来週月曜日からはマスク着用も個人判断となる。議会もそうなる。

## 98. 社中学校の卒業式ーコロナ禍の3年間を乗り越えて 自民党と各種友好団体との意見交換会

2023年03月16日



15日(水)、今朝も朝の登校見守りに立った。6年生は4月から中学生だ。今日は加東市内の中学校の卒業式が行われた。私は社中学校の式に出席した。まだ縮小すなわち式次第のいくつかを省いたり、来賓を限定したりしているものの、ほぼコロナ以前の式に近い形で行われた。

今年は132人が卒業。マスクをつけて入学し、すぐに緊急事

態宣言。それからの3年間はまさに新型コロナウイルス感染症との闘いの中の中学生生活だった。修学旅行が初めての宿泊を伴う行事だった、とは答辞の中で語られた言葉だ。それでもコロナ禍をみんなの協力、団結で乗り越え、思い出深い中学生生活を送ってきた。そんな卒業生の前途に幸あれと心から祈った。

11時、社中をあとにして、県庁へ。もう春の陽気だった。午後は1時から昨日に続いて、自民党と各種友好団体との意見交換会が行われ、午後の部の7団体との意見交換に出席した。歯科衛生士、技工士、柔道整復師、専修・各種学校、薬剤師、私学。終了後、市内で教育に関する意見交換会に出席し、神戸を出たのは6時30分過ぎだった。

明日は常任委員会、議運、本会議、各会派代表者会議が開かれる。選抜大会が近づいてきた。18日に開会式、20日に社高校が第一試合で長崎海星高校と対戦する。本会議と重なり甲子園に応援に行けないのが残念だ。応援バスは午前4時40分に出発するとのことだ。

## 99. 後援会本部役員会 加東市選挙区に維新候補 選抜大会開会式で社高校堂々の入場

2023年03月19日



18日(土)、朝になっても雨が降り続いた。今日は選抜大会の開会式だが、時間を遅らせて開会するとのことだった。

神戸新聞朝刊に県議選加東市選挙区に維新の候補

補が立候補を表明した記事が載っていた。ちょうど今日は後援会

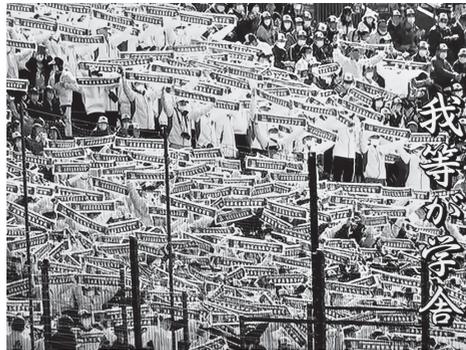
本部役員会が開かれることになっていたので、対応も含めてタイミングが合った。

午前髪を切ってもらい、すっきりした。午後2時から本部事務所で役員会。各係から準備状況の報告があり、今後の予定などを協議した。

甲子園では第95回選抜野球大会の開会式が行われ、19年ぶり、そして去年の夏の大会に続いて、県立社高校が出場し、堂々と入場行進を行った。20日の試合は本会議のために行けないが、何としても勝って、2回戦に進んでもらいたい。19年前の快進撃で、甲子園で校歌を歌った感激をもう一度。

## 100. 第361回定例県議会が閉会 選抜大会—社高校初戦で敗れる、「覇」は夏に

2023年03月21日



20日(月)、朝の登校見守りに立った。今日は選抜大会3日目。社高校が第一試合に出場するが、本会議のために甲子園での応援は叶わず、せめて、応援ウィンドブレーカーと帽子を身につけて子ども達の登校を見守った。

10時からの議会運営委員会が始まるまで応援した。その後の展開、結果は、本会議が終了してから知った。5-1で海星高校

(長崎県)に破れた。1回戦に勝って2回戦で応援という計画はこの時点で消えた。この悔しさをバネにして夏にはその勇姿を再び甲子園で見ることができるようしてくれることを期待するばかりだ。

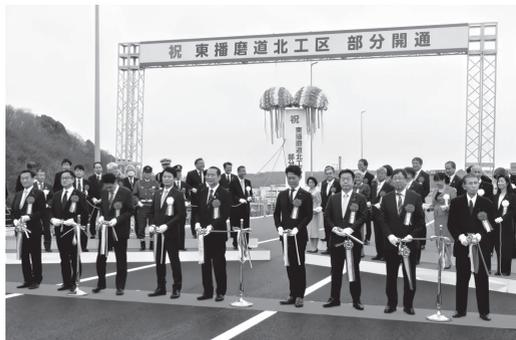
さて、県議会は4年度、5年度補正予算、監査委員、収用委員の同意人事案などを可決。また、意見書9件を可決し、36日間にわたる2月議会が閉会した。終了後、勇退議員11人を送る会が行われた。次は、選挙後に議場で相見えんことを誓って別れた。

午後、議運委員長室で整理や来客対応をし、午後4時前に退庁した、加東に戻り、後援会役員さんらと打ち合わせや明日の東播磨道開通式や通信制高校の卒業式などの予定を確認した。今日、甲子園に応援に行った役員さんもあったが、疲れも見せず、準備にあたっていただいた。いよいよ選挙に向かって最後のダッシュだ。

## 101. 東播磨道部分開通 KG学院高校卒業式 WBC逆転勝利 岸田首相キーウ訪問

2023年03月22日

21日(火)、春分の日の下、朝から曇り空の下、玄関に国旗を揚げた。そして、朝のうちに妻と二人で墓参りをした。帰省しない子や孫と一緒にリモート墓参りをした。



10時過ぎには加古川市八幡町の東播磨道八幡三木ランプへ。今日は八幡稲美～八幡三木ランプ間2.5キロが部分開通し、その式典と通り初めが行われた。齋藤知事、地元関係市長、国会議

員、県会議員、市町議会議員、国交省、県民局、土木事務所、企業関係者らが出席した。北工区は国道175号までの工事区間を残しており、令和7年度の開通をめざしている。

午後1時には、西脇市内のホテルで行われた通信制のKG学院高等学校の兵庫北はりま・ひかみキャンパスの卒業証書授与式に出席し、お祝いを申しあげた。今年は32名の卒業生が巣立っていった。

午後は雨が降りはじめ、本降りになった。後援会事務所と議員事務所を往き来しながら作業を行った。23日(木)に新聞折込予定の県政報告紙を折っていただき、来所された方に持って帰っていただいた。

開通式の式典が終わり、テープカットとくす玉開きが行われる間に、アメリカで行われていたWBCの準決勝の結果が出た。劇的な逆転で日本がメキシコを破り、決勝へとこまを進めた。逆転打を放ったのが不振にあえいでいた村上だったので、一層感激が大きかった。

もう一つ、夜のニュースでインドを訪問していた岸田首相がウクライナを電撃訪問したことを知った。G7首脳会議の議長国としてウクライナ訪問は岸田首相の念願だったが、インドから直接とは。しかし、ひょっとしたら、という予想はあった。戦争犯罪の罪で逮捕状が出ているロシアのプーチン大統領を中国共産党の習近平主席が訪問している時にキーウを訪問しゼレンスキー大統領と会談した岸田首相。ビッグニュースだった。

## 102. 「まほろばwith」の初心貫き、5期目に挑戦、市内各所で街頭演説

2023年04月01日

31日(金)、加東市社の佐保神社で必勝祈願を行い、午前9

時前から社市街を選挙カーで回って立候補の第一声を上げた。

10時から社の事務所前で出陣式に臨んだ。岩根加東市長、高瀬市議会議長の応援演説に続いて、立候補の報告と5期目に向けた決意、取り組む課題を述べ、まっとうで、まじめな地方政治を訴えた。

11時から、滝野地域（河高交流センター前）、午後1時から東条地域（とどろき荘前）で街頭演説。

ここでは、衆議院議員の藤井ひさゆき氏の応援演説や後援会役員、地元市議の応援演説をいただいた。

その後は選挙カーで東条地域、鴨川地域を中心に立候補の報告、挨拶に回り、午後5時から上鴨川公民館前で街頭演説。地元市議、参議院議員の宮崎雅夫氏の応援演説もいただいた。各所とも多くの支援者の方から激励をいただき、感謝と責任の重さを全身に感じた。その後は、三草地域、社地域を街宣して回り、午後8時には事務所に戻り、初日の戦いを終えた。

今日から9日間の選挙戦。滑り出しは予定通り進めることができた。これも支援して下さる多くの皆さんのお蔭。「頑張れ、百男」の声に励まされ、明日からの戦いをしっかり進めていきたい。明日は午後5時から上田地区公民館前で街頭演説の予定。



## 103. 県議選2日目

### —桜満開の市内を遊説、上田公民館で街頭演説

2023年04月02日

4月1日（土）、県議選の2日目。午前8時に遊説のために事

務所を出発。社市街から米田地域、東条地域、山国地区、福田地域、滝野地域の高岡、河高、下滝野、上滝野を遊説して回った。田や畑に出て作業中の人、玄関先に出てこられて手を振ったり、握手して激励して下さる方々に励まされた。



市内各所の桜が見事に満開し、花見の人々の姿があった。千鳥川沿いの桜堤は延々と続き、今年は特に見事な景色だった。途中、休憩で立ち寄った畑の朝光寺では、枝垂れ桜の前でガッツポーズ。また、西日本最長級の東条川沿いの桜並木は、これも見事な景色が続いていた。とどろき荘前の桜の下では、ハーモニカグループの皆さんがお花見。また、「とどろきカフェ」で出演された南京玉すだれのグループの皆さんと記念写真も。華やかな衣装と桜をバックに満開の笑顔だった。夕方5時から、福田地区の上田公民館駐車場で街頭演説。この時間帯となると、肌寒い北風が吹いてきたが、皆さんが熱心に聴いていただきありがたい思いだった。

ところで、各所を回っていると、選挙ポスターの公営掲示板に私のポスターしか貼られていない所が目立つ。ポスターは、選挙にどんな人が立候補しているかを有権者に知らせる大切なもの。顔と名前、主張などが一目で判るように候補者は工夫するものだ。税金で賄われているのも選挙の大切な判断材料となるからである。しかし、2日目になっても掲示板に貼られていないということは、判断材料が提示されていないということだ。「無投票は投票の機会が奪われている」「選択肢をつくる」ために出馬した人が、その大切なポスターを2日目になっても貼っていないということは、

選択肢を示していない、ということになり、有権者の投票権を軽視、無視した矛盾した態度だと言わざるをえない。市内でお会いした有権者の中には、今度も無投票だと思っておられる方があった。これは、有権者に誤った情報を示していることになり、欺く行為だともいえる。また、「身を切る改革」を掲げる政党が、税金で賄われているポスター、ポスター掲示板、その設置費用を無駄にしていることについて、政党として、どう説明するつもりなのか。いずれにせよ、1日目は黙っておこうと思ったが、2日目になっても、市内多くの掲示板にポスターが貼られていない、という事実には黙っておれなくなった。

私は、「地方の政治はまじめでまっとうな政治でなければならない」「政治は国民、県民、市民のためにある」「国政政党の党勢拡大のためにあるのではない」と思っている。明日は3日目。明日も遊説をして回り、午後5時から米田地域の上久米公民館前駐車場で街頭演説を行う予定。加東市消防の出初式には現職の県会議員として出席する予定。

## 104. 加東市消防出初式 県議選3日日元気で市内を遊説

2023年04月03日



2日(日)、県議選3日目の今日、やしろ国際学習塾L O Cホールで加東市消防出初式が行われ出席した。好天に恵まれ、市内各地は満開の桜を楽しむ人々にぎ

わった。朝8時から、午後8時まで市内をくまなく遊説し、街頭

で「まほろば加東・兵庫」実現を訴えた。写真は朝の佐保神社境内の親子桜の前でのポーズと出初式のようなす。

天気はよいが、肌寒い風が吹き続けた一日だった。選挙カーの窓を開けて手を振りながらの遊説では、顔に冷たい風が吹きつけた。夕方、上久米公民館での街頭演説では、出初式に出席していた消防団員の教え子も聴いてくれた。東条地域でも陶芸をやっている教え子に、滝野地域でも懐かしい教え子に出会うことができた。

今日は事務所に同僚県議が応援に駆けつけてくれた。2人ともすでに無投票当選をしており、県内各地で戦っている仲間の応援に回っている。

明日4日目も市内を遊説して回り、夕方5時から上三草公民館駐車場で街頭演説を行う予定だ。

## 105. 県議選4日目

### 三草ふれあい広場の「三草フットパス」の取り組みも

2023年04月04日

3日(月)、県議選4日目。今日も好天の下、桜満開の加東市内を遊説して回り、夕方には上三草公民館駐車場で街頭演説を行った。(写真は、桜満開の鴨川の郷で)。

朝8時、スタッフの見送りを受けて事務所を出発。社市街地から、上福田地域、鴨川地域を遊説。さらに米田地域、滝野地域を回った。午後には滝野地域から上福田地域、福田地域、社市街地を遊説した。今日は、自民党県連の宣伝カーも加東市内を街宣して回った。



街頭演説では、多くの方に聴いていただくことができた。農業、教育、産業振興、人口減少問題などについて、これまで取り組んできたこと、今後の課題にふれながら、県議会議員として引き続き課題解決に全力を注いでいく決意を表明し、支持をお願いした。

遊説中、「農作業中の男性から農業の重要性をしっかりと政治の場で訴えてほしい」、「知らない人に代表を任せるわけにはいかない」などの声をいただいた。また、孫と散歩中の同級生、休憩中の選挙カーが見えたと近くの家から出てきてくれた教え子、また、教え子のお母さんなど多くの方から励ましの言葉をいただいた。中には、県議会の会派情勢や選挙後の県政の見通しについての心配の声もあった。

「三草フットパス」の取り組みを推進中の三草ふれあい広場が作成されたばかりのパンフレットをいただき、豊かな自然と、歴史文化遺産を歩いて巡る、フットパスの新たな観光振興の取り組みについても紹介した。まさに「まほろばwith」、地区住民自身のふるさと磨き、まちづくり、次代に繋ぐ大切な取り組みといえる。

明日4日（火）は、市内を遊説し、午後5時からJAみのり東条支店駐車場で街頭演説を行う予定だ。

## 106. 県議選5日目 今日好天、市内遊説で激まされる

2023年04月05日

4日（火）、県議選5日目、前半戦から後半戦へと入った。今日も好天で、長持ちしてきた桜も青空の下で花吹雪となって舞う景色が



見られた。

今日は社地域、福田地域を遊説し、午後は米田地域から東条東地域を遊説した。夕方5時から、みのりJ A 東条支店駐車場で街頭演説を行い（写真）、その後は東条西地域を遊説した。夜の選対本部会議では、選挙の情勢分析や後半戦の取り組み等について協議を行った。

今日の遊説では、多くの支援者から期日前投票に行ってきたよ、との励ましをいただいた。明日から天気が下り坂との予報もあり、春の農作業を行う人や桜を楽しみながら歩く人が多く見られた。

5日目ともなると、各地区内の細い道まで選挙カーで回り、支援を訴えた。選挙カーの運行を援助していただいたり、地区内道路の問題について改善要望もいただいた。また、小学生の頃の先生や教員時代の教え子のお母さん、同級生からも激励をいただき、ありがたい気持ちでいっぱいになった。手を握り、しっかりやってよ、体に気をつけてな、との言葉に元気が湧いた。

明日から後半戦。毎夕の街頭演説も続けるが天気が心配だ。毎日多くの方とお出会いし、任せたぞ、負けるなどの激励をいただき、やる気は日に日に高まる。

## 107. 県議選6日目 雨の中、遊説、街頭演説

2023年04月06日

5日（水）、朝から曇っていたが、午後には雨が落ち始めた。3時頃には雨となり、その後、一旦止んだが、5時10分頃には、再び降り始めた。県議選になってから初めての雨の日で、市内各所の桜も散っていった。

今日も市内を遊説。社地域、滝野地域、上福田地域、鴨川地域、東条地域を回った。午後5時から、新定公民館駐車場で街頭演説を行った。雨にもかかわらず多くの方が演説を聴いて下さった。

その後も東条地域を遊説し、社へ戻った。

今日の遊説では、雨が降るなか、玄関に出てきていただき、励ましていただくことが多く、感謝の思いでいっぱいだった。何度も選挙カーで回



ってやっとお出合いできた時は、本当に嬉しさが込み上げた。また、平成19年の初出馬の時以来、支援していただいている方から、16年ぶりの選挙戦になった今回も再び熱い励ましの電話をいただくなど、そうした一言一言に元気づけられた一日だった。そして、「もう期日前投票に行ってきたで」「入れといたで」のお声が何よりも嬉しい激励になった。

今日、選挙公報が届いた。私は、「まほろばwith」の合言葉と、加東と兵庫の「まほろばづくり」の具体的な課題と取り組みについて訴えた。政治は国民、県民、市民のためにあり、まじめで真つ当な地方政治を行っていくことが大事だ。党勢拡大の場といった政党の都合が優先するような政治はだめ。選挙で有権者からの負託を受けて、4年間、加東市選出の県会議員として県議会場で議員としての責任を全うするのが議員の責務。そこに有権者との「信」が成り立つ。政党の思惑で、県議会では、任期途中で首長選や国政選挙に転身するといった例が相次いだが、それは有権者から負託された県会議員としての責任を全うしたとは言えない。

明日は、7日目。市内遊説と午後5時から上滝野公民館駐車場で街頭演説を行う予定だ。

## 108. 県議選7日目

### 遊説で激励の声援に元気百倍 上滝野で街頭演説

2023年04月07日

6日（木）、県議選も終盤に入り、曇天の下、加東市内を遊説して回った。

予定されていた東播磨グラウンド・ゴルフ協会の総会は昨夜の雨の影響で延期になった。社地域、米田地域、滝野地域、福田地域、上福田地域を遊説して回った。遊説中、各所で手を振



っての応援、玄関先に出てきての声援、「もう投票してきたで」との声を掛けていただいた。教員時代の生徒や保護者の方との久しぶりの出会いが多くあり、子どもさんの現況などに話が弾み、嬉しく、勇気づけられた。

福田地域を中心に田圃ではもち麦が栽培されており、緑の穂が風に揺れて波打っている景色が美しかった。兵庫県と加東市では、もち麦の特産地をめざしており、食と健康づくりで農業振興に取り組んでいる。

午後5時から上滝野公民館駐車場で街頭演説を行った。雨が降ってきたので急遽、公民館内へ移動して、多くの皆さんに選挙公報の内容などを中心に県政、地方の政治のあり方について思いを訴えた。

その後も雨の中、8時まで社市街を中心に遊説を続け、7日目を終えた。反省会が終わってから妻と二人でスーパーに買い物に。選挙が始まって一週間が経ち、食料品を買い込んだ。残り2日を全力で戦い抜き、真っ当でまじめな地方政治、選挙を貫いていき

たい。

## 109. 県議選8日目 風雨の中、市内を遊説

2023年04月08日

7日(金)、県議選も終盤の8日目。深夜から激しい雨が降り、ほぼ一日中雨になった。昼前後には、激しい風雨となったが、選挙カーで市内を遊説して回った。社地域北部、上福田地域、鴨川地域、東条地域、福田地域、滝野地域とほぼ全域を回った。写真は河高での街頭演説、清水寺登山口での選挙カー。



午後5時から滝野にぎわいプラザ前の道路で街頭演説を行った。雨にもかかわらず、多くの方が傘をさして熱心に聴いて下さり、熱い励ましの声をいただいた。

3月31日の告示以来、事務所のある社での出陣式を皮切りに全(9)小学校区で街頭演説を行ってきた。選挙カーでの遊説も各地区6,7回以上回って有権者の皆さんに「まほろばwith」を訴えてきた。いよいよ明日は選挙戦最後の日。全域を回り、「まほろば加東と兵庫づくり」を力を振り絞って訴えていきたい。

雨の中の街宣中、わざわざ傘を差して表に出てきて下さる方が少なくなき、本当にありがたい思いで手を握って感謝を申し上げた。また、遠くの家窓から、庭から手を振って応援をしていることを伝えて下さると、その思いにしっかり応えていかなければとの思いで感謝の声をお返りする。16年前の初回の選挙で応援して下さいた場面が蘇ってくる方や今は亡き方との思い出の場面

が浮かんでくる時もあった。懐かしい教え子の保護者の方との出会いもあった。

こうして市内をくまなく回っていると、そこにある風景や人々の顔や営みが一つのものとなって心に焼き付いていることを実感する。これが我がふるさと加東だという実感だということを再認識した。

集落内の細い道の脇にぽつんと立っている道標にも歴史ブログに掲載した懐かしさが湧いてくる。一方で、新しい住宅地や工場などの開発地、もち麦の青い穂が風に揺れる一面の田、どこまでも続く獣害除けの柵、新たに作られたミニ獣害ベルト等々、ふるさとの新しい姿や課題との出会いもある。

こうしたふるさと加東の現状を目に焼き付け、皆さんの声を聞き、県政の推進に活かしていくのが選挙区選出の県会議員の大事な役目と自覚を深めることができた。何としても当選を果たし、ふるさと加東に尽くしたいとの思いを強くした。

## 110. 県議選9日目

### 市内遊説の仕上げ 小1の恩師からも応援

2023年04月09日

8日（土）、今日は県議選の9日目、最終日だ。8時に支援者の見送りを受けて事務所を選挙カーで出発。社市街、嬉野、東条地域を遊説し、11時から天神市街を歩いて最後の訴えをした。その後は米田地域、社地域、滝野地域を遊説。午後2時30分から上滝野から下滝野へ



旧道を歩いた。その後も滝野地域を遊説し、午後4時から社市街を歩いて遊説。午後6時には、商工会館で行われた加東市商工会青年部の通常部員総会に出席してご挨拶を申し上げた。午後7時30分まで社地域を選挙カーで遊説し、9日間にわたる選挙活動を締めくくった。

今日は8日間できまなく、何度も回った市内のうち、まだ行っていない道にも選挙カーを進めた。その一つ、写真は、加東市松沢の東条川疏水、曾根サイフォンの水管の下をぎりぎりでくぐる際のもの。広い加東市ではあるが、こうしてじっくり回ってみると、狭くも感じた。集落内の細い道にも入った。選挙カーが入れる所はどこも回った。多くの方々と出会い、握手し、話し、あるいは手を振って支援へのお礼を返した。

そして、毎日街頭演説を行った。各小学校区の公民館の駐車場、道路で「まほろば加東、兵庫」づくり、真っ当でまじめな地方政治の実現を訴えた。初心を貫き、4期16年の県会議員としての経験を、ふるさと加東、兵庫のさらなる輝きのために活かす。そのために5期目を目指した。後援会、自民党支部、同級生、各種友好団体等々、多くの支援して下さった方々のお蔭でこの選挙戦を戦いぬくことができたことに心から感謝し、選挙戦を締めくくった。

下滝野市街を練り歩きをしていると、社小学校1年生の時の担任の先生が玄関先に出て私を応援して下さいました。名前を呼んでいただき、「がんばりよ」と励ましの言葉をかけていただいた。心は63年前に戻り、「はい」とお答えした。本当に嬉しかった。出会いたかった多くの人に出会えた今回の選挙戦。明日は投開票日だ。

## 111. 5回目の当選 まほろば加東・兵庫の実現へ決意新た

2023年04月10日

9日（日）、県議選の投開票日を迎えた。天気は上々で、11時頃に投票所の社小学校へ。体育館は10日（月）の入学式の準備がなされていた。立会人の人に挨拶をして投票。もちろん、「ふじもと百男」と書いた。投票所で出会った知人からも「ちゃんと書いたで」と笑顔の言葉を貰った。



今日は自宅で体を休めるとともに資料などを整理した。2月議会、予算特別委員会と、2月はじめからほぼ2ヶ月間、議会があるなかで選挙準備をしてきたので、その間の資料が未整理のままだった。

午後10時前に事務所に呼ばれ、後援会の当選確実の判断のもと、勝利報告会が開かれた。会場には、岩根加東市長、藤井衆議院議員、市議会議員はじめ、今回の選挙戦を支えてくださった後援会、自民党加東市支部、各種団体、同級生、支援者ら多くの方々が駆けつけて下さっていた。

16年ぶりの選挙戦になった今回の選挙では、3月に入るまで対立候補の名乗りが無かったが、準備だけは、年明けの1月から周到に進め、2月19日に選対本部設立総会、3月4日に後援会本部事務所開き、3月11日に県政報告会・自民党公開講演会の開催と、いつ選挙戦になってもいいようにしてきた。

対立候補の姿が現れたのは、3月10日の立候補書類の予備審査だった。調べてみると、芦屋市在住で、日本維新の会の公認を受けているという情報だった。芦屋市在住？、今頃になって？と疑問は次々と湧いた。

今回の選挙は、有権者の皆さんに4期16年間の議員活動の評価をしていただく機会であると受け止めていた。9日間、選挙カーでくまなく市内を巡り、各小学校区での毎日の街頭演説を重ね、「まほろばwith」で取り組んできた政策や課題を徹底して訴えるとともに皆さんの声を聞くことに全力を注いだ。

何度も何度も各地域を回るなかで、加東市のもつ豊かな自然、歴史、文化を再認識するとともに、進捗中の道路整備、河川改修、ため池工事、県立公園整備、野生獣害対策等の現場を確認し、危険な箇所や交通渋滞箇所などを確かめることができた。そうした進捗中の事業の促進、課題解消こそが5期目の自分の仕事だと自ら受け止めることができた。

政治は国民、県民、市民のためにある。とりわけ地方政治は人々の暮らしに直結しているが故に、真っ当でまじめなものでなければならない。決して政党の勢力拡大、都合のためにあるのではない。そのことを肝に銘じながら5期目を「まほろばwith」の実現に向けて皆さんとともに邁進していきたい。

今回の選挙結果は、投票率は36.98%、投票総数11,670、無効票187、有効投票11,483。ふじもと百男8,979票、北西ひでゆき2,504票だった。

## 112. 当選証書付与式 東条学園小中学校、社高校入学式

2023年04月11日

10日(月)、当選から一夜明けて、朝、久し振りに登校見守りに立った。やはり、朝は子ども達と「おはよう！」の挨拶をす



るのが元気の源だ。

9時過ぎには、東条学園小中学校へ。3回目の入学式に出席した。9年生（中3）が64名の新1年生の手を引いて式場に入場。担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、元気に立って返

事をしていた。

11時、加東市役所で選挙管理委員会から当選証書を付与された。井村委員長から県民の負託に応えるよう責任をもって職責を遂行してほしいとの言葉をいただいた。また、同席された岩根加東市長からも加東市発展のために県市連携の役目を期待しているとの言葉があった。

午後1時から、県立社高校の入学式に出席した。1日に着任された中井修校長と挨拶。体育館で生活科学科、体育科、普通科の3科6クラス240名の入学式が行われた。今年は創立110周年の年にあたる節目の年でもある。

午後3時前から、午後から始まっている事務所の撤去作業に加わった。3月4日から1ヶ月余り後援会本部として、選挙戦の本部となった事務所は夕方には元通りの静かながらんとした部屋に戻った。9日間乗り続けた選挙カーから看板が取り外され、自動車屋さんに返された。片付けは事務長はじめ、補佐の役員さん、議員事務所のスタッフらでテキパキと行われ、午後6時にはほぼ片付いた。これからは、残る事務処理が進められる。

選挙戦の結果、県議会の会派構成に大きな変化が起きた。自民党は過半数に届かず、維新の会が4名から21名へと大幅に人数を伸ばした。自民、県民連合、共産は現職の落選等で議席を減らした。新議会の準備がさっそく始まる。12日にはその会議が予

定されている。

## 113. 岸田首相を狙ったテロ 上滝野シニア・クラブ総会

2023年04月16日

15日(土)、10時30分から加東市上滝野地区公民館へ。シニアクラブの総会が行われ、ご挨拶を申し上げた。若い世帯が多く住む加東市内でも人口の多い地区だが、シニアクラブ会員は減少傾向にあり、活性化していきたいという会長さんの話だった。

昼前のテレビニュースの映像にびっくりした。衆議院議員の補欠選挙の応援演説で和歌山県を訪れていた岸田首相が暴漢に襲われた場面だった。白煙と爆音、警察官等に取り押さえられる犯人、警護のSPが防護板のようなものでかばいながら岸田首相をその場から避難させている。その場の緊迫したようすが何度も画面に流れた。奈良県で安倍元首相が銃撃を受けてからまだ一年が経っていない。そんななか、また同じような事件が起きた。幸い岸田首相は無事だった。しかし、もし、あの白煙をあげたパイプのようなものが殺傷能力のある爆弾だったら、と思うと演説を聴きに集まっていた多くの人も決して無事ではなかったはずだ。

白昼、政治活動中の政治家を狙ったテロが起きてしまった。G7サミットや大阪関西万博などの会合やイベントを控えている今、テロをどう防いでいくのか。3月の県議会予算特別委員会でも質問したばかりだ。それにしても、逮捕された犯人は兵庫県の川西市に住んでいるという。今は黙秘しており何もわからないが、犯行の動機、背後関係の有無などが気になる。地面に押さえ込まれた犯人のマスク顔が安倍元首相を撃った犯人の顔と重なって見えてしまった。

## 114. 佐保神社春祭りで湯立神事

2023年04月17日

16日(日)、昨日とは打って変わってよく晴れた。午前には予定されていた河高地区の運動会は、昨日の激しい雨で中止連絡が入っていた。



午後1時から加東市社の佐保神社では、春祭りの湯立神事が執り行われた。境内では、参拝の方々から当選を祝福する言葉をいただいた。3月31日の告示の朝、佐保神社で必勝祈願をし、第一声はこの佐保神社から出発した。境内で、宮司さんに当選の報告とお礼を申し上げた。

その後、市内を回った。加東の野山は一気に新緑に包まれ、10日余り前の選挙中に各所で見た桜から淡い緑へと装いを変えた。もち麦の穂も風にゆれていた。午後遅く、天気が不安定になり、黒雲とともに雨が降ったりした。

今日から統一地方選の後半が始まった。県内では、姫路、明石、芦屋などの市長選、小野市、三木市などの市議選に目が向く。

## 115. うれしの学園生涯大学入学式 加東市商工会女性部総会などで挨拶

2023年04月19日

18日(火)、午前10時から加東市下久米の県立嬉野台生涯教育センターで行われた県の地方高齢者大学「うれしの学園生涯大学」の入学式・開講式に出席し、お祝いを申し上げた。今年は4年制23人、大学院コース3人が入学した。

午後2時から加東市社の加東市商工会館で行われた第17回加東市商工会女性部通常部員総会に出席し、ご挨拶を申し上げます。令和5年の新役員体制、事業計画などが決まり、活躍が期待される。



夜は午後6時からみのりJ A本所で行われた加東ライオンズクラブの例会に出席した。久しぶりの会食も行われた。

今日は、入学式や総会、例会などが集中した一日だった。その間に県立教育研修所内に移転してきた県の特別支援教育センターに寄ったり、加東警察署を訪れ、地元案件について説明し対応を要望した。

ところで、岸田首相を襲撃した犯人は、国の選挙制度や既存政治家に対して不満を持っていたと報じられている。それが、今回の自作パイプ爆弾による襲撃につながったのかどうかはまだ分からない。

## 116. 新議会に向けて、県議会自民党会派が一つの会派に

2023年04月20日

19日(水)、11時前に登庁。教育委員会の特別支援教育課長に相談業務などについて現状を聞いた。その後、自民党議員団総会に出席。自民党会派の合同についての会派間協議について協議。

午後1時30分、県公館で開催された県スポーツ協会会長・理事長会に県ソフトボール協会会長として出席した。

途中で退席し、自民党2会派の合同議員総会に出席した。この総会で、新議会に向けて、2会派は合同することが決まった。名称や人事などはこれから検討を進める。

2年前の県知事選挙をめぐって2会派になった自民党の議員団だったが、今回の県議選の結果や合同を望む友好団体の声などを踏まえ、新議会が始まるこの機に自民党として一つの会派にすることが決まった。

これまで、自民党兵庫県連所属の県議会議員として県連組織、国政選挙や県連主催の諸行事などは行動を共にしてきており、議会における会派が自民党議員団と自民党兵庫議員団の2会派がある状態を解消し、新議会から一つの会派にするというものだ。

明日20日には、県議会の新議会設立準備世話人会が開かれる。この会議に新議会の会派構成を届ける必要があり、間に合わせたものだ。

夕方、加東に戻り、事務所スタッフと打ち合わせ。その後、来所の方からの相談を受けた。

アフリカのスーダン国内の内戦激化の対して、邦人救出のために自衛隊機を派遣することに決まった、との報道があった。停戦のタイミングに合わせて救出するためだという。アフガニスタンではタイミングが遅れたので、今回の素早い対応で成功することを祈る。

## 117. 新議会世話人会設立準備会、三草ふれあい広場総会

2023年04月21日

20日(木)、12時頃に登庁。1時30分から新議会設立準備世話人会が開かれ出席した。耐震診断の結果、南海トラフ級の地震で倒壊の危険性があるとされた現在の議会棟の使用を止め、3号館7階の大会議室に臨時議場を設け使用することに各会派の

意見がまとまった。次に新議会における各会派の現時点での人数構成が発表された。自由民主党・兵庫議員団37名、維新21名、公明党13名、県民連合9名、共産党2名、無所属4名の計86名。この人数を基に新議会の委員会構成など諸準備が始まる。代替議場の議席案も示された。

その後は議運委員長室で執務した。来室者が相次いだ。新聞社、元議員、同僚議員などだ。県議選の結果や新議会の話題などだった。

夕方、加東事務所で来客。午後7時30分から、「三草ふれあい広場」の総会に出席し、ご挨拶を申し上げた。総会の協議にも参加させていただき、事業計画のうち、フットパスや孝女ふさの碑の保存等についての説明や協議に参加した。三草フットパスは、まさにふれあい広場の皆さんが主体となって地域を歩いて巡るコース、ポイントを選び、マップとARによる発信を行っている。県と市が補助金を出し、応援する形となっている。地域が主体となることができるのも県民交流広場事業としてこれまで積み上げてきた「三草ふれあい広場」の活動と住民の主体的意欲的な取り組みが基盤にあるからだ。ふれあい喫茶も復活する。農村都市交流事業などコロナを克服し地域住民自身による地域磨きが再び活発に動き出そうとしている。ぜひ、一緒に知恵と汗を絞っていきたいと思った。

## 118. 新緑の下、グラウンドゴルフ大会 みのりJ A女性会総会など

2023年04月24日

23日(日)、朝、忠魂碑から佐保神社、大師殿のコースを歩いた。大師殿ではご住職に出会い、しばらく話すことができた。

9時過ぎに、加東市上滝野の馬廻池グラウンドへ。光明寺地区

と上滝野地区の合同三世  
代親善グラウンドゴルフ  
大会が行われ、開会式に  
出席してご挨拶を申し上げた。抜けるような青空  
の下、新緑に囲まれたグ  
ラウンドでは、歓声があ  
がった。



12時には、下滝野の地域交流センター（旧滝野文化会館）へ。第24回みのりJ A女性会総会が開催され、開会行事に出席した。オープニングでは、三木支部の「ため池ズンドコズンドコ節」と「三木金物小唄」の踊りが披露された。ため池ズンドコ節は初めてだったが、ため池の役割を歌い込んだ歌詞と、「池、行け！行け！ため池（レッツゴー！）の節はよかった。

記念講演の講師、大分県佐伯市の鷹鳥屋神社宮司の矢野大和さんとしばらく立ち話をし、短時間ではあったが、高齢社会での農業の役割、日本の教育の成果などの話で意気投合した。

ところで、昨日の新聞報道で、経口人工妊娠中絶薬の使用が厚労省の専門家の分科会で了承され、国内での使用が承認されることになったことを知った。昨年の9月議会の一般質問、今年2月議会予算特別委員会で、この経口妊娠中絶薬の承認と使用をめぐる問題を取り上げ、質問した。慎重な審査を求める請願も出されたが、健康福祉常任委員会では、結論を出さずという結果に終わっていた。

報道によれば、『薬を投与できるのは「母体保護法指定医師」として都道府県医師会に指定を受けた医師のみに限られ、服用した人が横になる場合に備え、ベッドがある病院や診療所のみで使用が認めらる。また、入院と外来どちらでも可能としている

が、使用体制が確立されるまでの当面は、中絶が確認されるまでは院内で待機することが必須になる。』との条件が付けられている。臨床検査では、腹痛や出血例もあったことが報告されており、「安全な方法」といっても例外はあるということだ。飲み薬で安全に中絶ができる、と安易な受け止め方が広がることを懸念する専門家の声もある。薬の管理も「製造販売業者や医療機関は毎月、販売した数と使用した数を都道府県医師会に報告するなど厳格な基準が定められ」、厳格に行われるということだ。質問に対する県当局の答弁もほぼこの線だった。いずれにせよ、今回の承認によって国内での使用が認められることになるが、くれぐれも飲み薬で簡単に中絶ができる、といった安易な受け止め方が広がらないよう、薬や使用体制の厳格な運用を望む。

明日は人間ドックだ。社病院時代から加東市民病院になったあともずっとドックを受けている。

## 119. 盲ろう者支援の研修会(県職員) 加東市シニアクラブ連合総会

2023年04月26日

25日(火)、朝から雨がぼつりぼつりと落ち始めた。傘をさして登校見守りに立った。

午後1時30分から、加東市下滝野の地域交流センター(旧滝野文化会館)ホールで開催された加東市シニアクラブ連合の総会に出席した。会長さんは開会の挨拶の中で、高齢者にとって厳しい状況が続いているとして、コロナ、物価上昇、年金減額、高い介護保険料などを挙げ、健康が一番と強調。まちかど体操や歩こう会などの取り組みに力を入れていくと話された。

午後3時過ぎには登庁。政務活動費支出報告書関係の書類を提出した。その後、県庁山側の兵庫県職員会館で行われていた、盲

ろう者支援の研修会に遅れて参加した。

神戸市兵庫区の県会議員、福島茂利議員の誘いで、盲ろう者支援のあり方について考えていかなければと、この研修会に参加させてもらった。研修では「ひょうご盲ろう者支援センター」の2人の盲ろうの方と研修参加者が、コミュニケーションの方法、手書き文字や触手話などを使っての会話を体験した。私が参加するまでにアイマスク体験などもなされたとのことだった。支援センターの理事長さんは、加東市の方だった。私の名前「ひゃくお」を手のひらに手書きすると、県会議員だ、よく知っている、とのお返事があった。また、社高校は残念だった（選抜大会）とも話され、短い会話だったが、気持ちが通じたような気がした。

政令指定都市、中核都市以外の市町の盲ろう者は県が担当することになっている。平成24年度の調査では639人の盲ろう者がおられるとのことだったが、支援センターの会員さんは73名と少ない。また、現在の実態についても調査する必要があるだろう。このような支援センターがあるのは東京都はじめ6都県ぐらいだとも。これも大きな課題だと思った。

午後7時から、加東ライオンズクラブの委員会会議に出席した。私は地域奉仕委員会の所属で、年2回の献血奉仕、幼稚園やこども園、保育園へのクリスマス訪問、地域活動団体への助成金などの計画を協議した。

さて、スーダンの同胞の退避作戦は完了したとの岸田首相の声明があった。アフガニスタンの例があったので心配していたが、各国の協力もあり、作戦が成功して何よりだった。しかし、スーダン国内は戦闘が続く。今回も自衛隊が派遣されたが、それは「輸送」であり、「保護」ではなかった。憲法、法の改正を行い、各国の普通の軍隊と同様の行動がとれるようにする必要がある。戦争をするためではない。国の主権と独立、国民の生命を守るため

の行動が取れるようにするためだ。それにしても、遠く故国を離れたアフリカの地で活動する同胞の救出作戦の成功を喜びたい。自衛隊機が頼もしく見えた。

## 120. 主権回復の日 国旗掲揚の祝日に

2023年04月29日

28日（金）、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩き、登校見守りに立った。

今日は昭和27年（1952）4月28日のサンフランシスコ平和条約が発効し、占領が終わって、日本が独立を回復してから71年目にあたる日だ。いわば主権を回復した記念すべき日である。



国旗を掲げて、この日を祝うとともに、主権、独立の意義を考える国民の休日としたい。29日は「昭和の日」でもあり、激動の時代を振り返る2日間に行うことができる。

ロシアのウクライナ侵略から1年と2ヶ月が経ち、ウクライナの頑強な抵抗、反撃が行われている。ゼレンスキー大統領は、侵略者ロシアが1歩でもウクライナの領土に入るとは、ウクライナの独立と主権を侵すことである、として領土の奪還を国民、全世界に訴え続けている。

わが国は、北方領土を昭和20年（1945）8月15日以後にソ連軍に奪われ、今も侵略されたままだ。奪還ではなく、返還を求めているが、ロシアは自国の領土として軍事基地化を進めている有様だ。

「主権意識を高める教育の推進」につい昨年の9月議会一般質

問で質した。北方におけるロシアとの国境確定の歴史、大東亜戦争の末期におけるソ連の中立条約を破棄しての満州、樺太、千島列島への侵攻。特に8月15日の終戦の詔勅以後の千島列島への侵攻と日本軍の反撃（占守島）。ソ連の北海道分割占領計画を防いだ樋口季一郎（※陸軍中将）の命令等々の歴史を大人も子どももしっかり学び直す必要がある。

それにしても、GW中の行楽地情報ばかりで、今日の日の意義を伝えるメディアは知る限り産経新聞だけだった。

## 121. 昭和の日を国旗掲げて祝う

### 高岡地区開村300年の運動会 現任期最終日

2023年04月30日

29日（土）、朝、玄関に国旗を掲げた。今日は「昭和の日」。昭和天皇の誕生日だ。昭和世代の私にとっては、馴染みの深い日である。学生時代は皇居に一般参賀した。昭和天皇の「皆で誕生日を祝ってくれてありがとう」のお言葉が今も耳に残っている。



朝5時、加西市内の公民館で行われた実践倫理宏正会の記念朝起会に出席し、ご挨拶を申し上げた。朝起会への出席は4年ぶりだった。

9時には、加東市高岡地区の中島グラウンドへ。第56回地区運動会に出席してご挨拶を申し上げた。今年は高岡地区が青野原新田として開村してから300年の記念すべき節目の年にあたる。

公民館には「開村300年」の横幕も掲げられている。地区の始まりがはっきりしていることは珍しい。開墾であるとか、港が開かれた、などの理由で人が住み始めた、村ができたという例はそう多くない。この運動会もコロナや雨で中止が続き、4年ぶりの開催だった。午前中だけの短縮版ではあるが、全世代参加型の楽しい種目が用意されていた。

午後は、自宅で片付けをしたり、事務整理をして静かに過ごした。午後2時過ぎには雨が落ち始めた。こういう日は自宅で読書や音楽を聴いて心静かに過ごすのがいい。しかし、じっとしてられない性格なので、ごそごそと片付けなどをして動き回ってしまう。

今日4月29日は、現任期満了の日だ。明日から新任期が始まる。



## 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

月 日	曜	活 動 内 容
4月1日	金	議会議務局辞令交付式
4月2日	土	いわね正陣営対話集会（東条地域）
4月3日	日	加東事務所 市内回り
4月4日	月	自民党議員団総会 加東事務所
4月5日	火	兵庫県立大学入学宣誓式
4月6日	水	自民党女性部街宣車加東市内（スマイル号）
4月7日	木	「いのちのドア」視察（議連）
4月8日	金	駐日ウクライナ大使県訪問 地方議員協議会セミナー
4月9日	土	加東市商工会青年部総会 いわね氏陣営決起集会
4月10日	日	
4月11日	月	むこがわ特別支援学校開講式 県庁執務
4月12日	火	診察
4月13日	水	診察
4月14日	木	診察
4月15日	金	加東事務所
4月16日	土	鳴川小学校オープンスクール まどかコーラス50周年記念コンサート 自民党県連選対本部会議
4月17日	日	いわね正陣営出陣式及び出発式
4月18日	月	各会派代表者会議 議会運営委員会 拉致問題解決議員連盟 自民党県連会議
4月19日	火	うれしの学園生涯大学入学式 後援会役員会
4月20日	水	内外情報懇話会（東京） 東京事務所 議員会館
4月21日	木	加東市商工会女性部総会
4月22日	金	自民党議員団総会 議長室執務
4月23日	土	県立はりま姫路総合医療センター開院式 島田叡顕彰碑建立式（神戸市）
4月24日	日	加東市長選挙で岩根正氏が当選
4月25日	月	加東事務所
4月26日	火	県議会コロナ対策調整会議
4月27日	水	県市議会議長会総会 自民党県連選対会議
4月28日	木	各種友好団体との政策セミナー 自民党議員団総会
4月29日	金	加東事務所

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

4月30日	土	加東事務所
5月1日	日	加古川鬮籠灘川開き神事・鮎放流
5月2日	月	人間ドック 加東事務所
5月3日	火	加東事務所 CATALYST～語り里～ゆらの
5月4日	水	うれしのフェスティバル（生涯教育センター）
5月5日	木	加東事務所 CATALYST～語り里～ゆらの
5月6日	金	加東土木事務所 加東事務所
5月7日	土	童謡唱歌を歌い楽しむ会
5月8日	日	県民スポーツ大会総合開会式 加東市更生保護女性会総会
5月9日	月	県立はりま姫路総合医療センター（診察）
5月10日	火	加東事務所
5月11日	水	自民党加東市支部幹事会
5月12日	木	加東事務所 加東土木事務所4年度事業説明
5月13日	金	ふじもと百男後援会役員会
5月14日	土	秋津子ども園新園舎竣工式 加東市高齢者大学開講式 加東市文化連盟総会 やしろ歴史民俗研究会総会・研修
5月15日	日	沖繩復帰50周年記念式典（東京会場）
5月16日	月	文教常任委員会 日台議連研修会 自民議員団総会
5月17日	火	県農林水産技術総合センター調査（加西市）
5月18日	水	兵庫県功労者表彰式（県公館） 議長室執務
5月19日	木	都道府県議会議員共済会総会（オンライン会議）
5月20日	金	自民党議員団総会 政策部会 加東市異業種交流会総会
5月21日	土	加東事務所 県政資料シリーズⅨ集完成
5月22日	日	議長就任祝賀会に代わる県政報告会・特別講演会
5月23日	月	議長室執務 当局、議会事務局レク
5月24日	火	加東市商工会通常総代会
5月25日	水	各会派代表者会議 県庁舎等再整備協議会 議会運営委員会 自民党議員団総会
5月26日	木	議長室執務
5月27日	金	兵庫県釣針協同組合総会
5月28日	土	ボーイスカウト日本連盟全国大会（姫路市） 加東市花卉盆栽展～29日
5月29日	日	青野原駐屯地創設46周年記念行事 佐保神社秋祭実行院会
5月30日	月	兵庫県私学振興大会 加東市シルバー人材センター総会
5月31日	火	加東事務所
6月1日	水	第358回定例県議会開会 補正予算可決

6月2日	木	健康ひょうご21県民運動 兵庫県技能士会連合会40周年式
6月3日	金	加東事務所
6月4日	土	関東加東応援団オンライン開催
6月5日	日	
6月6日	月	本会議 代表質問日 孤立妊婦を支援する議員有志の会要望
6月7日	火	本会議 一般質問日
6月8日	水	文教常任委員会 県議会政調懇話会
6月9日	木	第358回定例県議会閉会 議長辞任 議会運営委員長就任
6月10日	金	新旧正副議長引き継ぎ 全国都道府県議長会感謝状
6月11日	土	加東事務所
6月12日	日	本名宮司神職特級昇進祝賀会 坊神戸市会議長感謝の集い
6月13日	月	加東事務所
6月14日	火	加東土木事務所 (社総合庁舎)
6月15日	水	自民党加東市支部幹事会
6月16日	木	建設常任委員会 自民党議員団総会 議運委員長室執務
6月17日	金	兵庫県土地改良事業団連合会北播支部総会 知事酒米研究交流館視察 末松信介さんを応援する会
6月18日	土	ニトリJD女子ソフトボールリーグ宍粟ラウンド (宍粟市)
6月19日	日	自由民主党兵庫県連大会 (神戸市)
6月20日	月	加東 (参院選準備)
6月21日	火	加東事務所 加東ライオンズクラブ例会
6月22日	水	参院選公示 末松信介出陣式
6月23日	木	加東市回り
6月24日	金	加東市回り
6月25日	土	福田地区ふれあい敬老会 自衛官募集員会東播連合会総会 みのりJA総代会 加東警察署友の会
6月26日	日	加東事務所
6月27日	月	末松信介候補選挙カー同乗し加東市内街宣
6月28日	火	加東市ゴルフ協会役員総会
6月29日	水	自民党兵庫県連決起大会 (神戸市)
6月30日	木	加東事務所
7月1日	金	国道372号の路面調べ (土木) 初日会例会
7月2日	土	やしろ歴史研例会 (加東市収蔵品展見学)
7月3日	日	通信障害発生 加古川上流の大雨で閼龍灘でヘリ救助
7月4日	月	加東事務所

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

7月5日	火	加東、加西市内で集会に出席
7月6日	水	加東事務所
7月7日	木	岸田首相、安倍元首相が神戸三宮で演説
7月8日	金	加東市まとい会総会 安倍元首相凶弾に倒れる(奈良県)
7月9日	土	末松信介候補最後の訴え
7月10日	日	末松信介氏当選 神戸事務所で当選報告会
7月11日	月	選挙の片付け等(加東市)
7月12日	火	診察日
7月13日	水	4回目のワクチン接種
7月14日	木	宮崎県議会議会運営委員会来庁(ICT化等調査)
7月15日	金	加古川改修促進期成同盟会総会 県議会サテライトゼミ
7月16日	土	
7月17日	日	加東事務所
7月18日	月	日本会議兵庫総会・講演会(三田市)
7月19日	火	建設常任委員会 自民党議員団文教部会 各会派代表者会議 議会改革検証委員会
7月20日	水	第40回ひょうご愛育の集い 加東LC例会
7月21日	木	建設常任委員会管内調査(西播地区)①
7月22日	金	建設常任委員会管内調査(西播地区)②
7月23日	土	
7月24日	日	加東市歴史の会総会 社農会池の草刈り
7月25日	月	中田町の御大神宮祭(佐保神社境内)
7月26日	火	兵庫県商工会連合会青年部大会(やしろ国際学習塾)
7月27日	水	おいしいごはんを食べよう県民運動大会(県公館)
7月28日	木	高校野球兵庫大会決勝戦応援(神戸) 社高校初優勝!
7月29日	金	社高校で110周年、甲子園出場応援体制打ち合わせ
7月30日	土	加東事務所
7月31日	日	加東事務所
8月1日	月	加東市内回り 社高校同窓会役員会
8月2日	火	警察常任委員会地元議員出席 社高校特別後援会
8月3日	水	加東市内回り
8月4日	木	診察日
8月5日	金	政務調査会2日目
8月6日	土	広域防災センター(三木市) 宿泊研修施設設け工事 社高校同窓会臨時学年幹事会 佐保神社秋祭実行委

8月7日	日	社高校野球部甲子園応援チケット配布
8月8日	月	建設常任委員会管内調査（東播淡路地区）①
8月9日	火	建設常任委員会管内調査（東播淡路地区）② 社高校甲子園初戦応援（対県岐阜商）
8月10日	水	診察日 午後登庁県庁執務
8月11日	木	社の忠魂碑草引き
8月12日	金	加東事務所 市内回り
8月13日	土	墓参り
8月14日	日	社高校2回戦応援（対二松学舎大付）
8月15日	月	精霊送り
8月16日	火	加東事務所
8月17日	水	加東事務所
8月18日	木	建設常任委員会 議運委員長室執務
8月19日	金	議会運営委員会 議会改革検証委員会 自民議員団総会
8月20日	土	加東市高齢者大学講演（コスミックホール）
8月21日	日	兵庫県ふれあい文化祭合唱祭（加東市で）参加
8月22日	月	建設常任委員会管内調査（但馬丹波地区）①
8月23日	火	建設常任委員会管内調査（但馬丹波地区）②
8月24日	水	建設常任委員会管内調査（但馬丹波地区）③
8月25日	木	県庁執務
8月26日	金	加東事務所・自宅
8月27日	土	加東事務所・自宅
8月28日	日	加東事務所・自宅
8月29日	月	加東事務所・自宅
8月30日	火	加東事務所・自宅
8月31日	水	加東土木事務所長来所
9月1日	木	農政環境常任委員会管内調査に地元議員として出席
9月2日	金	加東事務所
9月3日	土	末松信介政経セミナー（神戸市内）
9月4日	日	加東市総合防災訓練（滝野総合運動公園・周辺）
9月5日	月	自民党土地改良推進議連ため池現地調査（東・北播磨）
9月6日	火	北播磨の地域政策を語る会（北播磨県民局）
9月7日	水	加東市内（定期診察日）
9月8日	木	自民党各種友好団体意見交換会①
9月9日	金	自民党各種友好団体意見交換会②

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

9月10日	土	市内中学校体育大会（東条学園小中学校、社、滝野） やしろ歴史民俗研究会 研修
9月11日	日	全日本空手道ジュニア育成選手権大会（加東）
9月12日	月	各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党県連八役会議
9月13日	火	交通安全県民大会（県公館）
9月14日	水	県庁執務
9月15日	木	「鳥守の塔」鑑賞 県庁執務
9月16日	金	建設常任委員会 県議会コロナ対策調整会議
9月17日	土	市内小運動会（社、福田、滝野南、滝野東、三草） やしろ歴史民俗研究会研修会
9月18日	日	市内小運動会（鴨川、米田）
9月19日	月	自宅 台風14号兵庫県接近
9月20日	火	第359回定例県議会開会 議会運営委員会 議員団総会 自民党県連選対委員会
9月21日	水	社高校体育大会 加東シニアクラブ滝野支部G. G大会
9月22日	木	県庁執務
9月23日	金	加東事務所
9月24日	土	日本政策研究センター近畿地区研修会（京都市）
9月25日	日	県立社高校尚友同窓会学年幹事会
9月26日	月	本会議（代表質問） 議会改革検証委員会
9月27日	火	安倍元首相国葬儀の為休会
9月28日	水	本会議（一般質問） 県商工連と議連との意見交換会
9月29日	木	本会議 一般質問に登壇
9月30日	金	本会議（一般質問） 議会運営委員会 団総会 総務・幹事会
10月1日	土	加東みらいこども園運動会
10月2日	日	河高住吉神社秋祭り 県秋季野球大会社高校3位
10月3日	月	建設常任委員会 各会派代表者会議
10月4日	火	本会議（表決）
10月5日	水	自民党加東市支部幹事会
10月6日	木	加東事務所
10月7日	金	県庁 神戸市内団体回り
10月8日	土	加東事務所
10月9日	日	（親戚法事）
10月10日	月	市内回り
10月11日	火	樋口季一郎銅像除幕式（淡路）

10月12日	水	地域安全県民大会（県公館）
10月13日	木	加東事務所
10月14日	金	加東事務所
10月15日	土	加東事務所
10月16日	日	北播ソフトボール大会（滝野総合グラウンド） 加東市子連協ドッジボール教室 コスモまつり（河高地区）
10月17日	月	加東土木事務所
10月18日	火	北播磨農業改良普及事業推進懇談会（加西農改普及セ） 県立社高校創立110周年記念事業実行委員会
10月19日	水	自宅で資料整理
10月20日	木	ニューレジリエンス兵庫大会呼びかけ人会（神戸市）
10月21日	金	第28回全国戦没学徒追悼祭（若人の広場）
10月22日	土	大豊康臣県政報告会（加西市）
10月23日	日	加東市家庭バレーボール選手権大会 加東市議会議員選挙投票開票日
10月24日	月	本会議（閉会） 議会改革検証委員会 議員政策法務研修 議会運営委員会 自民党議員団総会
10月25日	火	建設常任委員会 自民党農政環境部会
10月26日	水	北播磨地域子育て応援ネット交流大会（滝野）
10月27日	木	県議会自民党議員団政策フォーラム（合宿）①
10月28日	金	県議会自民党議員団政策フォーラム（合宿）② 北播磨地域づくり懇話会（県民局）
10月29日	土	小西県議会議長就任報告会 東条川疏水水路下り
10月30日	日	早稲田大学校友会兵庫県支部総会（姫路市）
10月31日	月	建設常任委員会管内調査（阪神地域）①
11月1日	火	建設常任委員会管内調査（阪神地区）②
11月2日	水	産業労働委員会管内調査に地元議員として出席
11月3日	木	北播磨 農と食の祭典（県立フラワーセンター）
11月4日	金	各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会
11月5日	土	和文化教育研究学会（京都市）
11月6日	日	加東市ふれあい球技大会
11月7日	月	加東市内回り
11月8日	火	うれしの学園生涯大学学園祭 自民党議員団調査
11月9日	水	加東市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会
11月10日	木	加東市立滝野南小4年生議場見学 県庁加東クラブ役員会

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

11月11日	金	登庁
11月12日	土	地域安全加東市民大会 天皇陛下奉迎提灯行列（神戸）
11月13日	日	加東市シルバー人材設立30周年記念式典
11月14日	月	建設常任委員会管外調査（東京、神奈川）①
11月15日	火	建設常任委員会管外調査（東京、神奈川）②
11月16日	水	建設常任委員会管外調査（東京、神奈川）③
11月17日	木	加東市内回り
11月18日	金	建設常任委員会 原吉三県議逝去の報
11月19日	土	加東市防衛協会総会 加東市金婚夫婦を祝う会 東条地域ミニ文化祭 ばかちから in 加西 県農林水産総合技術総合センター公開日
11月20日	日	松井重樹県議会議員県政報告会（たつの市）
11月21日	月	自宅休養
11月22日	火	加東事務所
11月23日	水	東条川疎水ネットワーク博物館活動発表会
11月24日	木	自民党加東市支部移動研修（神戸市内）
11月25日	金	やしろ歴史民俗研究会移動研修（奈良県）
11月26日	土	加東事務所
11月27日	日	
11月28日	月	各会派代表者会議 自民党県連会議
11月29日	火	加東事務所
11月30日	水	加東事務所
12月1日	木	第360回定例県議会（開会） 議会改革検証委員会 全国都道府県議会より15年勤続表彰
12月2日	金	加東事務所 市内回り
12月3日	土	水田副議長就任祝賀会 兵庫県神道政治連盟時局講演会 加東市長杯中学校親善軟式野球大会
12月4日	日	兵庫県ソフトボール協会常任理事会
12月5日	月	加東事務所
12月6日	火	本会議（一般質問） 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党産業労働部会 加東L.C.例会
12月7日	水	本会議（一般質問） 孤立妊婦を支援する議員有志の会 兵庫県の公教育を考える会
12月8日	木	本会議（一般質問）
12月9日	金	建設常任委員会（付託議案審査） 自民党県連（公認証授与式）
12月10日	土	加東事務所

12月11日	日	ニューレジリエンス兵庫大会（県民会館）
12月12日	月	兵庫県測量設計業協会との意見交換会
12月13日	火	<b>本会議（閉会） 議会運営委員会</b> 各種専門学校議連 自民党議員団文教部会
12月14日	水	加東市赤穂義士祭
12月15日	木	兵庫県歯科医師会との意見交換会
12月16日	金	<b>各党派代表者会議</b> 自民党議員団総会
12月17日	土	加東事務所
12月18日	日	加東市シルバー人材センター主催講演会で講演
12月19日	月	<b>建設常任委員会</b> かだ裕之参議院議員政経セミナー
12月20日	火	加東市内回り
12月21日	水	加東L. C. クリスマス訪問（東条、秋津こども園）
12月22日	木	後援会役員打ち合わせ
12月23日	金	加東市内回り
12月24日	土	「絵画で偲ぶ播磨の三飛行場」展（加古川）
12月25日	日	加東事務所
12月26日	月	加東市内回り
12月27日	火	北播磨県民局 後援会三役会議
12月28日	水	加東市消防団年末警戒発団式 事務所仕事納め
12月29日	木	加東事務所
12月30日	金	加東事務所
12月31日	土	除夜の鐘（持寶院）
<b>令和5年</b>		
1月1日	日	加東市内地区初総会挨拶
1月2日	月	寺年賀
1月3日	火	地区初総会挨拶回り
1月4日	水	仕事始め 初日会（東条地域）
1月5日	木	あったか加東伝の助かるた大会 県保育のつどい
1月6日	金	<b>政務調査会①</b>
1月7日	土	加東市新春交歓会 県新年福祉のつどい
1月8日	日	加東市二十歳の集い 各地区初総会挨拶回り
1月9日	月	市内地区初総会挨拶回り
1月10日	火	<b>政務調査会②</b> 加東LC例会
1月11日	水	<b>政務調査会③</b> 日台親善議連
1月12日	木	青野原駐屯地新春互礼会

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

1月13日	金	議会運営委員会 各会派代表者会議 自民党議員団総会
1月14日	土	後援会役員会
1月15日	日	市内各地区初総会挨拶回り
1月16日	月	建設常任委員会 議運委員長室執務
1月17日	火	1. 17ひょうご安全の日のつどい
1月18日	水	自民党加東市支部幹事会
1月19日	木	加東事務所
1月20日	金	県庁執務 専修学校各種学校振興議連研修会
1月21日	土	後援会役員会議 善龍院初庚申祭
1月22日	日	市内各地区初総会挨拶回り
1月23日	月	加東事務所 ふるさとひょうご創生塾OB来所
1月24日	火	市内各種団体挨拶回り 加東LC例会
1月25日	水	市内各種団体挨拶回り 加東事務所執務
1月26日	木	多面的機能保全向上活動事例発表会（三木市）
1月27日	金	市内各種団体挨拶回り 社高校選抜大会出場決定
1月28日	土	加東市連合婦人会新春のつどい 加東事務所執務
1月29日	日	市内各地区初総会挨拶回り 加東軟式野球協会総会
1月30日	月	加東事務所 社高校
1月31日	火	加東土木事務所説明（事務所）
2月1日	水	加東事務所
2月2日	木	加東事務所
2月3日	金	後援会本部役員会
2月4日	土	加東市人権と協働を考える市民の集い
2月5日	日	三草ふれあい広場防災の集い 県ソ協常任理事会
2月6日	月	議会運営委員会 各会派代表者会議 自民党議員団総会 北播磨県民局令和5年主要施策説明（県庁）
2月7日	火	加東LC献血奉仕活動 ※トルコ大地震発生
2月8日	水	社高校110周年事業実行委員会 日本会議北播磨支部
2月9日	木	建設常任委員会 県医師連盟との意見交換会 自民党加東市支部役員会
2月10日	金	自民党兵庫県連拡大幹事会 ※県議選説明会
2月11日	土	建国記念の日を祝う兵庫県民の会（神戸市）
2月12日	日	北播磨地域ビジョンフォーラム
2月13日	月	第361回定例県議会開会 議場コンサート 防衛議員連盟総会と研修 兵庫県看護連盟と意見交換会
2月14日	火	加東事務所 社高校同窓会役員会

2月15日	水	加東シニアクラブ研修会
2月16日	木	本会議 議会運営委員会 各会派代表者会議 自民議員団総会
2月17日	金	本会議 代表質問日
2月18日	土	加東市高齢者大学閉講式 神結酒造蔵まつり やしろ歴史民俗研究会例会
2月19日	日	藤本百男後援会本部設立総会 加東市連PのPTCA発表会
2月20日	月	本会議 一般質問① 自民党推薦状交付
2月21日	火	本会議 一般質問②
2月22日	水	本会議 一般質問③
2月23日	木	加東
2月24日	金	本会議 一般質問④ 予算特別委員会設置
2月25日	土	社高校選抜野球大会出場を祝う会
2月26日	日	社高校同窓会学年代表幹事会
2月27日	月	建設常任委員会 予算特別委員会①
2月28日	火	本会議 議会運営委員会 各会派代表者会議 県議会スポーツ振興議連総会・表彰式
3月1日	水	予算特別委員会 初日会(東条地域)
3月2日	木	予算特別委員会 後援会本部「まほろばwith」看板設置
3月3日	金	予算特別委員会 保健医療部審査で質問
3月4日	土	後援会本部事務所開き 自民党県連大会に代わる総務会
3月5日	日	加東山田錦乾杯まつり
3月6日	月	予算特別委員会 公安委員会審査で質問
3月7日	火	予算特別委員会 農林水産部・環境部で質問 加東市経済懇話会
3月8日	水	予算特別委員会
3月9日	木	予算特別委員会 教育委員会で質問
3月10日	金	加東事務所 後援会本部事務所
3月11日	土	県政報告会・自民党公開講演会・支部総会
3月12日	日	加東事務所 後援会本部事務所
3月13日	月	予算特別委員会(総括審査)
3月14日	火	自民党と各種友好団体との意見交換会①
3月15日	水	自民党と各種友好団体との意見交換会② 加東市立社中学校卒業式
3月16日	木	県議会本会議 議会運営委員会 各会派代表者会議
3月17日	金	建設常任委員会

Ⅲ 令和4年4月～令和5年4月の活動記録

3月18日	土	後援会本部役員会議 選抜大会開会式（社高校）
3月19日	日	加東ライオンズ・クラブ清掃奉仕活動
3月20日	月	<b>第361回定例県議会閉会</b> 社高校初戦で敗退
3月21日	火	<b>東播磨道部分開通式</b> K G学院高校卒業式
3月22日	水	兵庫県東播土地改良区総代会
3月23日	木	加東市立社小学校卒業式 県政報告紙新聞折込
3月24日	金	今年度最後の朝の登校見守り 加東事務所
3月25日	土	加東市内挨拶回り 神社総代会 地区組長会等
3月26日	日	久米南山水利組合 嬉野ポンプ水利組合総会 新定地区シニア・クラブ総会
3月27日	月	後援会本部事務所 市内挨拶回り
3月28日	火	後援会本部役員会議
3月29日	水	加東事務所 後援会本部事務所
3月30日	木	後援会だより新聞折込
3月31日	金	県議選出陣式 街頭演説
4月1日	土	県議選2日目
4月2日	日	県議選3日目 加東市消防出初式
4月3日	月	県議選4日目
4月4日	火	県議選5日目
4月5日	水	県議選6日目
4月6日	木	県議選7日目
4月7日	金	県議選8日目
4月8日	土	県議選9日目
4月9日	日	投開票日 5回目当選
4月10日	月	<b>当選証書付与式</b> 東条学園小中学校入学式 県立社高校入学式
4月11日	火	事務所片付け 市内回り
4月12日	水	<b>新議会世話人会設立準備会</b>
4月13日	木	K G高等学院入学式 自民党議員団総会 Jアラート
4月14日	金	加東土木事務所説明
4月15日	土	上滝野地区シニアクラブ総会 岸田首相襲撃事件
4月16日	日	佐保神社湯祭り 市内回り
4月17日	月	自民党議員団総会
4月18日	火	うれしの学園生涯大学入学式（開講式） 加東市商工会女性部通常部員総会

4月19日	水	自民党系会派合同総会 県スポーツ協会総会
4月20日	木	新議会設立世話人会準備会 三草ふれあい広場総会
4月21日	金	北播政経懇話会定例会
4月22日	土	加東事務所
4月23日	日	上滝野・光明寺地区グラウンドゴルフ大会 みのりJ A女性部総会
4月24日	月	自民党系会派新執行部選出 人間ドック（加東市民病院）
4月25日	火	加東シニアクラブ総会 盲ろう者支援研修会（県職員会館）
4月26日	水	自民党系会派議員団総会 藤井電工70周年感謝の集い
4月27日	木	やしろ歴史民俗研究会役員会
4月28日	金	加東事務所
4月29日	土	朝起会 高岡地区運動会
4月30日	日	加東市更生保護女性会総会 やしろ歴史研用事 新任期開始～





## ◆著者紹介

**藤本百男** ふじもと ひゃくお

### 【学歴・職歴・社会活動歴等】

- 昭和28年10月31日 兵庫県加東郡社町社生（現加東市社）
- 兵庫県立社高等学校、早稲田大学法学部卒業
- 国公立学校教員（兵庫教育大学附属小学校、同附属中学校教諭、兵庫県加古川市立小学校、滝野町立滝野東小学校教諭）
- 兵庫教育大学大学院修士課程修了（教育学修士）
- 神戸商科大学・兵庫県立大学非常勤講師（学校教員と兼職）
- 社町史編纂委員、社小学校PTA会長、社3区副区長等

### 【議員歴】

- 平成19年4月 兵庫県議会議員初当選  
農政環境常任副委員長、総務常任副委員長
- 平成23年4月 兵庫県議会議員2回目当選  
自民党県議団副政調会長、副幹事長、文教部会長  
健康福祉常任委員長
- 平成27年4月 兵庫県議会議員3回目当選  
文教常任委員長 自民党県議団文教部会長  
第124代兵庫県議会副議長（平成28年6月11日～29年6月9日）  
議員定数等調査特別委員 自民党県議団農政環境部会長  
自民党県議団政務調査会長（30年4月～31年4月）  
行財政構造改革特別委員 決算特別委員 予算特別委員長
- 平成31年4月 兵庫県議会議員4回目当選  
関西広域連合議会議員 自民党議員団総務部会長  
自由民主党兵庫県連政務調査会長（令和元年6月～）  
自民党県議団幹事長（令和2年5月8日～令和3年4月26日）  
第124代兵庫県議会議長（令和3年6月9日～令和4年6月9日）  
全国都道府県議長会副会長（令和3年7月14日～）  
議会運営委員長（令和4年6月9日～5年4月29日）
- 令和5年4月 兵庫県議会議員5回目当選  
議会運営委員長（令和5年5月16日～）
- 主な議員連盟の役職等  
兵庫県議会防衛議員連盟会長、日本会議兵庫県議会議員連盟会長、兵庫県議会自民党  
酒米日本酒振興議員連盟会長、兵庫県議会社会福祉議員連盟会長、兵庫県議会自民党  
土地改良推進議員連盟副会長等

### 【団体役職等】

- 自民党加東市支部支部長、日本会議兵庫北播磨支部支部長、加東軟式野球協会会長、  
兵庫県ソフトボール協会会長、県立社高等学校尚友会会長、兵庫県釣針協同組合顧問等

### 【県政シリーズ既刊】

- 県政シリーズⅠ「東条川疏水」
- 県政シリーズⅡ「終戦70年 慰霊を考える 加東市内の忠魂碑・慰霊塔」
- 県政シリーズⅢ「ふるさと加東の道標・道路元標」
- 県政シリーズⅣ「加東四国八十八ヶ所霊場・議会改革一年の歩み」
- 県政シリーズⅤ「加東の近代史を彩る人物像・29年度議会活動報告」
- 県政シリーズⅥ「神と仏と人の会おう里加東・30年度後半議会活動報告」
- 県政シリーズⅦ「ふるさと加東の伝説・伝承」・令和元年～2年の議員活動報告」
- 県政シリーズⅧ「ふるさと加東の教育あらかると」・令和2年～3年の議員活動報告」
- 県政シリーズⅨ「ふるさと加東の歴史に刻まれた青春・令和3年～4年の議員活動報告」

---

**県政資料** ふるさと加東の歴史再発見シリーズ X

## ふるさと加東の推し景観

—桜景色を中心に—

## コロナ、ウクライナの危機の中で

—議長から議運委員長へ—

- ◆ 郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- ◆ 議員活動ブログ「百聞百見」より

発行日 令和5年7月吉日

著者 兵庫県議会議員 藤本百男

発行所 藤本百男事務所

〒673-1431 兵庫県加東市社1491-1

TEL(0795)43-8270 FAX(0795)20-6675

印刷所 株式会社吉本宝文堂

〒675-1343 兵庫県小野市来住町883-2

TEL(0794)63-4011 FAX(0794)62-5252

**非売品**

---